



CREATIVE INTELLIGENCE



ビデオスタジオ

VideoStudio[®] 9

パーフェクトビデオ編集ツール

ユーザーズガイド

著作権とライセンス

著作権

©2000-2005 Ulead Systems, Inc.

本マニュアルの一部または全部について、文書による Ulead Systems, Inc. の許可を得ない限り、写真複写、録音、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

ソフトウェアライセンス

本マニュアルに説明するソフトウェアは、本製品に添付されているライセンス契約に基づいて提供されています。このライセンス契約は、本製品に関して許可される使用および禁止される使用について規定しています。

ライセンスおよび商標

Ulead VideoStudio はユーリードシステムズ株式会社の登録商標です。Ulead Systems, Inc.、Ulead、Ulead ロゴ、Ulead VideoStudio は Ulead Systems, Inc. の商標です。本マニュアルにおけるその他の製品名、登録商標、および商標の使用は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の所有権の侵害を意図するものではありません。

サンプルファイル

プログラムおよびコンテンツ CD-ROM に格納されているファイルは、個人的な展示、制作、および発表に使用することができます。これらのサンプルファイルを商業的に複製または再配布する権利は付与されません。

ユーリードシステムズ商品のテクニカルサポート情報

Ulead VideoStudio 9 についてのお問い合わせは下記へご連絡ください。

● インターネット

<http://www.ulead.co.jp/>

ユーリードシステムズのホームページの「サポート」に FAQ、トラブルシューティング、アップデータダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧くださいことで解決できることも多々ありますので、ご一読ください。

● 電子メール

電子メールでのお問い合わせは、お使いのメールソフトなどから送信いただく形式ではなく、ユーリードシステムズのホームページ上からアクセスできる「メール送信フォーム」からお送りいただくようになっております。トップページや FAQ ページなどからアクセスしていただくと、必要事項とお問い合わせ内容を記入していただく入力欄が表示されます。そちらにご記入いただき、送信してお問い合わせください。

※電子メールでのお問い合わせの場合、内容や難易度によりお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

● サポート電話

03-5491-5662

受付時間：月曜日から金曜日（土・日、祝、年始年末を除く）

10時から12時、13時から17時

※電話がかかりにくい場合は、インターネットでお問い合わせください。

はじめに

このたびは「Ulead VideoStudio 9」をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

Ulead VideoStudio 9 は、ステップ・バイ・ステップでビデオ作品ができあがる簡単ビデオ編集ソフトです。映像の取り込みからビデオクリップの編集、タイトルや BGM、エフェクトの挿入など各ステップに従って操作するだけで、どなたでもプロ並みのビデオ編集が行えます。

バージョン 9 では、ビデオ編集のまったくはじめての方から本格ビデオ編集を行う方まで、すべてのビデオ編集ユーザーに楽しんでお使いいただくために大幅にバージョンアップを行い、3つのビデオ編集モードを用意いたしました。

ビデオ編集初心者の方には、DV テープから映像を読み込んで DVD に書き込むまでをわずか 2 ステップで仕上げる「クイック DVD ウィザード」モード。おしゃれな DVD を簡単に作成したい方には、ビデオ素材を取り込むと、あとは「誕生日」や「旅行」、「スポーツ」、「休暇」などの「スタイルテンプレート」を選ぶだけで自動的にオープニングやエンディング、BGM が作成され見応えのあるビデオができあがる「おまかせ」モード。7つのステップで本格的ビデオ編集が行える「VideoStudio 9」モード。3つのモードにより、どなたでもすぐにビデオ編集が始められます。

また、16:9 のワイド画面に対応、クロマキーやマスク処理機能の搭載、WMV HD 出力などユーザーのみなさまからのご要望を反映した新機能を豊富に搭載し、さらに使いやすく、さらに高機能になりました。

VideoStudio 9 の「クイック DVD ウィザード」と「おまかせモード」、「VideoStudio 9」の 3 つの編集スタイルで、ビデオ編集を心行くまで楽しんでください。

※本マニュアルで使用している画面写真は開発中のものです。実際の製品の画面写真とは、一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

CONTENTS

準備編

VideoStudio 9を使ってみよう	7
VideoStudioの特徴	8
VideoStudio 9の新機能	9
ビデオ編集の流れ	10
インストール	12
ハードウェアのチェック	13
インストール前の注意点	14
インストール	14
アンインストール	18
起動と終了	20

クイックDVD
ウィザード編

クイックDVDウィザードでビデオをDVDに書き込もう	21
2ステップで簡単ビデオ編集	22
「クイックDVDウィザード」の起動	22
DVテープのスキャン	23
DVDに書き込む	25

おまかせモード編

STEP1 準備	29
3ステップで自動編集	30
おまかせモードの起動	32
ビデオのキャプチャ	34
ビデオファイルの挿入	36
DVDビデオの挿入	37
写真などの画像の取込み	38
ライブラリの活用	39
取り込んだビデオの確認	40
再生の順番を入れ替える	40
クリップの並べ替え	41
ビデオをシーンで分ける	41
クリップの向きを整える	41
ビデオの削除と情報の表示	42
カット編集	42
次のステップへ	43

STEP2 制作 **45**

テーマテンプレート	46
スライドショーの作成	50

STEP3 完了 **51**

ビデオの編集を選択	52
ビデオファイルを作成	53
ディスクを作成	55
ディスク容量の確認	55
環境設定	56
ディスクテンプレートマネージャ	57
書き込むビデオの形式やクオリティの設定	59
プレビュー	60
出力の設定	61

VideoStudio 編

STEP1 VideoStudio 9で本格ビデオ編集 **67**

「VideoStudio 9」でビデオ編集	68
「ファイル」メニュー	69
プロジェクトの新規作成	69
プロジェクトを開く	70
ファイルメニューの各種設定	71
ツールメニューの各種設定	74
ヘルプ	76

STEP2 キャプチャ **77**

映像や静止画を取り込む	78
DVテープをスキャン	79
ビデオのキャプチャ	82
静止画のキャプチャ	86
DVDディスクからビデオを取り込む	88

STEP3 編集 **91**

ストーリーボードとタイムライン	92
ストーリーボード	93
タイムライン	97
ビデオクリップの移動と削除	99
ビデオクリップのトリミング	100
ビデオクリップの分割	103
CMやいらぬシーンを一度にカット	104
ビデオの再生速度を変える	105
ビデオを逆再生する	105
ビデオの色味を調整	106
ビデオクリップの1コマを静止画にする	106
オーディオを分離	107
シーンで分割	108
オプションパネル	109
DVD-VRキャプチャ	110
フィルタ	112
クリップの変形	114
静止画を取り込む	116
パン&ズーム	118
カラークリップ	119
プレビュー	120
リップル編集	122
クリップメニュー	123
静止画の印刷	124

STEP4 エフェクト **125**

エフェクトを選ぶ	126
エフェクトの確認	127
エフェクトをかける	128
エフェクトのオプション設定	129

STEP5 オーバーレイ **131**

ビデオとビデオの合成	132
クロマキー合成	136
静止画やFlashアニメーションとビデオを合成する	138

VideoStudio 編

STEP6 タイトル 141

タイトルの挿入	142
文字を飾る	146
境界線とシャドウ、透明度	146
タイトルのレイアウト	148
タイトルの確定と確認	149
タイトルの追加	150
タイトルの修正	150
タイトルのアニメーション	151
サンプルタイトルの使用	155
ロール効果の例	156
バックドロップテキスト	157

STEP7 オーディオ 159

ボイストラックとミュージックトラック	160
オーディオファイルを取り込む	160
音楽CDから曲を取り込む	162
ナレーションを取り込む	164
オーディオライブラリ	167
オーディオクリップのトリミング	168
再生速度の変更	168
オーディオクリップのオプション表示	170
オーディオフィルタ	171
オーディオクリップの調節	172
オートミュージック	174

STEP8 完了 175

「完了」ステップ	176
ビデオファイルの作成	176
ディスクの作成	180
プロジェクトの再生	181
エクスポート	182
DV 録画	188
サウンドファイルの作成	192

DVD 作成編

DVD ディスクを作成しよう 193

ディスクを作成	194
チャプタを追加／編集	196
メニューの作成	198

Supplement

付録 207

FAQ	208
用語集	218
Cool3Dのインストール	220

準備編

VideoStudio 9を
使ってみよう

ここでは VideoStudio の概要やインストール方法、
お使いいただくにあたっての準備についてご説明します。



VideoStudio の特徴

豊富なビデオ編集機能を簡単ステップで操作

VideoStudio は、ステップ・バイ・ステップでビデオ作品ができあがる簡単ビデオ編集ソフトです。DVカメラやビデオテープ、DVDビデオなどから映像を取り込み、ドラッグ&ドロップで取り込んだ映像(ビデオクリップ)をタイムラインに並べて編集します。ビデオクリップには、タイトルやBGM、ナレーションをつけたり、映像効果をつけたりすることができます。

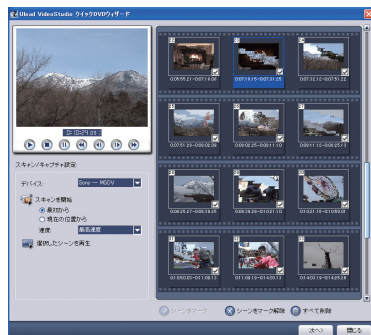
できあがったビデオ作品はDVDやCDディスクに書き込むことももちろん、ウェブ配信やメールに添付するビデオへの変換、DVテープへの書き戻しなどにも対応しています。

また、アニメーションタイトルや100種類以上のエフェクト効果、音声の微調整、ビデオファイル形式のカスタマイズなど本格的なビデオ編集が行える機能が豊富に揃っており、プロ並みのビデオ作品に上げることができます。



「DVD クイックウィザード」と「おまかせモード」で自動ビデオ編集

VideoStudio 9の大きな特徴として「DVD クイックウィザード」と「おまかせモード」があります。「DVD クイックウィザード」は、まったくのビデオ編集の初心者やDVテープをDVDで保管したい方に最適のモードです。「映像の取り込み」ステップと「DVD書き込み」ステップで簡単にDVDが作成できます。「おまかせモード」は、これからビデオ編集をはじめの方や忙しくてビデオ編集に時間を費やせない方にお薦めのビデオ編集モードです。従来のVideoStudioのステップ編集をさらに簡単にわかりやすく3つのステップで自動的にビデオ編集を行います。



クイックDVDウィザード



おまかせモード

VideoStudio 9の新機能

VideoStudio 9には、ビデオ作品をさらに楽しく本格的に仕上げるための新機能がいくつも搭載されています。

【おまかせモードの強化】

多彩なテンプレートが用意され、さらに楽しいビデオが作成できます。スマートパン&ズームにより自動的に人物の顔や花などを検出してズームする機能が搭載されています。また、BGMのリズムパターンを検出し、画面切り換えのタイミングを調整する「ミュージック分析エンジン」を搭載しました。

【リップル編集】

ビデオクリップやタイトル、BGMなどを配置して編集してあるプロジェクトの途中にあらたにビデオクリップを挿入しても、個々のクリップが自動で正しい位置に移動します。ビデオクリップを追加してもクリップのずれがなくなりました。

【オーバーレイステップのさらなる進化】

人物などの被写体を切り抜いて他の映像に合成する「クロマキー編集」やハートや楕円などのフレームを使って映像を切り抜く「マスク処理」など、ビデオ編集が楽しくなる機能を用意しました。

【タイトル機能の強化】

タイトルアニメーションが強化され、「一時停止」がユーザーの好みの時間に設定できるようになりました。

【16:9】

画面比率を変えずに表示でき、4:3のビデオクリップと一緒に編集できます。16:9画面のDVDメニューも作成可能です。

【オーディオ機能の強化】

音楽CDからのインポートや再生速度の変更、片方のチャンネル音声を左右両方に割り当てることができる「オーディオチャンネル複製」、音程を変えずにBGMの長さを微調整する「タイムストレッチ」など、オーディオ編集が豊富になりました。

【強力な入出力サポート】

WMV HDの出力に対応し、最大1,280×720ドットの映像が再生可能、Dolby-Digital標準対応と、扱えるフォーマットが増えました。

ビデオ編集の流れ

VideoStudioは2つのステップでDVDを作成する「クイックDVDウィザード」と3つのステップで簡単に素早くビデオ編集を行う「おまかせモード」、本格的なビデオ編集を行う「VideoStudio 9」があります。

はじめてビデオ編集を行う方やビデオをDVDで保管したい方は「クイックDVDウィザード」で、ビデオ編集初心者や短時間でビデオ編集を行いたい方は「おまかせモード」、凝ったビデオ編集を行いたい方は「VideoStudio 9」というように、作成するビデオ作品に合わせてください。



「クイックDVDウィザード」モード

- はじめてビデオを編集したい!
- DVテープをDVDに録画して保存したい!

「クイックDVDウィザード」では、2ステップでビデオをDVDに書き込みます。

STEP1 取り込み

DVカメラから映像をスキャンして、必要なシーンをチェックします。

STEP2 完成

「書き込み設定」画面で、DVDディスクの書き込み設定を行い、オープニングやエンディングにふさわしいテーマのテンプレート映像を追加したり、ビデオの品質を設定すれば、あとはDVDに書き込むだけです。「書き込み」ボタンをクリック!

ビデオ作品のできあがり

おまかせモード

- 簡単にビデオを編集したい!
- 短時間で見栄えのいいビデオを仕上げたい!
- 録画したビデオをDVDに録画したい!
- デジカメや携帯電話で撮影した写真をDVDやCDで保存したい!

「おまかせモード」では、3ステップでビデオを作成します。

STEP1 準備

DVカメラやビデオテープ、デジカメ写真などの素材を取り込みます。

STEP2 制作

ビデオのオープニングや終わりの効果をテンプレートから選ぶと、自動的にビデオが編集されます。BGMをつけることもできます。

STEP3 完成

できあがったビデオの保存先を選びます。ビデオファイルやDVD、CDディスクに保存でき、本格的にビデオ編集を行うためにVideoStudioモードに進むこともできます。

ビデオ作品のできあがり

VideoStudio モード

- 子供の成長記録や旅行のビデオをDVDで保管したい!
- 本格的なビデオ編集に挑戦したい!

- 結婚式のビデオを編集して新郎新婦にプレゼントしたい!
- ビデオ映画を制作したい!

「VideoStudio」モードでは、7ステップでビデオを作成します。

STEP1 キャプチャ

DVカメラやビデオテープ、テレビ番組、デジカメ写真などの素材を取り込みます。

STEP2 編集

取り込んだビデオの並べ替えや不要な映像部分をカットしたり、フィルタを使ってビデオに特殊効果を加えます。

STEP3 エフェクト

ビデオクリップとビデオクリップの間にエフェクトを挿入して、映像の切り替えに劇的な効果を加えます。

STEP4 オーバーレイ

人物を切り抜いてほかの映像と合成したり、「ピクチャー・イン・ピクチャー」などビデオクリップを重ねて再生する効果を加えます。

STEP5 タイトル

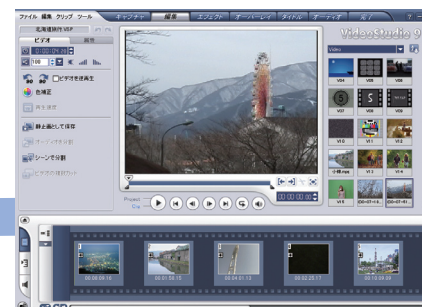
ビデオのタイトルやテロップを作成します。映画の終わりに制作者の名前が流れる「エンドロール」もつくれます。

STEP6 オーディオ

ビデオにBGMやナレーションを挿入します。指定したビデオの再生時間に合わせて曲を自動調節してくれる「オートミュージック機能」もあります。

STEP7 完成

できあがったビデオの保存先を選びます。ビデオファイルやDVD、CDディスクへの書き込みはもちろん、DVテープやウェブ配信用のデータに変換することができます。



ビデオ作品のできあがり

インストール

VideoStudioをコンピュータにインストールします。

必要システム

VideoStudioをインストールするには、お使いのコンピュータに以下のシステムが必要です。

●コンピュータ本体

Intel Pentium III 800MHz以上、Pentium 4 2.4GHz以上を推奨

●日本語オペレーティングシステム

Windows 2000、XP

●メモリ

256MB以上(512MB以上を推奨)

●ハードディスク

1GB以上の空き容量(推奨4GB以上)

※5分間のDV映像をキャプチャするには、約1GBのディスクスペースが必要。

●ディスプレイ

解像度1,024×768ピクセル以上、ハイカラー(16bitカラー)以上

●ディスク装置

CD-R/RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWのいずれかの書き込みに対応したドライブ

●その他の機器

Windows互換のサウンドボード、スピーカー、マウスなどのポインティングデバイス、TVチューナー(TV番組を録画する場合)、USB対応のキャプチャデバイス、アナログキャプチャ対応のビデオキャプチャボード、OHCI仕様のIEEE1394カード(DVカメラからの映像取り込みの場合)

※ 本製品にはWindows 2000、Windows XPなどのオペレーティングシステムは含まれていません。

※ 必要メモリおよび必要ハードディスク容量はお使いのシステムによって異なる場合があります。

注：ハードウェアMPEGエンコーダを持つキャプチャ機器からのキャプチャはできません。それらの機器に付属するソフトウェアでキャプチャしたファイルを読み込んでご利用いただくことになります。

ハードウェアのチェック

DVカメラのキャプチャ機能を利用するには、以下のドライバが設定されていることをご確認ください。

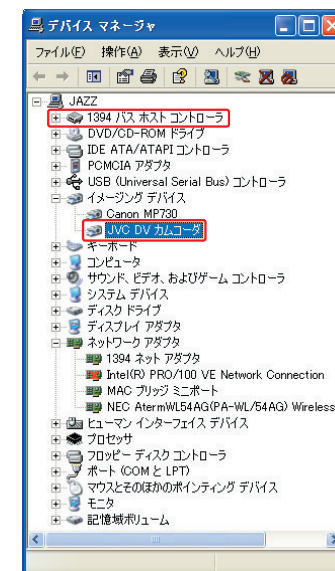
- 1 実行中のすべてのアプリケーションを終了します。
- 2 DVカメラをパソコンに接続してDVカメラの電源を入れます。
- 3 「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。
- 4 「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」をダブルクリックします。
- 5 「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「ハードウェア」タブをクリックして、デバイスマネージャの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
- 6 「デバイスマネージャ」ウィンドウの各デバイスの項目名をダブルクリックするとドライバ名が表示されます。

Windows XPの場合

- IEEE1394バスコントローラ
- 61883デバイスクラス
- AVCデバイスクラス
- イメージングデバイス：(メーカー名) DVカメラ」または「(メーカー名) AVデバイス」と表示されていればOKです。

Windows 2000の場合

- IEEE1394バスコントローラ
- イメージングデバイス：Microsoft DV Camera and VCR



Windows XPの「デバイスマネージャ」ウィンドウ

インストール前の注意点

VideoStudioをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 起動しているアプリケーションは終了してください。
- 各種ウイルスチェックプログラムをご使用の場合は、必ず終了してください。
- スクリーンセーバーを設定している場合は、必ず起動しないようにしてください。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「スクリーンセーバー」タブの「スクリーンセーバー」で▼をクリックし、プルダウンメニューの一番上にある「(なし)」を選ぶと、スクリーンセーバーを切ることができます。
- ディスプレイやハードディスクの「省電力機能」を使用している場合は、電源が切れない設定にしてください。

※各アプリケーションの終了方法は、それぞれのソフトウェアのマニュアル等をご確認ください。

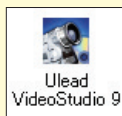
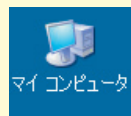
インストール

- 1 VideoStudioのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
自動的にインストール画面が表示されます。「VideoStudio 9のインストール」をクリックします。

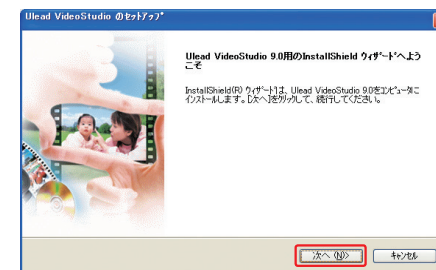
※パソコンの環境によってはインストール画面が表示されない場合もあります。



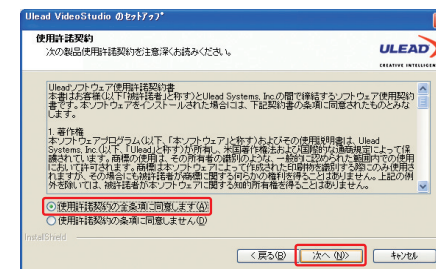
注意 自動的にインストール画面が表示されない場合は、デスクトップの「マイ コンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMドライブアイコンをダブルクリックします。これで、インストール画面が表示されます。



- 2 セットアップ画面で「次へ」ボタンをクリックします。



- 3 使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約の条項を読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れて、「はい」をクリックします。契約書の下の部分を読むには、「Page Down」キーを押します。



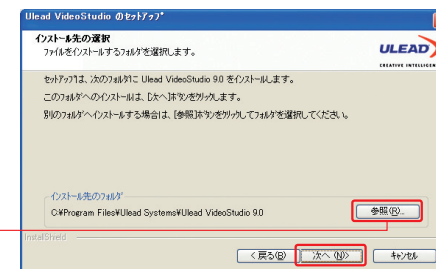
注意 「使用許諾契約の条項に同意しません」にチェックを入れると、VideoStudioはインストールされません。

- 4 ユーザ情報を入力します。「ユーザ名」と「会社名」、「シリアル番号」を入力して、「次へ」ボタンをクリックします。「セットアップタイプ」ダイアログボックスが表示されたら、「すべて」にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックします。



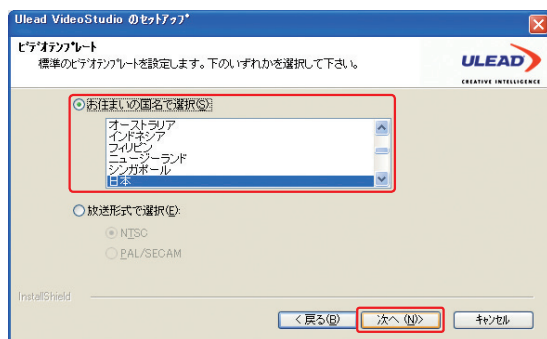
名前を入力
個人の場合は未記入でOK
CDケースに塗付されているシリアル番号を半角英数字で入力

- 5 「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されます。インストール先のフォルダを確認して「次へ」ボタンをクリックします。

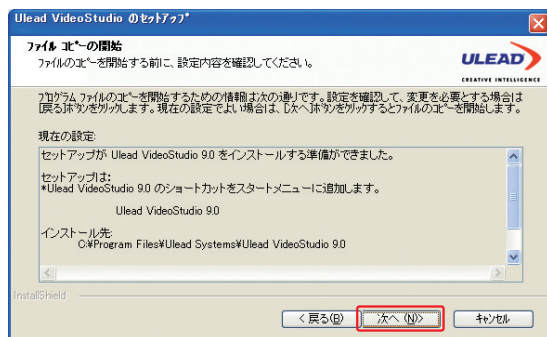


インストール先を変更する場合は、ここをクリック

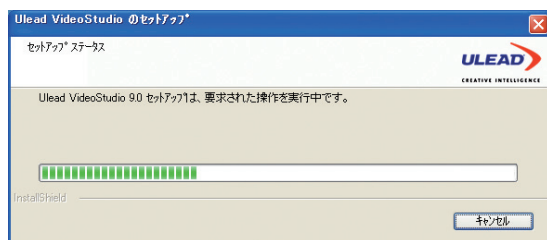
- 6 「ビデオテンプレート」ダイアログボックスが表示されます。「お住まいの国名で選択」チェックボックスをクリックして「日本」を選びます。「次へ」ボタンをクリックします。「プログラムフォルダの選択」ダイアログボックスが表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックします。



- 7 「ファイルコピーの開始」ダイアログボックスが表示され、インストールする内容が表示されます。確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



- 8 セットアップが開始されます。そのまま待ちます。



- 9 「次へ」ボタンをクリックします。



- 10 「InstallShieldウィザードの完了」ダイアログボックスが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。これでVideoStudioがインストールされました。



- 11 VideoStudio 9には、コンテンツCDが付属しています。ここには、COOL 3DやPhotoImpactでビデオ素材を作成するためのガイドマニュアルが入っています(注: PhotoImpactは付属していません)。また、ビデオ編集に役立つDVDメニューやオーディオ、イメージ、ビデオ素材が収録されています。これらを使用するにはコンテンツCDをパソコンにセットして、表示されるメニューから必要な項目をクリックしてインストールします。



アンインストール

VideoStudioを使わなくなったときやインストールしたときの初期状態に戻したい場合は、VideoStudioをコンピュータからアンインストール(削除)します。

- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



- 2 「コントロールパネル」ウィンドウから「プログラムの追加と削除」をクリックします。



- 3 「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。「プログラムの変更と削除」をクリックし、「現在インストールされているプログラム」の一覧からVideoStudioをクリックします。

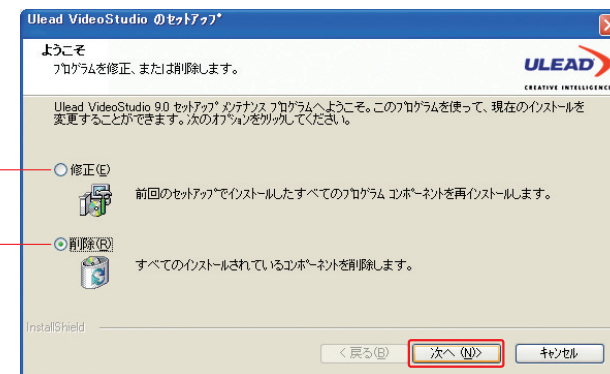


- 4 「変更と削除」ボタンをクリックします。

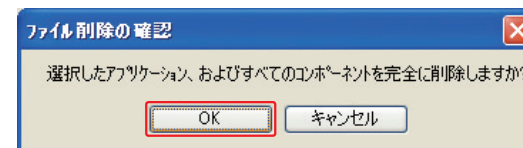
- 5 「Ulead VideoStudio のセットアップ」ウィザードが表示されます。「修正」か「削除」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。

VideoStudioを再インストールするには「修正」をチェックします。インストールされているすべてのファイルを再インストールします。なお、その際にはインストールに使用したCD-ROMが必要になります。

VideoStudioをコンピュータから取り除く場合は、「削除」をチェックします。



- 6 「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックするとVideoStudioがアンインストールされます。



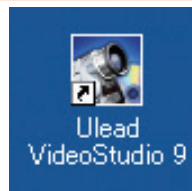
- 7 VideoStudioのインストール時に、「SmartSound」がインストールされています。同様の方法でSmartSoundもアンインストールしてください。

起動と終了

VideoStudioの起動方法と終了の仕方を解説します。

VideoStudioの起動

1 「VideoStudio」を起動するには、デスクトップに表示されている「Ulead VideoStudio 9」のアイコンをダブルクリックします。または、「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」→「Ulead VideoStudio 9」→「Ulead VideoStudio 9」を選択しても起動します。



2 はじめてUlead VideoStudioを起動したときは、「ユーザー登録」画面が表示されます。インターネットに接続できる環境の場合、「今すぐ登録」ボタンをクリックすると、ユーリードシステムのユーザー登録サイトにアクセスできます。ここでユーザー登録を行ってください。



VideoStudioの終了

VideoStudioのオープニング画面で終了するには、「×」ボタンをクリックします。



「×」ボタンをクリックして終了

クイックDVDウィザード編

クイックDVDウィザードでビデオをDVDに書き込もう

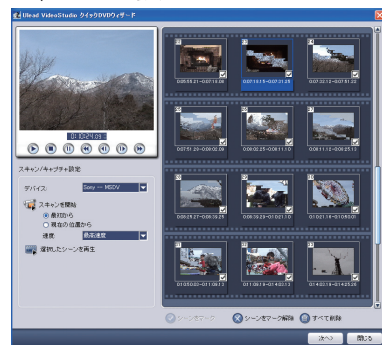
クイックDVDウィザードは2ステップでビデオをDVDに書き込んでくれる簡単モード。録りためたDVテープを保存版DVDにしましょう。



2ステップで簡単ビデオ編集

「クイックDVDウィザード」は、VideoStudio 9から新たに搭載された、ビデオ編集初心者のための簡単モードです。DVカメラの映像をパソコンに取り込み、DVDを作成します。わずか2ステップで行えるので、どなたでも簡単に録りためたDVテープをDVDに書き込んで整理することができます。

Step1: ビデオの取り込み



DVテープをセットしたDVカメラをパソコンに接続して、DVテープをスキャン。必要な映像を選択します。

Step2: DVDに録画



DVDに書き込むビデオには、メニューや音楽をつけられます。DVDに書き込む設定を行って、「書き込み」ボタンをクリック。オリジナルDVDの完成です。

「クイックDVDウィザード」の起動

Ulead VideoStudioを起動すると、オープニング画面が表示されます。ここから「クイックDVDウィザード」をクリックします。



「16:9」のワイド画面でDVDを作成するには、ここをクリック

注意

クイックDVDウィザードはアナログビデオ機器には対応しておりません。アナログビデオ機器から映像を取り込むには「おまかせモード」をご利用ください。

DVテープのスキャン

DVテープからの取り込み設定

「DVテープをスキャンとキャプチャウィザード」画面が表示されます。ここでは、VideoStudioが取り込みたいDVテープの内容を一度スキャンして、インデックスを作成します。そこから必要な映像をピックアップして、VideoStudioに取り込みます。

1

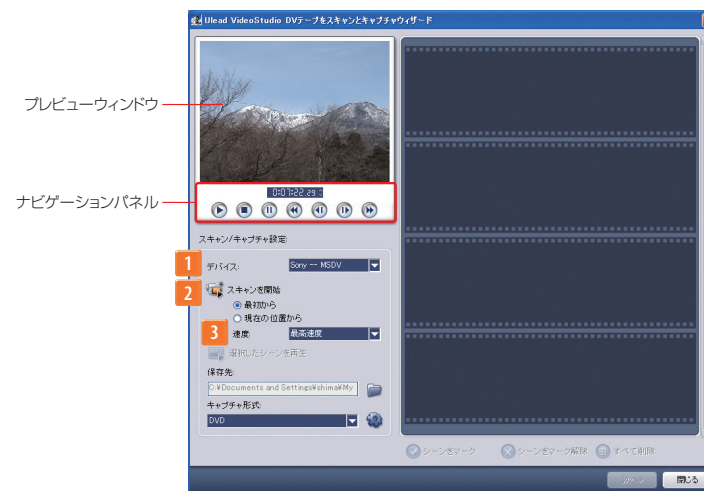
「デバイス」には接続したDVカメラのドライバが表示されます。変更する場合は「▼」ボタンをクリックします。

2

「スキャンを開始」でDVテープのどの位置からテープをスキャンするかを設定します。

DVテープをまるごと1本スキャンしたりDVテープの先頭からスキャンするには、「最初から」にチェックを入れます。

DVテープの途中からスキャンするには、ナビゲーションパネルでDVカメラを制御し、スキャンする位置に移動して、「現在の位置から」にチェックを入れます。



3

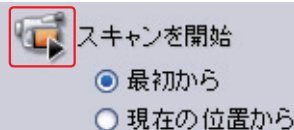
DVテープは倍速でスキャンできます。「速度」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからスキャン速度を選択します。

ヒント

スキャン速度を上げると短時間でDVテープをスキャンできますが、インデックスを作成する精度は落ちます。

DVテープから必要なシーンを選ぶ

- 4** 「スキャンを開始」ボタンをクリックします。
「最初から」にチェックを入れた場合は、自動でDVテープが巻き戻されてからスキャンがはじまります。「現在の位置から」にチェックを入れた場合は、そこからスキャンがはじまります。
「最初から」にチェックを入れた場合は、テープの最後までスキャンすると自動で停止します。「現在の位置から」にチェックを入れた場合は、スキャンを終了する位置で「スキャンを停止」ボタンをクリックします。

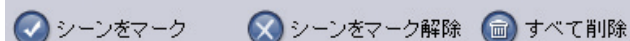


- 5** スキャンされた内容はDVカメラのオン・オフの切れ目や撮影の日時などを検索して、「シーン」に分けられてストーリーボードのリストに表示されます。

- 6** 各シーンの内容を確認するにはシーンをクリックして、「選択したシーンを再生」ボタンをクリックします。DVカメラが制御され、巻き戻しや早送りが行われて、そのシーンがプレビューウィンドウに表示されます。



- 7** 不要な映像を取り込まないようにするには、いらないシーンをクリックして、「シーンをマーク解除」ボタンをクリックします。再び取り込みたい場合は、そのシーンをクリックして「シーンをマーク」ボタンをクリックします。すべて取り込まない場合は、「すべて削除」ボタンをクリックします。



- 8** DVDへ書き込むシーンの選別ができあがったら、「次へ」ボタンをクリックします。

DVDに書き込む

「書き込み設定」画面が表示されます。ここではDVDディスクの書き込み設定やテンプレートの選択、ビデオの品質を設定してDVDに書き込みます。



DVDディスクの書き込み設定

- 1** 「ボリューム名」に、作成するディスクのボリューム名を入力します。デフォルトは「DVD_年月日」です。

Tips 名前は半角英数で32文字以内です(日本語は入力できません)。

- 2** 書き込むDVDディスクに合わせて、レコーディング形式を選びます。「詳細」ボタンをクリックします。一般的なDVDビデオを作成する場合はそのまま構いません。



- 3 「出力設定」ダイアログボックスが表示されます。各項目の設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。

【出力ディスク形式】

1 「書き込み後にテンポラリファイルを削除」

DVテープの映像をDVDに書き込むときに作業のため一時ファイルをハードディスクに保存します。ここにチェックを入れると、DVD作成後にこれらのファイルを削除してくれます。

2 「チャプタを自動的に追加」

チャプタとはDVDレコーダーなどでDVDを見ると、リモコンを使って次のジャンプ先まで移動する地点のことです。ここにチェックを入れると、DVDに書き込まれるビデオに自動でチャプタを設定します。チャプタの間隔は分単位で設定できます。

※クイックDVDウィザードでは、任意の場所にチャプタを設定することはできません。

3 「DVDフォルダを作成」

クイックDVDウィザードでは、DVテープの映像をDVDに書き込むときに一度ビデオファイルや書き込み設定をDVDフォルダに保存します。ここにチェックを入れるとDVDに書き込む内容をそのまま保存できます。同じ内容のDVDを作成する場合などに使用します。

4 「表示アスペクト比」

「4:3」かワイド画面の「16:9」から表示するサイズを設定します。4:3で撮影したビデオもアスペクト比を維持したまま16:9画面で表示することができます。

5 「テンプレートミュージックの音量」

「テーマテンプレート」を選んだ場合、ビデオにはBGMが流れます。ここではBGMの音量を調節できます。

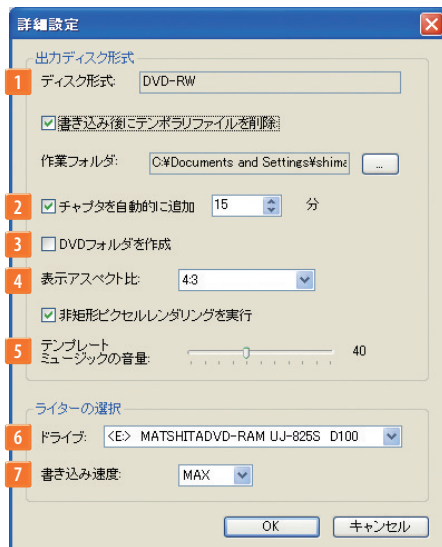
【ライターの選択】

6 「ドライブ」

DVD書き込みドライブを複数台接続している場合に、使用するドライブを設定します。

7 「書き込み速度」

DVDに書き込む速度を選択します。書き込み速度を速くしてもDVD書き込みドライブが対応していなければ、その速度にはなりません。



DVDディスクの書き込み設定

「テーマテンプレート」は、作成するビデオにオープニングムービーとエンドムービーが付きます。ビデオの内容に合わせて「学校」や「夏の海岸」、「春のお祝い」を選択すると、各テーマに沿ったビデオが完成します。

テーマテンプレートから使用するテンプレートをクリックします。テーマテンプレートを使用しない場合は、一番右端の「テンプレートなし」を選択します。

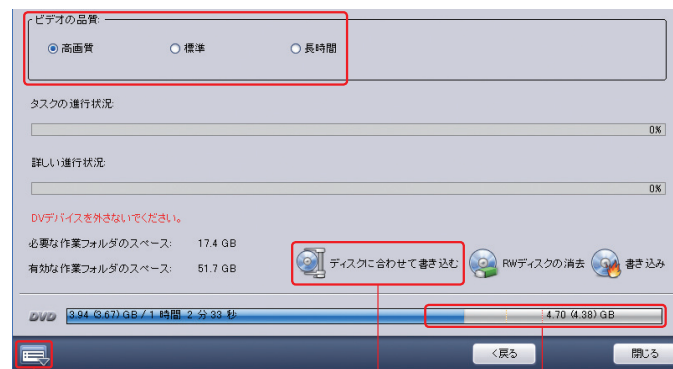


テーマテンプレートの一覧から
テンプレートを選択

テンプレートを使わない場合は、
「テンプレートなし」を選択

ビデオの品質と容量

「ビデオの品質」では、DVDに書き込むビデオのクオリティを選択します。「高画質」、「標準」、「長時間」から選び、チェックを入れます。ディスク収録容量が画面下にグラフで表示されるので、容量を確認しながら選択します。容量オーバーの場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の画面に戻り「シーン」を減らすか、「ディスクに合わせて書き込む」ボタンをクリックして、容量ちょうどにビデオ品質を変更します。



クイックDVDウィザードで編集したビデオは、「おまかせモード」や「VideoStudio」でさらに編集することができます。「オプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「おまかせモードに切り替え」か「VideoStudioに切り替え」を選びます。

容量オーバー時にクリックすると、ディスク容量に合わせてビデオ品質を調整してくれます。ただし、現在の品質より画質は劣化します。

赤いラインを超えると書き込むことはできません。黄色のラインが安全に書き込める容量の目安です。

注意

クイックDVDウィザードで作成したビデオは、保存することができません。また、「おまかせモード」や「VideoStudio」で編集する場合は移動するだけで、クイックDVDウィザードで選んだテーマテンプレートなどを変更することはできません。

書き込み開始

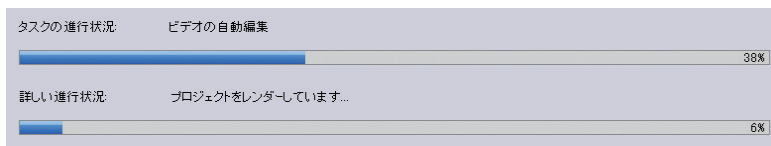
1 各設定が終われば、書き込みを開始します。書き込むディスクにデータがある場合は、「ディスクの消去」ボタンをクリックして削除することができます。

2 「書き込み」ボタンをクリックすると、ディスクに書き込みが開始されます。



ヒント 途中でDVDの書き込みを中止するには、「キャンセル」ボタンをクリックします。

3 まず、DVカメラが制御されて、ビデオが取り込まれます。その後ビデオの自動編集が行われます。「タスクの進行状況」では全体での作業、「詳しい進行状況」では各作業についての説明とグラフによる進行が表示されます。



4 「書き込み完了」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。これでDVDディスクの完成です。

「閉じる」ボタンをクリックして、クイックDVDウィザードを終了します。作成したDVDは、パソコンや書き込んだビデオ形式に対応したDVDレコーダーで再生できます。



「テーマテンプレート」を選択してDVDを作成すると、オープニングやエンディングムービーが付いたビデオができます。

おまかせモード編

STEP1 準備

3つのステップでビデオが編集できる「おまかせモード」を使って、オリジナルビデオの作成をはじめましょう。取り込んだビデオやイメージ素材を自動で編集してくれます。



3ステップで自動編集

「おまかせモード」は、ビデオ編集がはじめての方でも簡単にビデオ編集が行えます。ビデオ素材を取り込むだけで、あとは VideoStudio におまかせ。オープニングタイトルやBGM、エンディングタイトル、ビデオとビデオの切り替わりの効果などが自動で作成され、オリジナルビデオができあがります。

STEP1 準備

DVカメラやビデオテープ、デジカメ写真などの素材を取り込みます。

[取り込めるビデオや画像素材]

- DVテープ、ビデオテープ、ビデオファイル、DVDビデオ、テレビ番組、DVDレコーダーで録画したテレビ番組など
- デジタルカメラや携帯電話の写真画像



STEP2 制作

ビデオのオープニングや終わりの効果をテンプレートから選べと、自動的にBGM付きのビデオが編集されます。またBGMやテキストは変更することもできます。さらに人の顔や花などを自動的に認識してズームしたりパンします。



STEP3 完了

できあがったビデオの保存先を選びます。ビデオファイルに保存したり、DVDやCDディスクに保存できます。また、本格的にビデオ編集を行うためにVideoStudio 9の編集モードに進むこともできます。



ビデオ作品のできあがり

「STEP2 制作」の自動編集の内容

「スタイルテンプレート」を選択すると、以下のような自動編集が行われます。



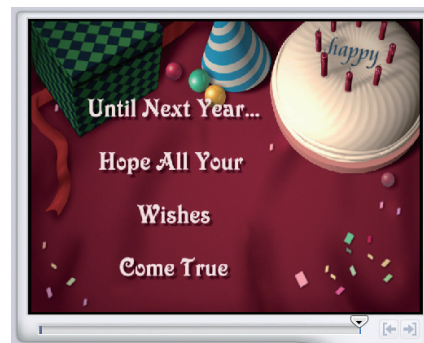
タイトル付きのオープニングムービーが自動で作成されます。タイトルの文字はオリジナルに変更できます。



ビデオを飾るオーバーレイ映像やBGMがつけます。BGMは変更することができます。



「フラッシュバック」など、ビデオとビデオが切り替わる時に効果がかかります。

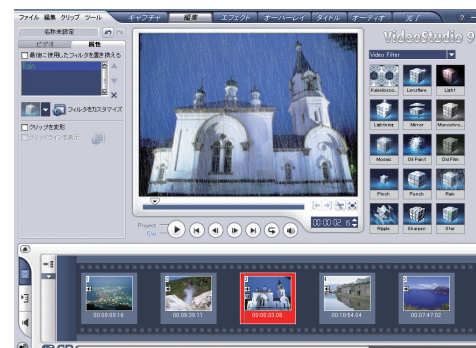


タイトル付きのエンディングムービーが自動で作成されます。タイトルはオリジナルに変更できます。

「STEP3 完了」でできること



「ディスクの作成」DVDやCDディスクに書き込みます。ディスクのメニューやチャプタを作成できます。



「Ulead VideoStudio 9で編集」できあがったビデオをVideoStudio 9モードで本格的に編集することができます。

おまかせモードの起動

おまかせモードは、誰もが簡単にビデオを編集できるツールです。ビデオ映像をパソコンに取り込み、いらない部分をカットしたり映像を再生する順番を入れ替えたりして編集します。

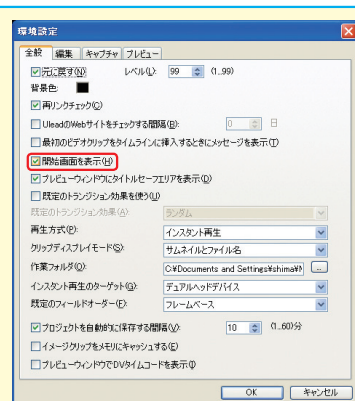
1 「おまかせモード」でビデオ編集を行うには、オープニング画面から「おまかせモード」をクリックします。

「次回はこのメッセージを表示しない」にチェックを入れると、次回から VideoStudio を起動してもこの画面は表示されず、「VideoStudio」モードに進みます。

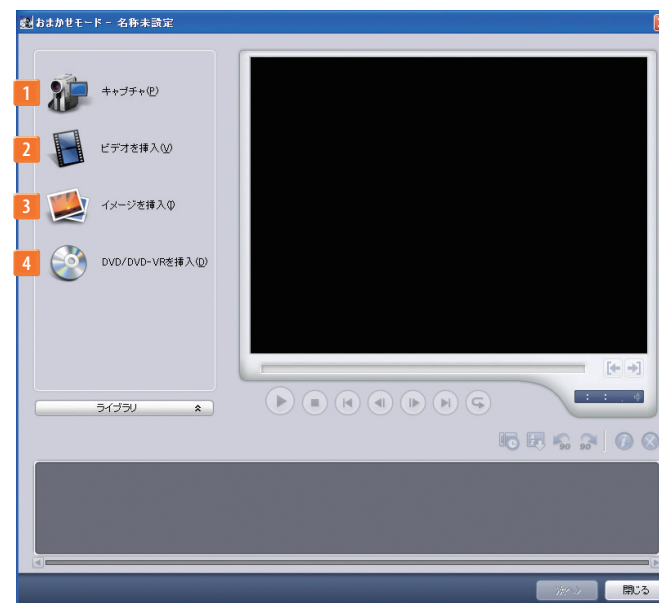


2 作成するプロジェクトを 16 : 9 のワイド画面に対応するには、「16 : 9」アイコンをクリックします。

Tips オープニング画面を再び表示するには、「ファイル」メニュー→「環境設定」→「全般」タブの「開始画面を表示」にチェックを入れます。



3 「おまかせモード」画面が表示されます。ここでは映像や画像素材を取り込んで編集します。取り込める素材は DV カメラやビデオデッキ、DVD レコーダーで録画したテレビ番組、ビデオファイル、DVD ビデオの映像、デジカメや携帯電話で撮影した写真などです。取り込む素材に合ったアイコンをクリックします。



1 【キャプチャ】

DV カメラやビデオデッキなどの映像をビデオファイルにして取り込みます。(→ 34 ページ)

2 【ビデオを挿入】

すでにパソコンに保存してあるビデオファイルを取り込むときに選択します。(→ 36 ページ)

3 【イメージを挿入】

デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真や画像ファイルを読み込むときに選択します。(→ 38 ページ)

4 【DVD/DVD-VRを挿入】

ディスクやハードディスク内にある DVD-Video や DVD-VR ファイルを取り込むときに選択します。(→ 37 ページ)

注意 ハードウェア MPEG エンコーダーを持つキャプチャ機器からのキャプチャはできません。それらの機器に付属するソフトウェアでキャプチャしたファイルを読み込んでご利用ください。

ビデオのキャプチャ

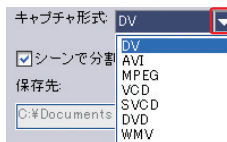
DVカメラやビデオデッキから映像を取り込むには、「キャプチャ」ボタンをクリックします。「キャプチャ」をクリックすると、「キャプチャ設定」オプションパネルが表示されます。DVカメラはDVケーブルでパソコンのIEEE1394 (DV) 端子に接続します。ビデオデッキは映像ケーブルでパソコンのAV入力端子に接続します。



1 「キャプチャ時間」は、映像を取り込む時間を指定して、その時間までキャプチャするときには使用します。

2 「ソース」の「▼」ボタンをクリックして、取り込むビデオ機器を選びます。

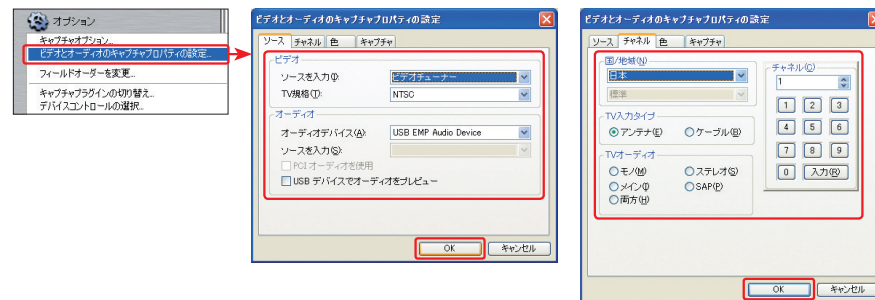
3 「キャプチャ形式」では取り込むビデオの形式やコーデックを設定します。「▼」ボタンをクリックして選択します。なお、キャプチャするビデオ機器によって、表示されるキャプチャ形式は変わります。



4 「シーンで分割」にチェックを入れると、DVカメラの映像から日時やスタートボタンを押した位置を検出して、別ファイルで取り込んでくれます。

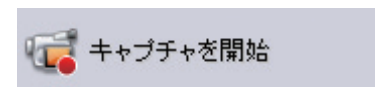
5 「保存先」で取り込むビデオの保存する場所を設定します。設定場所を変更するには「フォルダ」アイコンをクリックします。

6 さらに詳しく設定するには「オプション」ボタンをクリックします。テレビ録画をする場合は、「ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定」を選択します。「ソース」タブの「ソースを入力」から「ビデオチューナー」を、「チャンネル」タブをクリックして「TV入力タイプ」と「チャンネル」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

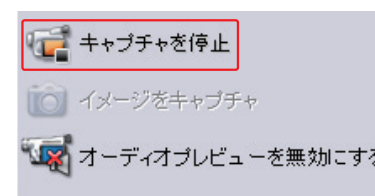


7 DVカメラから映像を取り込むには、ナビゲーションパネルで操作してDVカメラを制御し、取り込みたいビデオの頭出しをします。DVカメラの映像はプレビューウィンドウに表示されます。また、DVカメラの液晶モニタでも確認できます。ビデオ機器の場合は、ビデオ機器側で操作します。

8 取り込み準備が整ったら、「キャプチャを開始」ボタンをクリックします。ビデオの取り込みが始まります。ビデオ機器の場合は、ビデオを再生してから「キャプチャを開始」ボタンをクリックします。



9 必要な映像を取り込んだら、「キャプチャを停止」ボタンをクリックしてビデオの取り込みを終了します。DVカメラやビデオ機器を停止します。



Tips 「オーディオプレビューを無効にする」をクリックすると、ビデオの取り込み中に音声プレビューが無効になり、プレビューの際のパフォーマンスが向上します。

10 取り込んだビデオが「メディアクリップリスト」に表示されます。

11 ビデオファイルや静止画を取り込むには、「戻る」ボタンをクリックします。

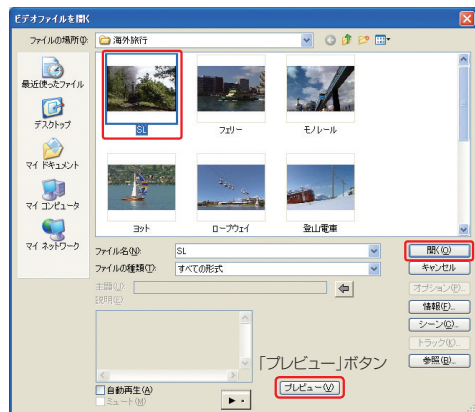
ビデオファイルの挿入

すでにハードディスクなどに保存されているビデオファイルを取り込むことができます。Video Studioで扱えるビデオファイルは、MPEG、WMV、MOV、AVIです。

- 1 ビデオファイルを追加するには、「ビデオを挿入」ボタンをクリックします。



- 2 「ビデオファイルを開く」ダイアログが表示されます。ビデオファイルが収録されているフォルダを選択して、使用するビデオファイルを選択します。選択したビデオファイルをクリックして「プレビュー」ボタンをクリックすると、ビデオファイルが表示されます。「再生」ボタンをクリックするとビデオが再生され、内容が確認できます。複数のビデオファイルを選ぶには「Ctrl」キーを押しながらビデオファイルをクリックします。「開く」ボタンをクリックします。



ここをクリックすると選択したビデオファイルが自動で再生されます。

「再生」ボタン

ビデオが再生されます。



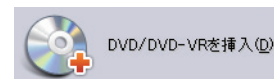
- 3 取り込んだビデオは「メディアクリップリスト」に表示されます。



DVDビデオの挿入

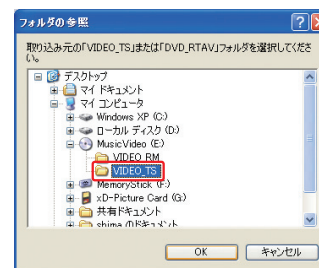
すでに作成したDVDディスクからビデオを取り込みます。なお、市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

- 1 DVDディスクをパソコンにセットし、「DVD/DVD-VRを挿入」ボタンをクリックします。

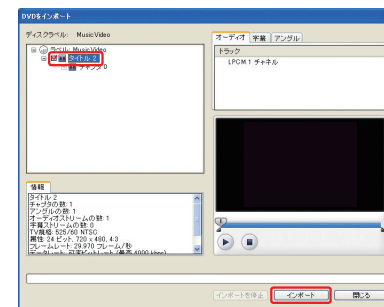


- 2 「フォルダの参照」ダイアログボックスから「VIDEO_TS」または「DVD_RTAV」フォルダを選択します。読み込みたいディスクがDVDVideoの場合は「VIDEO_TS」を、DVDレコーダーやDVD CAMで録画したディスクでは「DVD_RTAV」フォルダを選択します。

※ DVD-VR形式で収録されているDVD-RWディスクから取り込みを行う場合は、「DVD_RTAV」フォルダを指定するのではなく、ディスクが入っているドライブを指定するだけで大丈夫な場合があります。また、DVD-VR形式のDVD-RWディスクからの取り込みは、読み込みに時間がかかる場合があります。



- 3 「DVDをインポート」ダイアログボックスが表示され、ディスクに録画されている内容が一覧表示されます。取り込みたいビデオにチェックを入れて、「インポート」ボタンをクリックします。



- 4 取り込んだビデオを確認するには、メディアクリップリストからビデオクリップをクリックして、ナビゲーションパネルの「再生」ボタンをクリックします。



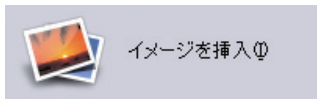
「I」ボタン: ビデオの情報(サイズや容量など)を表示します

「X」ボタン: 不要なビデオを選択して削除します

写真などの画像の取り込み

Video Studioでは、デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真や画像ファイルを取り込むことができます。取り込んだ画像は、ビデオクリップなどと一緒にDVDディスクやCDに書き込むことができます。

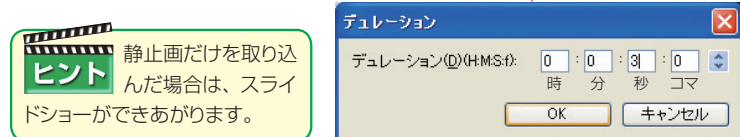
- 1 写真などの画像を取り込むには、「イメージを挿入」ボタンをクリックします。



- 2 「イメージクリップを追加」ダイアログボックスが表示されます。取り込む画像をクリックして、「開く」ボタンをクリックします。複数の写真を選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながら写真をクリックします。



- 3 追加した写真はメディアクリップリストに表示されます。1枚の画像が再生される時間は、デフォルトで3秒です。画像を表示する時間を変更するには、画像を右クリックして、表示されるメニューから「デュレーション」をクリックし、「デュレーション」ダイアログボックスで設定します。



ライブラリの活用

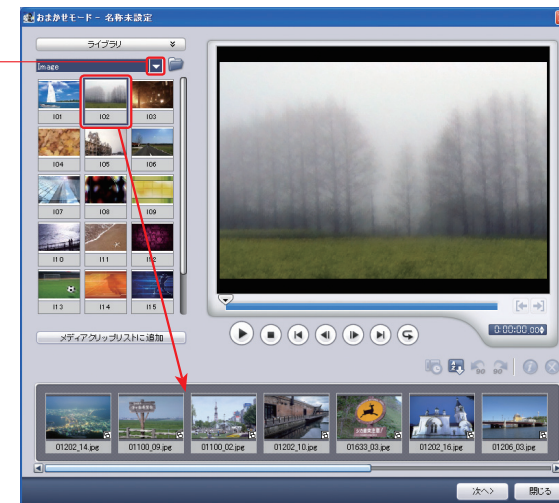
ビデオ編集には、「ライブラリ」に登録したビデオクリップや静止画を使用することができます。よく使う素材はライブラリに登録しておくと、簡単に使うことができます。また、VideoStudioには、オープニングやビデオの終わりに使用できるビデオクリップがいくつか用意されています。これらを使うとよりすてきなビデオ作品ができあがります。

- 1 「ライブラリ」ボタンをクリックすると、ライブラリが表示されます。

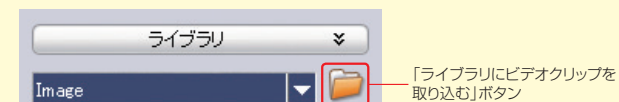


- 2 ライブラリから追加する素材を選択すると、「プレビュー」ウィンドウに表示されます。素材をメディアクリップリストにドラッグします。

「ビデオ」ライブラリと「イメージ」ライブラリの切り替え



Tips ライブラリにビデオクリップを登録するには、「ライブラリにビデオクリップを取り込む」ボタンをクリックします。「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されるので、登録するビデオクリップを選択して「開く」ボタンをクリックします。



取り込んだビデオの確認

- 取り込んだビデオは「メディアクリップリスト」にサムネイルで表示されます。いくつかの素材を取り込んだ場合は、スライドバーや三角ボタンを使ってビデオリストに表示します。



- 取り込んだビデオの内容を確認するには、メディアクリップリストからビデオクリップを選択します。選択したビデオがプレビューウィンドウに表示されます。ナビゲーションパネルの「再生」ボタンを押すと、ビデオが再生されます。

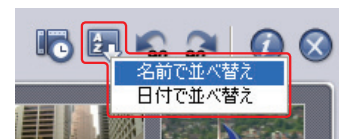
再生の順番を入れ替える

ビデオの再生順を入れ替えるには、ビデオクリップをドラッグします。移動する位置に黄色い線が表示されるので、そこでビデオクリップを離します。



クリップの並べ替え

いくつかのクリップを並べ替えてビデオの構成を変更するには、「メディアクリップリストの並べ替え」ボタンをクリックします。表示されるメニューから名前順か日付順を選んで並び替えます。



ビデオをシーンで分ける

「ビデオシーンに分割」ボタンは、すでに取り込んだビデオクリップを、撮影日時を検出して分割します。シーンごとに分けたいビデオクリップを選択して、「ビデオシーンに分割」ボタンをクリックします。分割されたビデオクリップはメディアリストに配置されます。



クリップの向きを整える

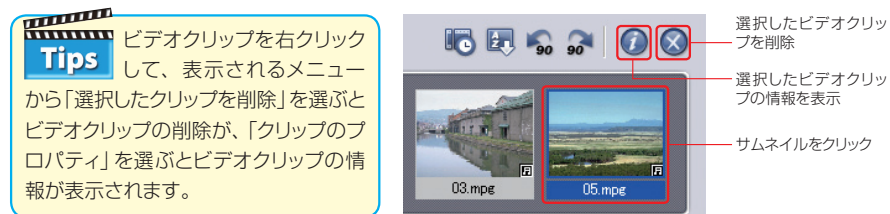
メディアリストに取り込んだ横向きで表示されている写真やビデオクリップの向きを変えることができます。クリップを選択して「右に回転」、または「左に回転」ボタンをクリックします。クリップの向きが90度回転します。



クリップの並べ替え／ビデオをシーンで分ける／クリップの向きを整える

ビデオの削除と情報の表示

確認していない映像は、ビデオのサムネイルを選択し、「×」ボタンをクリックして削除します。また、サムネイルをクリックして、「i」ボタンをクリックすると、その映像の情報が表示されます。



カット編集

取り込んだビデオを編集します。DVテープやビデオテープなどからビデオをキャプチャしたとき、先頭や終わりにいらぬ映像まで取り込んでしまう場合があります。そんなときはいらぬ部分をカットして、必要なビデオだけにします。また、パソコンに保管してあるビデオファイルやDVDディスクから取り込んだビデオを編集することもできます。

1 「メディアクリップリスト」からトリミングする映像をクリックして選択します。

2 選択したビデオの映像がプレビューウィンドウに表示されます。ジョグスライダーを使用する映像の先頭に移動します。

3 「マークイン」ボタンをクリックするとその位置から映像が再生されます。



4 映像の終わりのいらぬ部分を取り除くには、ジョグバーを必要な映像の終わりに移動して、「マークアウトを設定」ボタンをクリックします。



5 ビデオのいらぬ部分がカットされた映像ができあがります。

Tips 1フレーム単位でイン点/アウト点を決める場合は、ナビゲーションパネルで操作します。



次のステップへ

ビデオの編集が終われば、「次へ」ボタンをクリックして、次のステップへ進みます。



おまかせモード編

STEP2

制作

おまかせモードでのビデオ編集は、
お好みのスタイルテンプレートを選ぶだけで、自動で行われます。
もちろん、ユーザーがカスタマイズすることも可能です。



テーマテンプレート

「テーマテンプレート」オプションパネルが表示されます。映像を取り込んでトリミングなどの編集を行ったビデオが、テーマテンプレートによって自動的に編集されます。

テーマテンプレートはビデオに以下のような効果を加えます。

- 1 先頭にタイトル入りのオープニングムービーがつく
- 2 ビデオにオーバーレイ映像が追加されるか、オーバーレイ映像の中でビデオが再生される
- 3 ビデオの終わりにタイトル入りのエンドムービーがつく
- 4 テーマに合ったBGMが流れる
- 5 ビデオクリップとビデオクリップの間にビデオの切り替え効果が挿入される

テーマテンプレートには、「誕生日」や「春のお祝い」、「夏の海岸」、「クリスマス」、「クラシック」など30種類があり、作成するビデオに合ったテンプレートを選びます。

- 1 ビデオのテンプレートを選ぶ
には、「テーマテンプレート」の「▼」ボタンをクリックして、「ホームムービー」を選び、表示されたリストから使用するテンプレートをクリックします。



テーマテンプレートで「ドライブインムービー」を選択した例

オープニングムービーのタイトルを変更することができます

「ドライブインムービー」では、車から見える効果がつきます

エンドムービーのタイトルを変更することができます



ビデオのオープニングに相応しい映像が流れます。



ビデオに背景がつき、そのなかでビデオが再生される効果もあります。



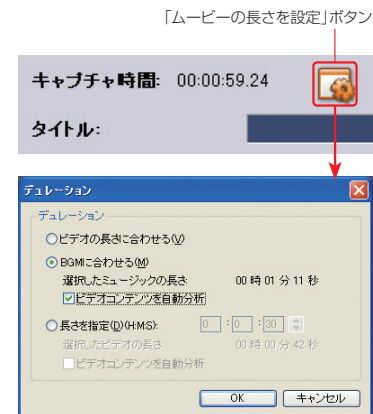
ビデオの終わりに相応しい映像が流れます。

- 2 テーマテンプレートを使用したビデオの再生時間をカスタマイズすることができます。「ムービーの長さを設定」ボタンをクリックして、「デュレーション」ダイアログボックスで設定を行います。

「ビデオの長さに合わせる」ビデオの再生時間に合わせて効果がかかります。

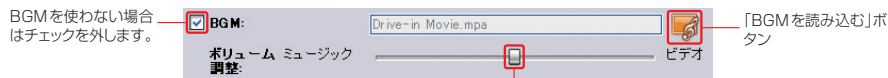
「B.G.M.に合わせる」オプションで選んだBGMの演奏時間に合わせて効果がかかります。

「長さを指定」効果のかかる時間を設定します。



Tips 「ビデオコンテンツを自動分析」にチェックを入れると、BGMや指定時間の長さに合わせビデオを自動分析し、品質の悪いシーンを自動的に削除します。

- 3 テーマテンプレートには、はじめからBGMがついています。BGMを変更するには、「BGMを読み込む」ボタンをクリックして、表示される「オーディオオプション」ダイアログボックスの「オーディオを追加」ボタンをクリックして、音楽ファイルを選択します。



ビデオクリップの音声とBGMの音声を調節します。スライドバーを「ミュージック」側に移動するとBGMの音量が大きく、「ビデオ」側に移動するとビデオクリップの音量が大きくなります。

Tips おまかせモードでは「ミュージック分析エンジン」が搭載されています。ここではビデオとビデオの切り替わりに使用されるトランジションに合わせてBGMのリズムパターンを調整してくれます。

- 4 「クリップをマーク」ボタンをクリックすると、「クリップをマーク」ダイアログボックスが表示されます。ここでは作成するビデオに各クリップを使用するかしないかを選択できます。必ず使用したいクリップは各クリップをクリックして「必須」ボタンをクリックします。使用してもしなくてもどちらでもいいクリップは、各クリップをクリックして「任意」ボタンをクリックします。「自動」ボタンをクリックすると、自動で使用するクリップを選別してくれます。



5 テーマテンプレートのタイトルを変更するには、ジョグスライダーでオープニングムービーやエンドムービーの位置に移動します。または、「タイトル」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるタイトルメニューから選ぶこともできます。黄色のポイントで囲まれたタイトルの文字をダブルクリックします。



ジョグスライダー
オープニングムービーやエンドムービーの位置には、色がついています

6 文字入力カーソルが表示されるので、テキストをドラッグして選択し、新しいテキストを入力します。



サブタイトルのあるテーマテンプレートでは、サブタイトルも入力します。



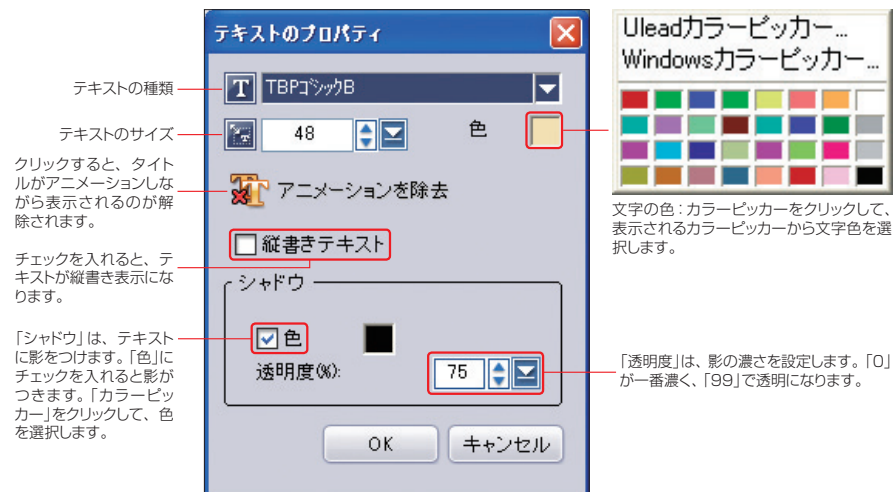
サブタイトルをクリックしてDeleteキーを押すと、サブタイトルを削除することができます。

7 タイトルのテキストは、フォントやサイズ、色などの調整ができます。テキストのスタイルを変えるには、「テキストのプロパティ」ボタンをクリックします。

「テキストのプロパティ」ボタン



8 「テキストのプロパティ」ダイアログボックスで、テキストを調整します。設定が終われば、「OK」ボタンをクリックします。



テキストの種類
テキストのサイズ
クリックすると、タイトルがアニメーションしながら表示されるのが解除されます。

チェックを入れると、テキストが縦書き表示になります。

「シャドウ」は、テキストに影をつけます。「色」にチェックを入れると影がつきます。「カラーピッカー」をクリックして、色を選択します。

文字の色：カラーピッカーをクリックして、表示されるカラーピッカーから文字色を選択します。

「透明度」は、影の濃さを設定します。「0」が一番濃く、「99」で透明になります。

9 タイトルのテキストはドラッグして移動したり、黄色のポイントをドラッグして拡大縮小したりすることができます。

同じように、エンドロールのテキストを変更します。

テキストボックスをドラッグして、配置する場所を変更できます。

黄色のポイントをドラッグして、テキストを拡大・縮小します。



水色のポイントはシャドウのテキストボックスを移動するときに使います。テキストとシャドウの位置を離したり、どの位置に影を配置するかを設定できます。

セーフティエリア：テレビで作成したビデオを再生するときにビデオのフチがかけることがあります。タイトルはセーフティエリア内に収まるように配置します。

- 10 ナビゲーションパネルの「再生」ボタンをクリックすると、ビデオの確認ができます。すべての設定が終われば、「次へ」ボタンをクリックします。



スライドショーの作成

おまかせモードでは、デジタルカメラで撮影した写真や画像ファイルを使ってスライドショーを作成することができます。スライドショーを作成するには「イメージを挿入」ボタンをクリックして画像ファイルを取り込み、「テーマテンプレート」の「▼」ボタンをクリックして表示されるメニューから「スライドショー」を選択します。リストに表示されるテンプレートを選びます。

作成されたスライドショーは、VideoStudioの独自のエンジンが画像を分析し、人物の顔などの目標物をターゲットにして自動でアップにしたり遠ざかったりする「オートパン＆ズーム機能」やイメージの自動調節、写真の切り替わりにトランジションを自動で挿入、トランジション効果の部分でBGMのリズムを調節するなど、見応え十分の作品に仕上げてくれます。ムービーの長さの設定やタイトルの挿入、BGMの読み込みなどは、P.46-49を参照してください。



おまかせモード編

STEP3 完了

ここではできあがったビデオを保存する設定を行います。ビデオファイルにして保存するか、ディスクに書き込むか、本格的に編集するために VideoStudio モードに移動するかを選択して、それぞれの作業に進みます。

ビデオの編集を選択

ビデオ編集作業を選択する画面が表示されます。ここからビデオ編集に合わせて各ボタンをクリックします。各ボタンをクリックすると、それぞれの操作画面に進みます。

また、ここまでのビデオ編集でやり直しする場合は、「戻る」ボタンをクリックします。

ビデオファイルを作成



作成したビデオをビデオファイルにして保存する場合に選択します。ビデオファイル形式を選択して、ハードディスクに保存します。→P.53へ



「戻る」ボタン

NTSC DV (4:3)
NTSC DV (16:9)
NTSC DVD (4:3)
NTSC DVD (16:9)
NTSC VCD
NTSC SVCD
NTSC MPEG1 (352x240, 29.97 fps)
NTSC MPEG2 (720x480, 29.97 fps)
WMV (320x240, 30 fps)
WMV HD NTSC (1280x720, 29.97 fps)
WMV Pocket PC (320x240, 15 fps)
WMV Smartphone (220x176, 15 fps)
カスタム

ディスクを作成



編集したビデオをDVDやVCDディスクに録画するときに選択します。「ディスクを作成」画面に進み、ディスクのメニューを作成したりディスクに書き込む設定を行います。→P.55へ



VideoStudio9で編集



作成したビデオをさらに編集する場合に選択します。VideoStudioの豊富な編集機能を使用して、本格的なビデオ編集を行います。→P.68へ



注意 VideoStudioに移動すると「おまかせモード」に戻ることはできません。

ビデオファイルを作成

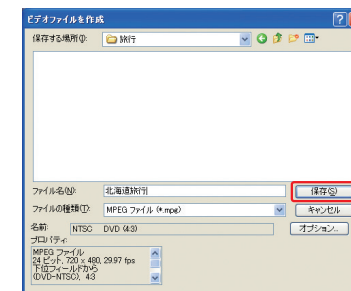
「ビデオファイルを作成」では、できあがったビデオをビデオファイルにしてパソコンに保存します。

- 「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックすると、保存するビデオ形式のメニューが表示されます。ビデオを保存する形式を選択します。「カスタム」を選択すると、ビデオの保存形式をカスタマイズすることができます。

ビデオファイルを作成	
NTSC DV (4:3)	
NTSC DV (16:9)	
NTSC DVD (4:3)	
NTSC DVD (16:9)	
NTSC VCD	
NTSC SVCD	
NTSC MPEG1 (352x240, 29.97 fps)	
NTSC MPEG2 (720x480, 29.97 fps)	
WMV (320x240, 30 fps)	
WMV HD NTSC (1280x720, 29.97 fps)	
WMV Pocket PC (320x240, 15 fps)	
WMV Smartphone (220x176, 15 fps)	
カスタム	

ビデオ形式	説明	画像サイズ	フレーム数	ビットレート
NTSC DV	AVIファイルとして保存するときに選択します。	720×480	29.97fps	—
NTSC DVD	DVDディスクに録画するときに選択します。	720×480	29.97fps	8,000kbps
NTSC VCD	ビデオCDに録画するときに選択します。	352×240	29.97fps	1,150kbps
NTSC SVCD	SVCDディスクに録画するときに選択します。	480×480	29.97fps	2,375kbps
NTSC Mpeg2	MPEG2ファイルとして保存するときに選択します。	720×480	29.97fps	6,000kbps
NTSC Mpeg1	MPEG1ファイルとして保存するときに選択します。	352×240	29.97fps	6,000kbps
WMV	インターネットで動画を配信するときに選択します。	320×240	30fps	—
WMV HD NTSC	ハイビジョンテレビ用に保存するときに選択します。	1,280×720	29.97fps	—
WMV Pocket PC	動画の見られるPocket PC用に保存するときに選択します。	320×240	15fps	—
WMV Smartphone	メールに添付する動画を作成するときに選択します。	220×176	15fps	—

- 「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



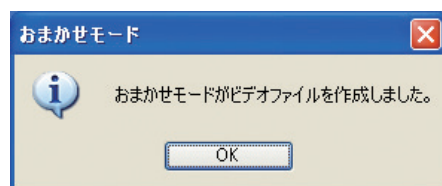


「オプション」ボタンをクリックして表示されるメニューの「スマートレンダリングを実行」にチェックを入れると、編集した部分のビデオだけがエンコードされ、レンダリング時間の短縮になります。

- 3 レンダリングが開始されます。ファイルの保存を中止する場合は、「Esc」キーを押します。

レンダリング中: 56% 完了。中止するにはESCキーを押してください...

- 4 ビデオファイルが作成されたアナウンスのダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



- 5 作業を終了するには、「閉じる」ボタンをクリックします。編集したビデオをディスクに録画するには「ディスクを作成」ボタンをクリックします（次ページへ）。さらに細かく編集するには、「VideoStudio 9で編集」ボタンをクリックします（→P.68へ）。



ディスクを作成

- 1 作成したビデオをディスクに録画するには、「ディスクを作成」ボタンをクリックします。



- 2 「ディスクを作成」画面が表示されます。おまかせモードで作成したビデオをそのままディスクに書き込む場合は、「メニューを作成」のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



ディスク容量に余裕があれば、作成したビデオ以外に他のビデオを追加して1枚のディスクに書き込むことができます。ビデオを追加してディスクを作成する場合は194ページをご覧ください。

ディスク容量の確認

画面下の部分に現在の設定でどのぐらいの容量になるかの目安が表示されます。ディスク容量がオーバーしている場合は、「戻る」ボタンでビデオの挿入画面に戻り、一部のビデオを削除するか、このあと解説する「ディスクテンプレートマネージャ」で、ビデオのクオリティ（ビットレートや音声形式）を調整してディスクに収まるようにします。



取り込んだ映像をディスクに収録する場合の容量と再生時間を表示

イエローライン：安全にディスクに書き込める範囲（容量）

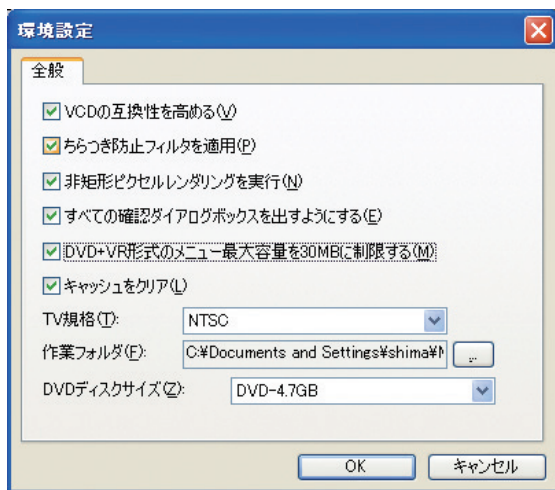
レッドライン：4.7GBの位置。これ以上の場合にはビデオクリップを削除したりトリミングして容量が収まるようにする

環境設定

環境を設定するには、画面左下にある「設定とオプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「環境設定」を選択します。



「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。環境設定項目は以下の通りです。

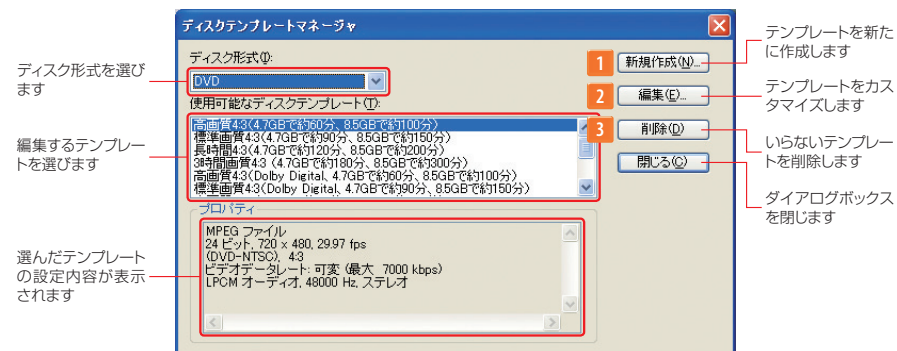


ディスクテンプレートマネージャ

画面左下にある「他のオプションにアクセス」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ディスクテンプレートマネージャ」をクリックすると、「ディスクテンプレートマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

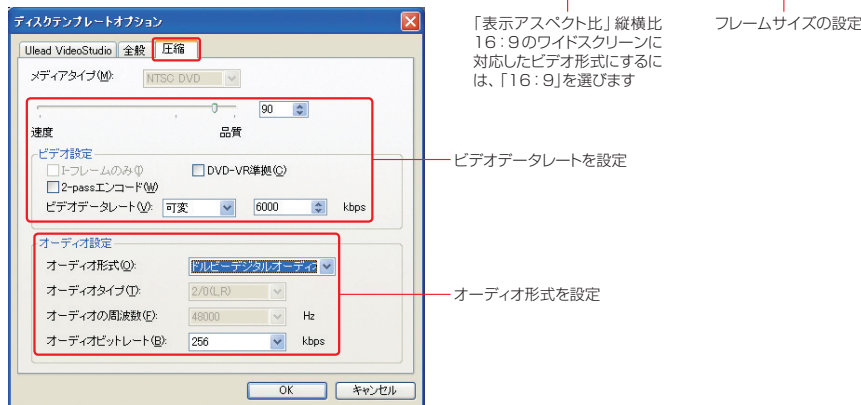
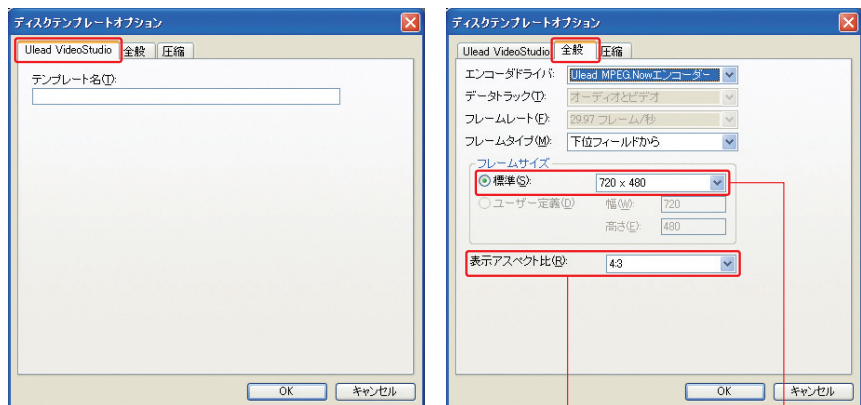


ここで、ディスク形式を選び、ビデオの表示サイズや転送レート、画質などがセットされたテンプレートを作成したり編集することができます。



VCDの再生互換性を高める	ビデオCD作成の際に再生の互換性が高まるようにします。
ちらつき防止フィルタを適用	作成したビデオディスクをテレビでDVDプレーヤーなどを使って見る場合、メニュー画面を表示しているときに、横線が上下にぶれて点滅しないようにします。テレビでスライドショーを見るときも、このオプションを選択すると効果的です。
非矩形ピクセルレンダリングを実行	ピクセルが正方形でないTV表示に最適化した形でのレンダリングを行います。
TV規格	映像信号を選択します。日本では「NTSC」です。

- 1 「新規作成」ボタンをクリックすると「ディスクテンプレートオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここで新たにテンプレートを作成することができます。「Ulead VideoStudio」タブの「テンプレート名」に新規に作成するテンプレート名を入力します。「全般」タブをクリックしてフレームサイズを選び、「圧縮」タブで、ビデオデータレートやオーディオ形式を設定します。



- 2 「編集」ボタンをクリックすると、「使用可能なディスクテンプレート」で選択したテンプレートをカスタマイズすることができます。設定方法は新規テンプレートの作成と同じです。

- 3 「削除」ボタンはいらなくなったテンプレートを選び、クリックします。

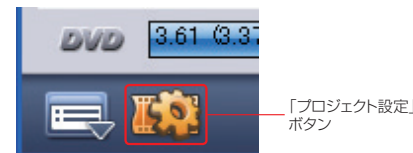
設定が終われば「閉じる」ボタンをクリックします。

書き込むビデオの形式やクオリティの設定

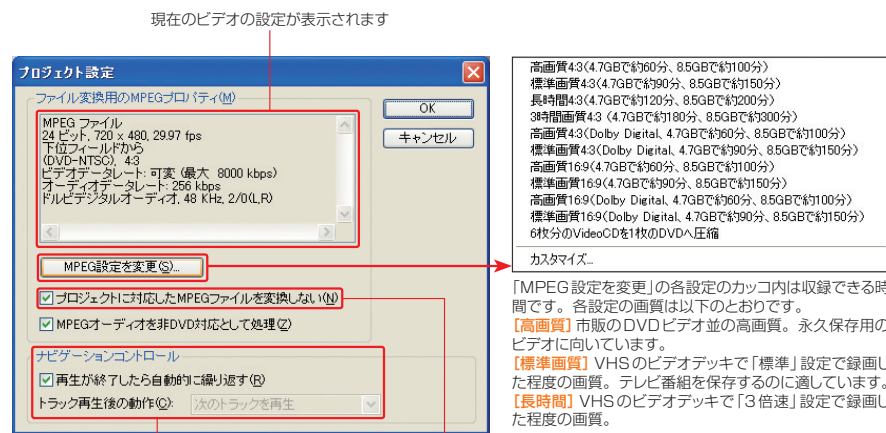
キャプチャしたビデオや取り込んだビデオファイルは、すべて MPEG ファイルに変換して DVD ディスクに書き込みます。

また、DVD に書き込むビデオのサイズやクオリティは変更することができます。

- 1 ビデオの形式やクオリティを変更するには、画面左下の「プロジェクト設定」ボタンをクリックします。



- 2 「プロジェクト設定」ダイアログボックスに DVD ディスクに書き込む MPEG 形式のプロパティが表示されます。変更する場合は「MPEG 設定を変更」ボタンをクリックします。表示されるリストには MPEG 設定がいくつか用意されていますので、そこから最適な設定を選びます。「カスタマイズ」をクリックすると表示サイズやビデオデータレート、オーディオの形式やクオリティの詳細な設定ができます。設定ができれば「OK」ボタンをクリックします。



各ビデオクリップの再生後の動作を設定します。
再生が終了したら自動的に繰り返す：ここをクリックすると、ビデオが終了した後も繰り返し再生します。
トラック再生後の動作：「メニューへ戻る」はビデオが終わるとトップ画面「メインメニュー」を表示します。「次のトラックを再生」はビデオが終わると次のビデオを再生します。

ここをチェックすると、DVD ビデオ規格に準拠したビデオは、再変換されることなく DVD ディスクに書き込まれます。DVD ディスクに書き込む前の再変換する時間がからないので、DVD ディスクに書き込む時間を短縮できます。

プレビュー

プレビューウィンドウでは作成するビデオがDVD/ビデオCDプレーヤーでどのように表示されるかを確認できます。プレビューして調整したい箇所があれば「戻る」ボタンで前のStepに戻って、再度調整します。

おまかせモードで作成したビデオは、「再生」ボタンをクリックして内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

- 1 リモコンを使ってビデオを操作します。「再生」ボタンをクリックするとビデオが再生されます。「イントロビデオを再生してからメニューを表示する」にチェックを入れた場合は、オープニングムービーが流れたあとに「メインメニュー」が表示されます。設定していない場合はすぐに「メインメニュー」が表示されます。



- 2 画面下のリモコンを操作して、作成したビデオを見るときに選択メニューがどのように機能するかを確認できます。各ボタンをクリックして実際の操作を確認します。リモコンのボタンの操作は以下のとおりです。

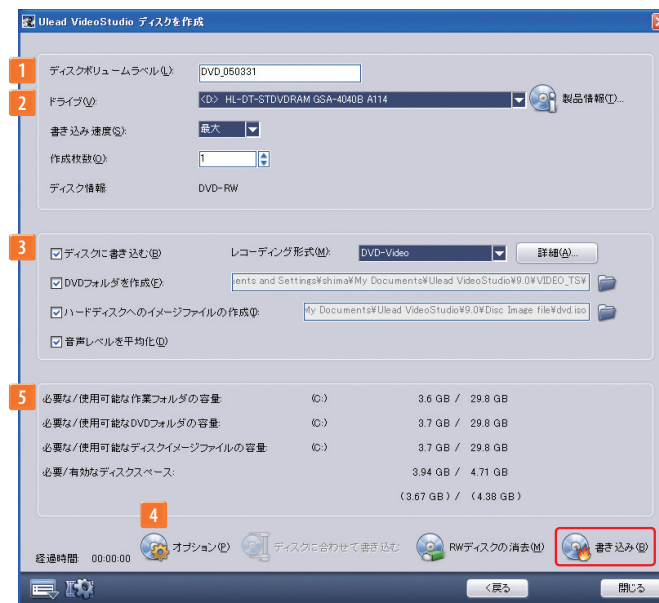


- 3 内容を確認してよければ、「次へ」ボタンをクリックします。

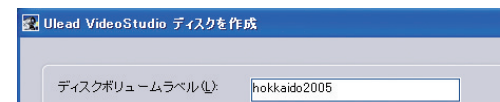
注意 メニュー内にある「再生」ボタンを押した場合は、ディスクの最初から再生されます。

出力の設定

「出力」画面が表示されます。ここではディスクに書き込む設定を行います。「書き込み」ボタンを押すと、必要なファイルの変換や書き込み作業を開始します。



- 1 ボリューム名
「ディスクボリュームラベル」に、作成するディスクのボリューム名を入力します。デフォルトは「DVD_年月日」です。



Tips 名前は半角英数で32文字以内です(日本語は入力できません)。

2 書き込みドライブの設定

DVD/VCD/SVCD ディスクを書き込むドライブを選択します。また、書き込みスピードなどを設定します。



a 【ドライブ】

書き込むディスクドライブを選択します。「▼」ボタンをクリックするとコンピュータに接続されているディスクドライブの一覧が表示されます。そこから書き込みに使用するディスクドライブを選びます。

b 【書き込み速度】

ディスクドライブの書き込みスピードを選択します。「▼」ボタンをクリックして記録速度を選びます。



ここに表示される速度は、ドライブやメディアの種類によって異なります。

c 【作成枚数】

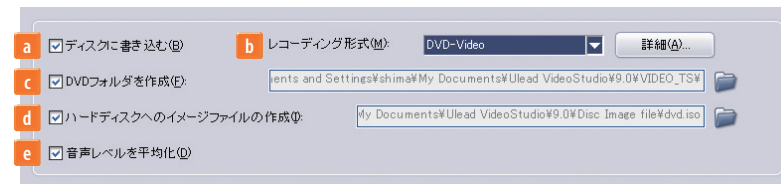
同じ内容のディスクを何枚作成するかを設定します。ここで複数枚の設定をすると「書き込み」ボタンをクリックしたときに、次々にディスクを書き込むことができます。「▲」「▼」ボタンをクリックし、必要な枚数に設定します。また、数値ボックスに直接必要枚数を入力できます。

d 【ディスク情報】

ディスクドライブにセットしたディスク名が表示されます。

3 出力設定

ここでは、書き込む場所や形式を設定します。各項目の内容は以下の通りです。



a 【ディスクに書き込む】

ディスクに書き込む場合にチェックを入れます。CD-R/RWドライブやDVD書き込みドライブがPCに搭載されている場合のみ有効になります。

b 【レコーディング形式】

書き込むDVDディスクに合わせてレコーディング形式を選びます。「詳細」ボタンをクリックして表示される「詳細」ダイアログボックスの「高速再編集可」につきましては、ヘルプファイルを参照してください。

c 【DVDフォルダの作成】

DVDを作成する場合、ディスクに書き込むファイルと同じデータをハードディスク上にも作成します。作成するビデオファイルがDVDビデオの場合のみ有効になります。作成されたファイルはDVDディスクへ書き込むことができます。

また、作成したファイルはDVDプレーヤーソフトを使って再生したり、別のDVDライティングソフトでDVDビデオとして書き込んだりすることができます。書き込みの後、ファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。

d 【ハードディスクへのイメージファイルの作成】

書き込みの後、ディスクイメージファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。同じビデオファイルを複数書き込む場合は、このオプションを選択しておくとう便利です。

このオプションを選択すると、同じビデオファイルをディスクに書き込む際に、再度ファイルを作成する必要がなくなります。



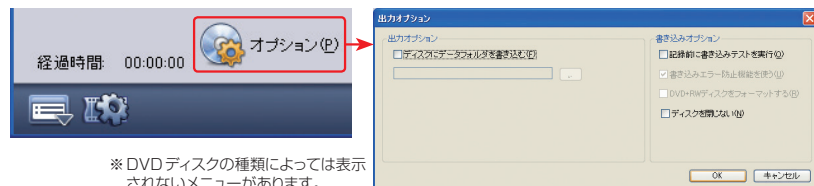
「DVDフォルダの作成」や「ハードディスクへのイメージファイルの作成」は、「レコーディング形式」がDVD-Video(高速再編集)やDVD+VR形式の場合は選択できません。

e 【音声レベルを平均化】

いろいろなビデオ素材を取り込んだ場合、各ビデオの音量レベルは異なっています。これを解消するときにチェックします。音量レベルが均一になります。

4 書き込みオプションの設定

「書き込みオプション」ボタンをクリックすると、「書き込みオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここでディスクへの書き込みの詳細な設定ができます。



記録前に書き込みテストを実行	ビデオファイルを実際にCD/DVDに書き込む前に、書き込みテストを実行する場合は、このオプションを選択してください。テストを実行すると、指定のレコーディング速度でCD/DVDにデータを書き込んだ場合、システムがその速度に耐えられるかを確認することができます。書き込みテストの後、実際の書き込みが行われますので、書き込みを2度行う時間がかかります。書き込みテストを実行しない場合は、このオプションをチェックしないでください。
書き込みエラー防止機能を使う	ビデオファイルを書き込む際にこの機能を使用する場合は、チェックを入れてください。ここをチェックすると「バッファアンダーランエラー」を回避できます。この機能をご使用になるには、お使いのCD/DVDレコーダがこの機能に対応している必要があります。お使いのCD/DVDレコーダがこの機能に対応していても、このオプションが有効にされていない場合は使用できません。使用するには、必ずこのオプションを選択してください。
DVD+RWをフォーマットする	レコーディング前にDVD+RWのフォーマットを行う場合は選択してください。このオプションを選択すると、レコーディング工程に時間がかかりますが、より安定したレコーディングを実行することができます。
ディスクを閉じない	ディスクへの書き込みプロセスの後、CD-RW/DVD+RWを閉じない場合に使用します。別のCD/DVD書き込みソフトウェアを使って、同じディスクに新しいファイルを追加することができます。
クイックイジェクト	この機能を使うと、DVD-RWドライブを使って短いDVDを作成する際の時間を大幅に削減することができます。ただし、このチェックをつけて作成したディスクは、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。その場合、このチェックをはずしてディスクを作成して下さい。

Tips

バッファアンダーランエラー：ディスクにデータを書き込む途中でデータ転送量が減少するなどして、ドライブのデータを蓄えておくバッファが空になると書き込みエラーが発生すること。BURN-Proof機能やJustLink機能を搭載したドライブではバッファが空になる前にディスクへの書き込みを一時的に停止して、バッファにデータが溜まってから書き込みを再開します。これでパソコンからドライブへのデータ転送が不安定でもエラーが発生することなく確実にデータが書き込めます。

注意

BURN-Proof機能やJustLink機能を搭載したドライブであっても「書き込みエラーを防止機能を使う」をチェックしていないとこれらの機能は動作しません。ここをチェックしてはじめて機能が有効になります。

注意

「DVD+R/+RWディスクを使用する場合は、DVD+の規格内に書き込みテストの機能がいないため、「記録前に書き込みテストを実行」のチェックボックスを使用することができません。

5 ディスクの作成

書き込みの設定ができれば、設定内容を確認します。



1 「必要な / 使用可能な作業フォルダの容量」ディスクに書き込むときに一度ハードディスクにファイル変換をするなどの作業を行うのに必要なハードディスク容量と、使用可能なハードディスクの空き容量を表示します。

2 「必要な / 使用可能なDVDフォルダの容量」「DVDフォルダを作成」にチェックを入れた場合、作成されるDVDフォルダを保存するために必要なハードディスク容量と、使用可能なハードディスクの空き容量を表示します。

3 「必要な / 使用可能なディスクイメージファイルの容量」「ハードディスクへのイメージファイルの作成」にチェックを入れた場合、作成されるファイルを保存するために必要なハードディスク容量と、使用可能なハードディスクの空き容量を表示します。

4 「必要な / 有効なディスクスペース」作成したビデオの容量とディスクの使用可能な空き容量を表示します。

「書き込み進行状況」レコーディング進捗度をグラフで表示します

5 「ディスクに合わせて書き込む」ディスクに録画するビデオが容量オーバーの場合にこのボタンをクリックすると、自動でディスク容量に収まるようにビデオのクオリティなどを調整してくれます。

6 「RW/RAMディスクの消去」リライダブルディスクに含まれるすべての内容を消去します。

7 「書き込み」ボタンをクリックするとディスクに書き込みを開始します。オリジナルDVDのできあがりです。



注意

プロジェクトに作成しようとしているディスクの形式に合わないファイル(DV形式のAVIファイルなど)を挿入している場合、「プロジェクトの設定」で設定した形式のMPEGファイルに変換する作業が行われます。その場合はディスクの作成に、より時間がかかります。

VideoStudioで扱うことができるディスクと形式

ディスクの種類	説明	VideoStudioで書き込める内容
CD-R	1回だけ書き込みができる。非常に安価。	VideoCD/SVCD
CD-RW	約1,000回の書き換えができる	
DVD-R	1回だけ書き込みができる。DVDプレーヤーとの互換性が非常に高い。	DVD-Video
DVD-R DL	DVD-Rの記録層を2層にした記録容量8.5GBのディスク。高画質約4時間の映像を記録することが可能(DVD-R DLはアップデートが必要)。	
DVD-RW	約1,000回の書き換えが可能。パイオニア製やシャープ製のDVDレコーダーで使用されている。	
DVD+R	1回だけ書き込みができる。DVDプレーヤーとの互換性が高い。書き込みが高速。	
DVD+R DL	DVD+Rの記録層を2層にした記録容量8.5GBのディスク。高画質約4時間の映像を記録することが可能。	DVD-Video/DVD+VR
DVD+RW	約1,000回の書き換えが可能。DVD-RWよりDVDプレーヤーで読み込めることが多い。ソニー社製DVDレコーダーで使用されている。	
DVD-RAM	約10万回の書き換えが可能。Panasonic製、東芝製、Victor製のDVDレコーダーなどで使用されている。DVDプレーヤーとの互換性はほとんどない。	—

注意

DVD-R DLに対応するには、別途アップデート(無料)のダウンロードが必要です。
くわしくは、ユーリードシステムズのホームページをご覧ください。

VideoStudio 編

STEP1

VideoStudio9で 本格ビデオ編集

「VideoStudio9」は、ビデオ素材を取り込み、それらのビデオクリップを並べ替えたり、タイトルやBGMをつけてひとつのビデオ作品をつくりあげる「本格的ビデオ編集」モードです。



「VideoStudio 9」でビデオ編集

「VideoStudio 9」は、ビデオ素材を取り込み、それらのビデオクリップを並べ替えたり、タイトルやBGMをつけてひとつのビデオ作品をつくりあげるモードです。ビデオクリップとビデオクリップの切り替わりに効果をつけたり、ビデオ画面のなかに別のビデオを再生したりと、本格的ビデオ編集が行えます。

- 1 「VideoStudio 9」でビデオを編集するにはVideoStudio 9を起動して、表示されるオープニング画面から「VideoStudio 9」ボタンをクリックします。

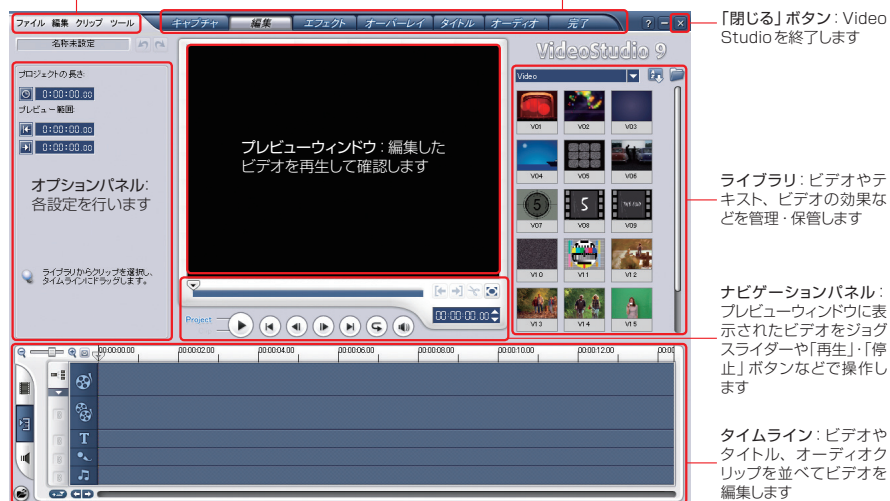


作成するビデオの画面サイズを「16:9」のワイドで仕上げるには、「16:9」ボタンをクリックします

- 2 VideoStudio 9の編集画面が表示されます。VideoStudioはステップパネルに表示される7つのステップでビデオを編集します。

メニューバー：VideoStudioの基本メニューがならんでいます

ステップパネル：ビデオ編集を7つのステップで行います



「閉じる」ボタン：VideoStudioを終了します

ライブラリ：ビデオやテキスト、ビデオの効果などを管理・保管します

ナビゲーションパネル：プレビューウィンドウに表示されたビデオをジョグスライダーや「再生」「停止」ボタンなどで操作します

タイムライン：ビデオやタイトル、オーディオクリップを並べてビデオを編集します

「ファイル」メニュー

「ファイル」メニューにはVideoStudioを使う上で必要な設定やファイルの保存などの項目が配置されています。

ここでは「ファイル」メニューの各項目について説明します。「ファイル」メニューは画面の左上にあります。

ファイル	編集	クリップ	ツール	キー
新規プロジェクト				Ctrl+N
プロジェクトを開く...				Ctrl+O
保存				Ctrl+S
名前を付けて保存...				
プロジェクトのプロパティ...				Alt+Enter
環境設定...				F6
再リンク...				
メディアファイルをタイムラインに挿入				
メディアファイルをライブラリに挿入				
北海道				
tabi				
海で遊ぶ				
終了				

プロジェクトの新規作成

VideoStudioでビデオ編集をはじめするには、プロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルは、これからつくるビデオの種類やサイズ、クオリティなどの情報を記録しておくファイルです。ビデオクリップをつなげたり、効果やテキスト、オーディオを追加した設定もプロジェクトファイルに記録されます。

また、プロジェクトファイルを読み込むと編集したところまでが記録されているので、いつでも続きから編集を加えたり、変更できます。

- 1 VideoStudioを起動すると、自動で新規のプロジェクトが作成されます。このままビデオ編集作業に入ります。

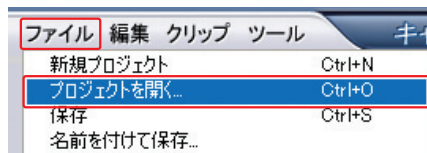
新しいビデオ編集をはじめたり、別のビデオ編集を行うには、「ファイル」メニューから「プロジェクトの新規作成」をクリックします。

ファイル	編集	クリップ	ツール	キー
新規プロジェクト				Ctrl+N
プロジェクトを開く...				Ctrl+O
保存				Ctrl+S
名前を付けて保存...				
プロジェクトのプロパティ...				Alt+Enter
環境設定...				F6
再リンク...				
メディアファイルをタイムラインに挿入				
メディアファイルをライブラリに挿入				
終了				

プロジェクトを開く

「プロジェクトを開く」は、すでに作成してあるプロジェクトファイルをVideoStudioに読み込んで、編集を加えたり変更することができます。

- 1 保存してあるプロジェクトファイルを開くには、「ファイル」メニューから「プロジェクトを開く」をクリックします。



- 2 「ファイルを開く」ダイアログボックスから、使用するプロジェクトファイルを選びます。「開く」ボタンをクリックするとVideoStudioに読み込まれ、保存したときのステップが表示されます。



- 3 作成したプロジェクトファイルをハードディスクのどこに保存したかを忘れた場合は、「参照」ボタンをクリックします。表示される「参照」ダイアログボックスの「ファイルの場所」で探すドライブやフォルダを選択して「スキャン」ボタンをクリックします。指定したフォルダやドライブに含まれるすべての「*.VSP」ファイルが検索されます。必要なファイルをクリックして「OK」ボタンをクリックします。



検索されたVideoStudioのプロジェクトファイルが一覧表示されます

ファイルメニューの各種設定

そのほかにも、「ファイル」メニューにはプロジェクトを作成するために必要な設定が用意されています。



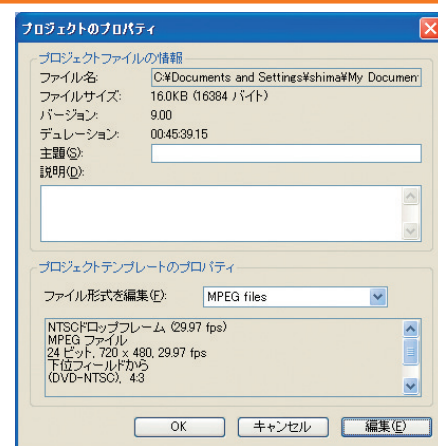
1 「保存」と「名前を付けて保存」

「保存」はプロジェクトファイルを保存します。進行中のプロジェクトで「保存」をクリックすると上書き保存します。

別のプロジェクトファイルとして保存するには「名前を付けて保存」をクリックし、「名前を付けて保存」ダイアログの「ファイル名」に新たなプロジェクト名を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

2 「プロジェクトのプロパティ」

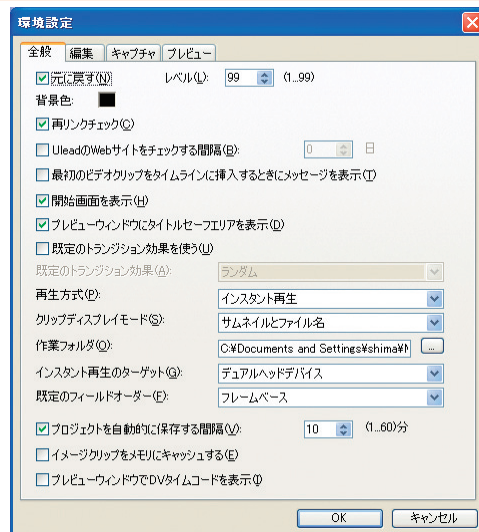
作成中のプロジェクトについての情報が「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスに表示されます。プロジェクトファイルの属性やプロジェクトテンプレートの属性などについて詳しく調べられます。



3 「環境設定」

環境設定では、VideoStudio全般に渡っての設定を行ないます。「全般」タブではファイルの管理などについて、「編集」タブではビデオクリップの画質やフェードイン/アウトの時間調整、「キャプチャ」タブでは音楽CDや静止画のキャプチャ設定、「プレビュー」タブではプレビューファイルの保管する場所やハードディスクの設定を行ないます。

各設定の詳細は「ファイル」メニューの「? (ヘルプ)」ボタンをクリックしてください。



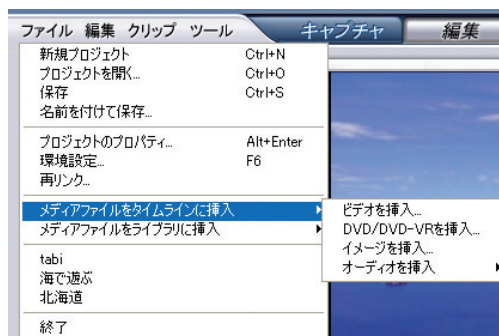
4 「再リンク」

リンクの外れたクリップを再びリンクするときに使用します。

5 「メディアファイルをタイムラインに挿入」

タイムラインに既存のビデオファイルや静止画、オーディオファイルを取り込みます。サブメニューから取り込むファイルの種類を選び、表示される各ダイアログボックスからファイルを選んで、「OK」ボタンをクリックします。静止画を取り込むには「イメージを挿入」を選択してください。

また、オーディオファイルは「ボイストラック」、または「ミュージックトラック」のどちらのトラックに取り込むかを選択してから取り込みます。



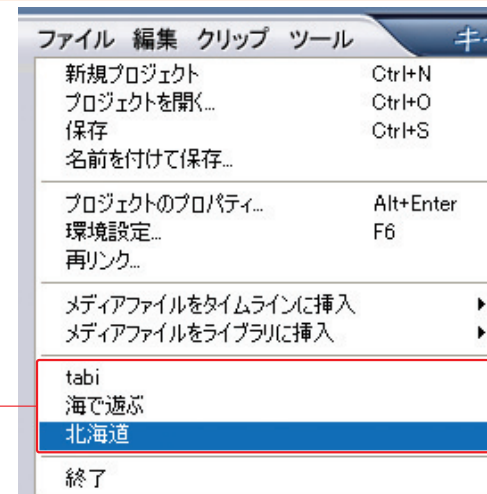
6 「メディアファイルをライブラリに挿入」

既存のビデオファイルや静止画、オーディオファイルをライブラリに取り込みます。取り込むファイルの種類をサブメニューから選び、表示されるダイアログボックスからファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックして、取り込みます。

7 「最近使用したファイル」

保存したプロジェクトファイルは、「ファイル」メニューに表示されるようになります。プロジェクトファイルをクリックするとVideoStudioに読み込まれ、ビデオ編集ができるようになります。

この位置に最近使用したプロジェクトファイルが表示されます



8 「終了」

VideoStudioを終了します。保存されていないプロジェクトは、「プロジェクトの変更を保存しますか?」というダイアログが表示されます。そのまま上書きする場合は「はい」を、変更しない場合は「いいえ」を、終了を取り止める場合は「キャンセル」をクリックします。

ツールメニューの各種設定

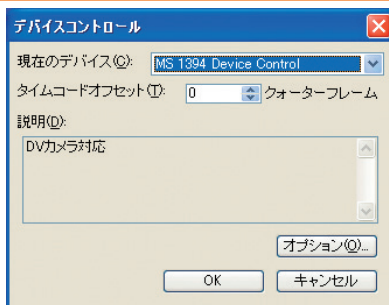
「ツール」メニューには、ビデオ素材の取り込み設定などの項目が配置されています。



1 「デバイスコントロールの選択」

VideoStudioからDVカメラを制御するときには使用するドライバを選択します。標準的なデバイスコントロールの「MS 1394Device Control」になっていることを確認します。

※アナログキャプチャを行なう場合は無効です。



2 「キャプチャプラグインの切り替え」

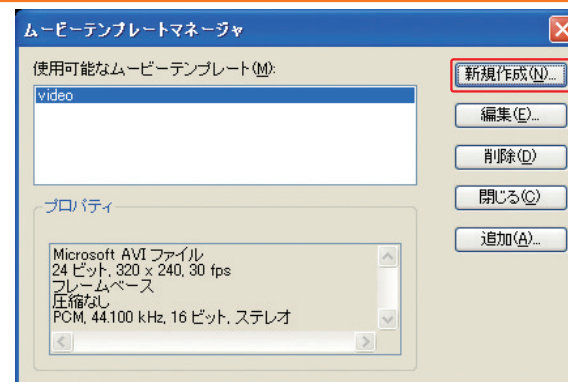
キャプチャ先や使用するドライバを変更するキャプチャプラグインを切り替えます。DVなら「Ulead DirectShowキャプチャプラグイン」、MPEGに変換しながらキャプチャするには「Ulead DSW MPEGキャプチャプラグイン」を選択します。

※キャプチャできる音声はMPEGオーディオまたはPCMで記録されたデータです。



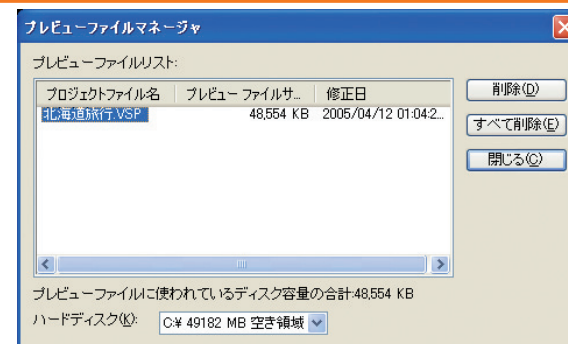
3 「ムービーテンプレートマネージャの作成」

プロジェクトからビデオファイルを作成するのに必要なすべての情報が含まれたテンプレートを作成して、管理します。「新規作成」で新しいカスタムムービーテンプレートを作成したり、「編集」で選択したムービーテンプレートを編集できます。



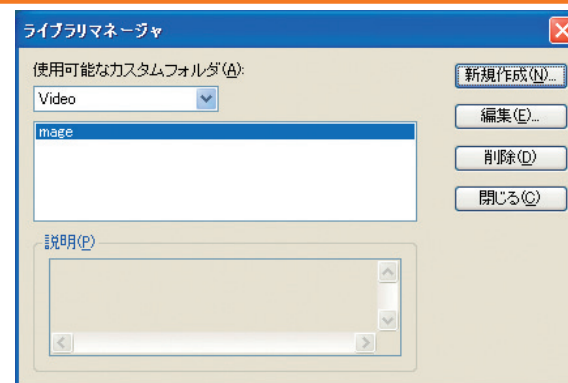
4 「プレビューファイルマネージャ」

プロジェクトで作成したプレビューファイルが一覧で表示されます。システムリソースを節約するために、いらなくなったプレビューファイルを削除することができます。



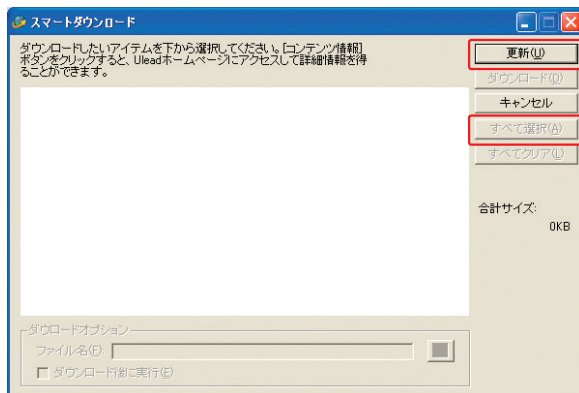
5 「ライブラリマネージャ」

メディアクリップが含まれたライブラリフォルダを整理します。ビデオ、イメージ、オーディオ、テキストなどのフォルダによく使用するものを集めたフォルダを追加すると、クリップを整理しやすくなります。



6 「スマートダウンロード」

インターネットに接続している環境では、「スマートダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。「コンテンツ情報」ボタンをクリックすると、ユーリードシステムのサイトにアクセスして、VideoStudioのアップデータなどを表示します。必要なものをクリックして「ダウンロード」ボタンをクリックします。



ヘルプ

「ヘルプ」メニューには、VideoStudioの使い方やユーリードシステムのホームページにジャンプします。各メニューについては以下の通りです。



1 「Ulead VideoStudioのヘルプ」

VideoStudioのヘルプを読むことができます。

2 「オンライン登録」

インターネットに接続されていると、ユーリードシステムのユーザー登録サイトへアクセスします。VideoStudio 9のユーザー登録をインターネット経由で行なえます。

3 「Ulead ホームページ」

インターネットに接続されていると、Webブラウザが起動してユーリードシステムのホームページへアクセスします。FAQ(よくある質問)やトラブルに関する情報、操作方法、アップデート情報、お問い合わせができます。

4 「Ulead VideoStudioについて」

VideoStudio 9の製品情報が表示されます。

VideoStudio 編

STEP2 キャプチャ

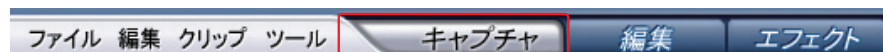
このステップではDVカメラやビデオデッキで録画した映像やDVDレコーダーで録画したテレビ番組をVideoStudioに取り込みます。



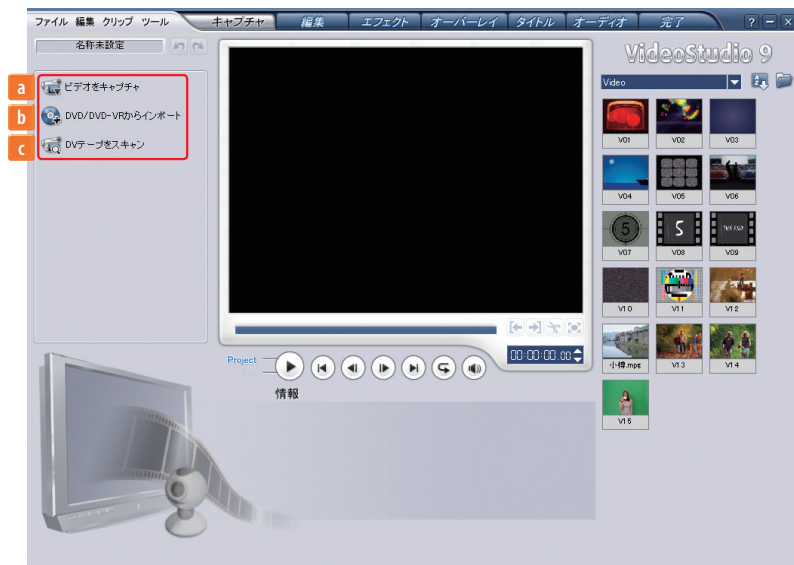
映像や静止画を取り込む

VideoStudio ではビデオ編集に使用する素材をDVカメラやビデオデッキ、テレビからの映像、DVD ディスクから取り込みます。

- 1 映像を取り込むには「キャプチャ」ステップをクリックします。



- 2 「キャプチャ」画面が表示されます。オプションパネルから取り込む素材に合わせて各取り込みボタンをクリックします。



a 「ビデオをキャプチャ」

DVカメラの映像やビデオテープ、テレビ番組を取り込むときに選択します。(→P.82へ)

b 「DVD/DVD-VRからインポート」

ディスクやハードディスク内にあるDVD-VideoやDVD-VRファイルを取り込むときに選択します。(→P.88へ)

c 「DVテープをスキャン」

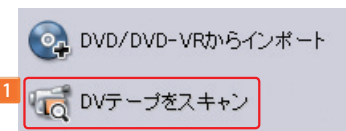
DVテープをスキャンして映像を確認し、必要な映像を取り込みます(→P.79へ)

DVテープをスキャン

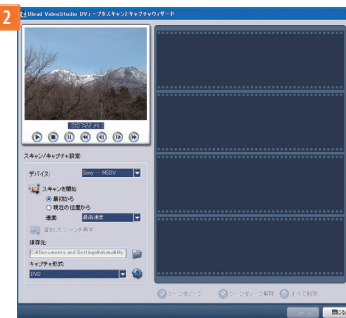
DVテープからの取り込み設定

「DVテープをスキャン」は、VideoStudioが取り込みたいDVテープの内容を一度スキャンして、インデックスを作成します。そこから必要な映像をピックアップして、Video Studioに取り込みます。

- 1 DVカメラとパソコンをDVケーブルで接続して、DVカメラを「再生」モードにします。「DVテープをスキャン」ボタンをクリックします。



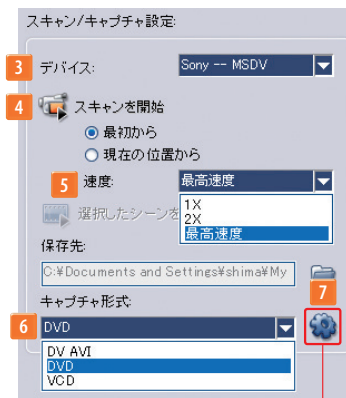
- 2 「DVDテープをスキャンとキャプチャウィザード」画面が表示されます。ここでDVテープのスキャンとキャプチャ設定を行います。



- 3 「デバイス」には接続したDVカメラのドライバが表示されます。変更する場合は「▼」ボタンをクリックします。

- 4 「スキャンを開始」でDVテープのどの位置からテープをスキャンするかを設定します。DVテープの途中からスキャンするには、ナビゲーションパネルでDVカメラを制御してスキャンする位置に移動し、「現在の位置から」にチェックを入れます。

- 5 DVテープは倍速でスキャンできます。「速度」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからスキャン速度を選択します。

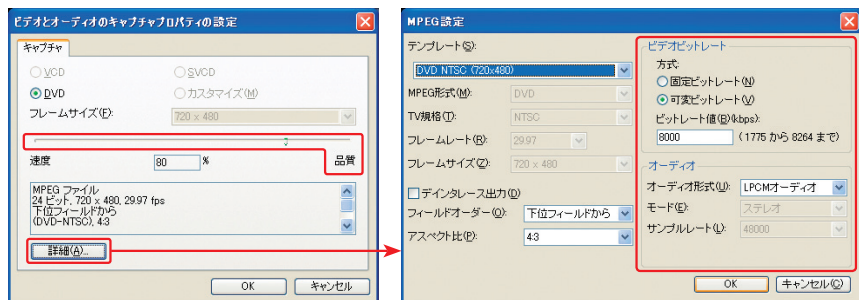


Tips スキャン速度を上げると短時間でDVテープをスキャンできますがインデックスを作成する精度は落ちます。

- 6 「キャプチャ形式」ではDVテープからの映像をどのビデオ形式のファイルで取り組むかを設定します。「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからビデオ形式を選択します。

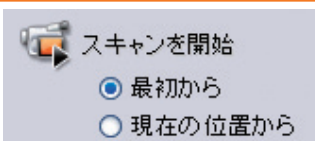
「キャプチャオプション」ボタン

- 7** キャプチャ形式を調整する場合は、「キャプチャオプション」ボタンをクリックします。表示される「ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定」ダイアログボックスで「品質」を調整できます。また、「詳細」ボタンをクリックすると表示される「MPEG 設定」ダイアログボックスで、ビデオビットレートやオーディオ形式を調整できます。



DVテープから必要なシーンを選ぶ

- 1** 「スキャンを開始」ボタンをクリックします。「最初から」にチェックを入れた場合は、自動でDVテープが巻き戻されてからスキャンがはじまります。「現在の位置から」にチェックを入れた場合は、そこからスキャンがはじまります。「最初から」にチェックを入れた場合は、テープの最後までスキャンすると自動で停止します。「現在の位置から」にチェックを入れた場合は、スキャンを終了する位置で「スキャンを停止」ボタンをクリックします。

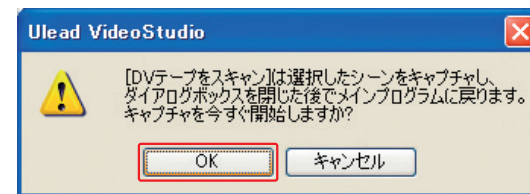


- 2** スキャンされた内容はリストに表示されます。不要な映像を取り込まないようにするには、いらないシーンをクリックして、「シーンをマーク解除」ボタンをクリックします。再び取り込みたい場合はそのシーンをクリックして「シーンをマーク」ボタンをクリックします。すべて取り込まない場合は、「すべて削除」ボタンをクリックします。「次へ」ボタンをクリックします。

2 「シーンをマーク解除」をクリック



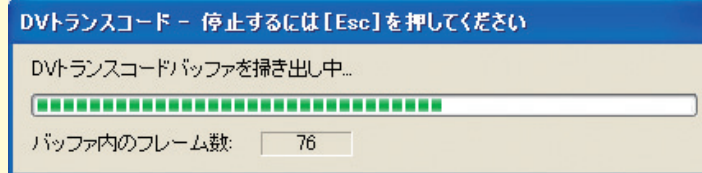
- 3** キャプチャ開始の確認ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



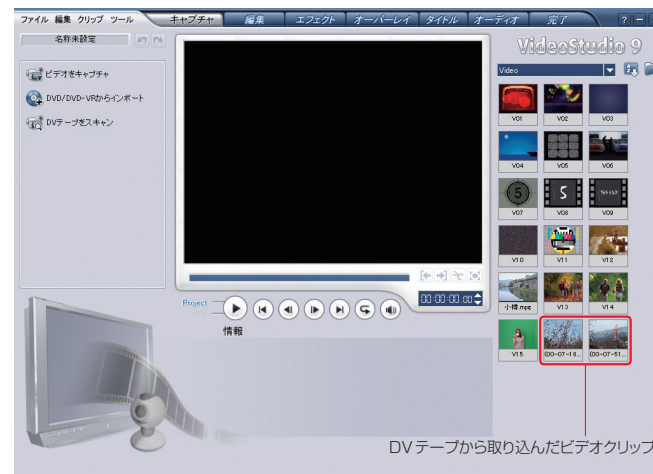
- 4** DVカメラが制御され、ビデオが取り込まれます。



Tips リアルタイムでMPEGに変換しながらキャプチャするには、高速なCPUが必要になります。Video Studio 9はリアルタイム圧縮が間に合わない分は、バッファとしてハードディスクに一時的にファイルとして保存し、キャプチャ終了後に間に合わない分を圧縮し、コマ落ちを防ぐ仕組みを持っています。バッファがフルになったら、キャプチャ作業が一時停止します。なお、この機能はDVからMPEG形式でキャプチャする場合のみ有効となります。



- 5** 取り込んだビデオはビデオクリップとして、ビデオライブラリに表示されます。



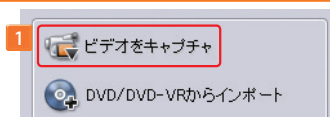
DVテープから取り込んだビデオクリップ

ビデオのキャプチャ

「ビデオをキャプチャ」は、ビデオテープやテレビ番組などのアナログビデオを Video Studioに取り込みます。お手持ちのビデオ機器とパソコンのビデオキャプチャカード／機器をビデオケーブルで接続します。

アナログビデオ機器からの取り込み設定

- 1 「ビデオをキャプチャ」ボタンをクリックします。



- 2 キャプチャオプションパネルが表示されます。「キャプチャ時間」は、ビデオ機器やテレビからキャプチャする時間を設定できます。時間の単位の数字をクリックして直接数字を入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を合わせます。指定した時間になるとビデオの取り込みが停止します。



注意

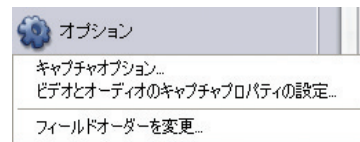
VideoStudioは、ハードウェアエンコードタイプの機器からはキャプチャできません。

- 3 「ソース」には、パソコンに搭載(または接続)されたキャプチャ機器のドライバが表示されます。

- 4 「キャプチャ形式」では、キャプチャするビデオを保存するファイル形式を「▼」をクリックして選びます。アナログキャプチャの場合、「DV」以外が選択可能です。ただし、キャプチャボードの仕様によっては選択できない場合があります。

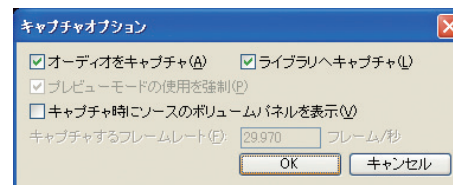
- 5 「TVチャンネル」は、テレビ番組を録画する場合に「▲」「▼」ボタンをクリックしてチャンネルを設定します。

- 6 「オプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから各項目をクリックすると、キャプチャに関する設定を行なうダイアログボックスが表示されます。ここで詳しい設定を行います。



【キャプチャオプション】ダイアログボックス

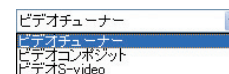
キャプチャ後、ファイルをライブラリに登録するかどうか、オーディオをキャプチャするかどうか、キャプチャするファイルのフレームレートといった設定を行ないます。



【ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定】ダイアログボックス

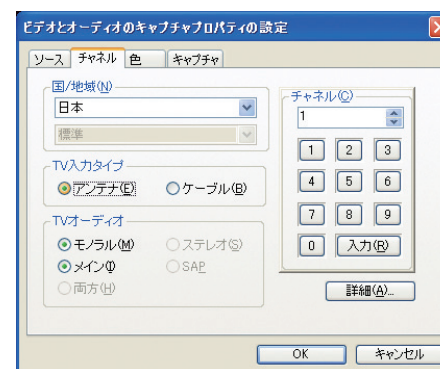
アナログビデオの取り込みの設定を行います。

- 1 「ソース」タブでは、キャプチャ機器のどの端子から入力するかを選択します。ビデオ機器とキャプチャカードなどをS端子で接続している場合は「ビデオS-video」を、コンポジット端子(黄色の端子)で接続している場合は「ビデオコンポジット」、テレビチューナーから取り込む場合は「ビデオチューナー」を選択します。「TV規格」は、「NTSC」を選択します。

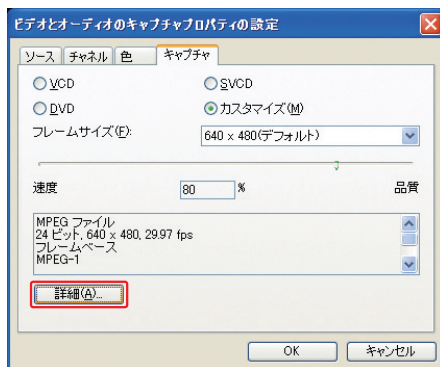


- 2 「チャンネル」タブでは、TVチューナーなどからテレビ番組を録画する場合に設定します。

「国／地域」で「日本」を選択し、「TV入力タイプ」でTVキャプチャボードにアンテナ線を接続している場合は「アンテナ」を、ケーブルテレビを視聴している場合は「ケーブル」を選択します。「チャンネル」で録画するテレビチャンネルを選びます。入力ボックスに直接数字キーで入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして録画するチャンネルを選ぶか、数字ボタンをクリックして「入力」ボタンをクリックします。



3 「キャプチャ」タブでは、キャプチャするファイルの形式とサイズを選択します。AVIやMPEGの場合も設定が必要です。お使いのキャプチャボードのドライバによって対応する形式が異なります。ビデオ機器やテレビから取り込むファイルをMPEGにする場合は「詳細」ボタンをクリックすると、さらに詳しい設定ができます。通常は変更する必要はありません。



MPEGの設定

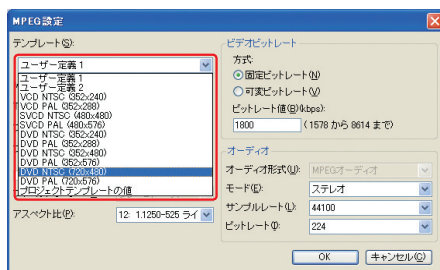
「ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定」ダイアログボックスの「詳細」ボタンをクリックすると、「MPEG設定」ダイアログボックスが表示されます。

1 「MPEG形式」から、取り込むMPEGファイルの種類を設定します。必要に応じてMPEG1かMPEG2を選択してください。



2 「ビデオビットレート」では、ビデオデータのビットレート、固定ビットレートか可変ビットレートかの設定ができます。可変ビットレートの場合は、最大値を指定します。

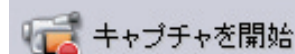
なお、これらの設定は「MPEG設定」ダイアログボックスの「テンプレート」項目でいくつかのテンプレートから選択して設定することも可能です。DVDのテンプレートなどでは、ビデオビットレート以外変更できなくなっていることもあります。



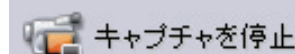
3 設定が終われば、「OK」ボタンをクリックします。また、「ビデオとオーディオのキャプチャプロパティの設定」ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックして閉じます。

ビデオキャプチャの開始

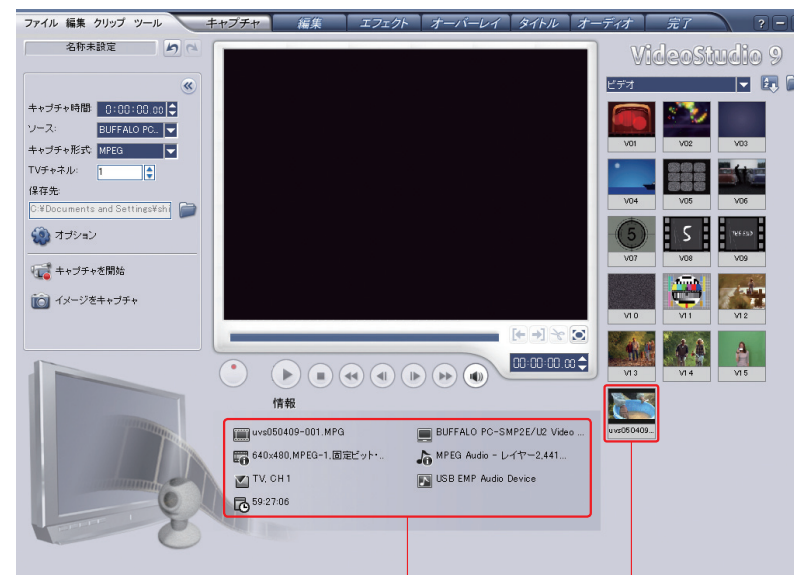
1 アナログビデオ機器からビデオを取り込む場合は、ビデオ機器を操作して録画を開始するところで停止します。「キャプチャを開始」ボタンをクリックして、ビデオ機器の「再生」ボタンを押します。ビデオのキャプチャが開始されます。



2 キャプチャを停止するには、「キャプチャを停止」ボタンをクリックするか、キーボードの「ESC」キーを押します。ビデオ機器の「停止」ボタンを押します。



3 ビデオ機器の映像がビデオファイルとして取り込まれます。ライブラリの「ビデオ」フォルダにも登録されます。情報欄には、取り込んだビデオファイル名やビデオ形式、あとどのくらいの時間をキャプチャできるかなどが表示されます。



情報欄 ビデオ機器やテレビから取り込んだ映像は、ビデオファイルとしてライブラリに登録されます。

4 DVカメラやDVDディスクからビデオを取り込む場合は、「戻る」ボタンをクリックして、キャプチャオプションパネルを表示します。

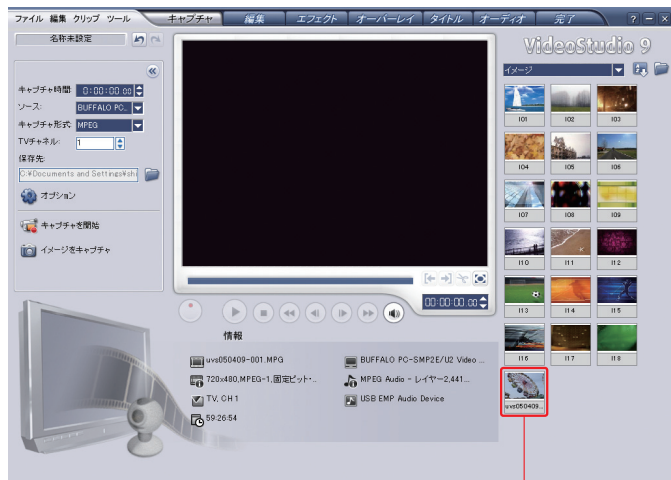


静止画のキャプチャ

静止画を取り込む

ビデオテープやテレビ番組、DVテープの映像から1カットだけをイメージファイルとして取り込むことができます。取り込んだファイルは、印刷してDVDケースの表紙などに利用できます。

- 1 ビデオ機器やDVカメラを操作して、静止画として保存したいフレームを表示し、「一時停止」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウで映像を確認します。
- 2 キャプチャオプションパネルで「イメージをキャプチャ」ボタンをクリックします。
- 3 静止画が取り込まれ、「イメージ」フォルダのライブラリに登録されます。静止画はデフォルトでは、BMP形式のファイルになります。



取り込んだイメージファイル

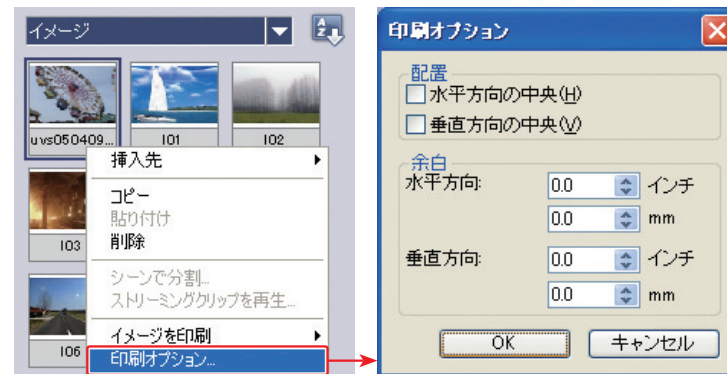
Tips

取り込む静止画のファイル形式は標準ではBMPですが、「ファイル」メニューの「環境設定」→「キャプチャ」の「キャプチャした静止画の保存形式」で、「JPEG」を選ぶこともできます。

静止画の印刷

取り込んだ静止画は印刷することができます。

- 1 ライブラリの「イメージ」フォルダに登録された静止画を右クリックして、表示されるメニューから「印刷オプション」をクリックします。「印刷オプション」ダイアログボックスで、静止画の配置と用紙の余白を設定して「OK」ボタンをクリックします。



- 2 もう一度静止画を右クリックして、表示されるメニューから「イメージを印刷」を選択します。サブメニューから印刷サイズを選んでクリックすると、「印刷」ダイアログボックスが表示されます。ユーザーのプリンタを設定して印刷します。

イメージサイズを使用
ページに合わせる
3.5" x 5.0"
4" x 6"
5" x 7"
10" x 8"

イメージを印刷
印刷オプション...
ビデオを挿入...
DVD/DVD-VRを挿入...
イメージを挿入...
オーディオを挿入...
装飾を挿入...
ソフト基準
プロパティ...

「ハードウェアエンコード」とは？

VideoStudioがキャプチャに利用することのできないハードウェアエンコードタイプのキャプチャ機器とは、機器の中に内蔵されているチップでMPEGへの圧縮作業を行い、すでにMPEGになった状態でパソコンのハードディスクに記録するタイプのキャプチャ機器のことを指します。このタイプの代表的な製品には以下のようなものがあります。

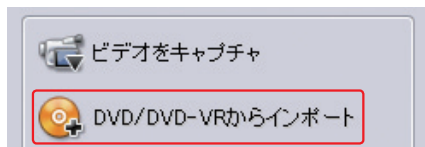
- Canopus社製MTV、MTU、MTVXシリーズ
- NEC製SmartVision HGシリーズ
- I-O DATA機器社製GV-M2TVシリーズ、GV-MVP/RZ
- バッファロー社製PC-MV5シリーズ

ハードウェアエンコード機器の場合、機器を動作させるためのデバイスドライバにWindows標準のものを利用することができます、それぞれの機器独自のものを使用してキャプチャを行う仕組みになっているため、VideoStudioから直接キャプチャに利用することはできません。各製品に添付されているキャプチャソフトウェアでパソコン上にMPEGファイルとして取り込んでいた後、そのファイルをVideoStudioで編集します。

DVD ディスクからビデオを取り込む

VideoStudioにDVDレコーダーなどで録画したDVDディスクの映像(DVD-VRビデオ)を取り込みます。

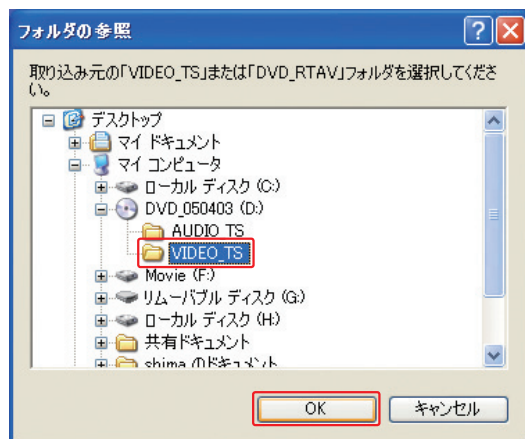
- 1 DVDディスクをパソコンにセットして、キャプチャオプションパネルの「DVD/DVD-VRからインポート」をクリックします。



Tips

「ファイル」メニューから「メディアファイルをタイムラインに挿入」→「DVD/DVD-VRを挿入」を選択することもできます。

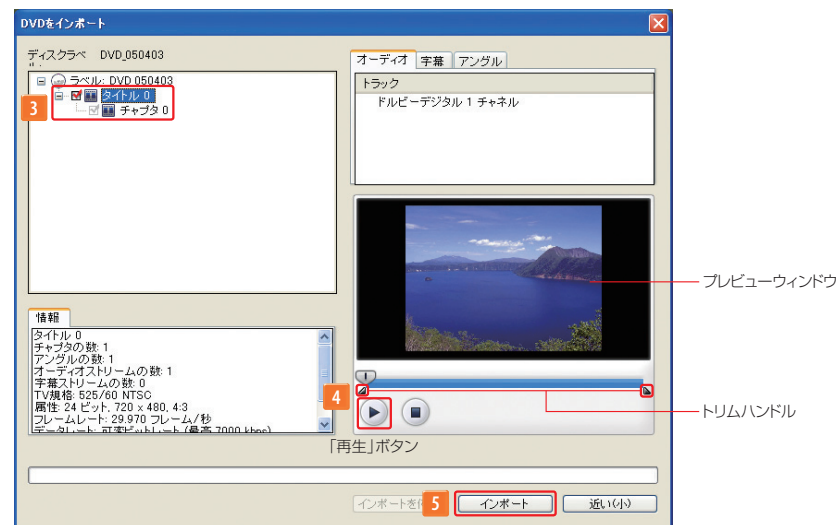
- 2 「フォルダの参照」ダイアログボックスが表示されます。DVD-RAMディスクでは「DVD_RTAV」フォルダを、DVD+RW および DVD-RW ディスクでは「VIDEO_TS」フォルダを選択して、「OK」をクリックします。



ヒント

DVD-VR形式で収録されているDVD-RWディスクから取り込みを行う場合、「VIDEO_TS」フォルダを指定するのではなく、ディスクが入っているドライブを指定だけで取り込める場合があります。

- 3 「DVDをインポート」ダイアログボックスが表示されます。ディスクに録画されている内容が一覧表示されます。そこから取り込みたいビデオにチェックを入れます。



- 4 ビデオは、必要な映像だけをトリミングすることができます。一覧からビデオをクリックして「再生」ボタンをクリックすると、プレビューウィンドウに再生されて、ビデオの内容が確認できます。トリムハンドルをトリミングする位置にドラッグします。

- 5 「インポート」ボタンをクリックすると、ビデオが取り込まれます。取り込んだビデオファイルは、プロジェクトを保存しているフォルダに収録されます。

注意

DVD-VR形式のDVD-RWディスクの場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。

注意

市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

STEP3

編集

このステップではビデオクリップの順番を入れ替えたり
トリミングやカットをして、ビデオ作品を仕上げていきます。



ストーリーボードとタイムライン

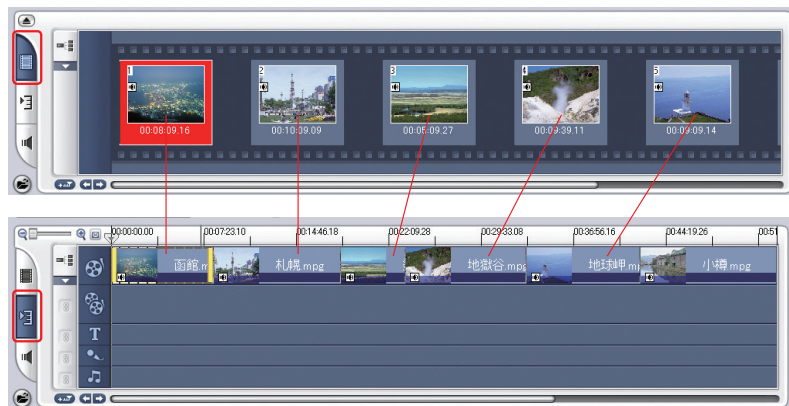
編集ステップでは、DVカメラやアナログビデオから取り込んだ映像や読み込んだビデオファイルをビデオトラックで編集します。ビデオクリップの順番を入れ替えたり、いらぬ映像をカットしたり、効果を付けて作品に仕上げていきます。

- 1 ビデオクリップを編集するには、「編集」ステップをクリックします。



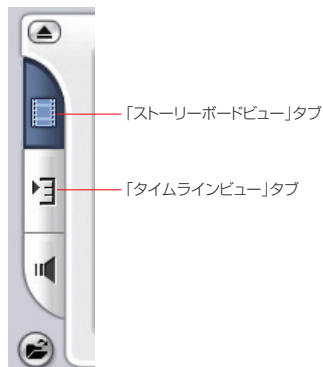
- 2 VideoStudioのビデオクリップを編集する「ビデオトラック」には「ストーリーボード」と「タイムライン」があります。編集する内容に合わせて2つのモードを切り替えて使うと効果的です。

ストーリーボード：ビデオをひとつのサムネイルで表わします。



タイムライン：ビデオを時間の長さで表示します。

- 3 「ストーリーボード」と「タイムライン」はいつでも切り替えが可能です。「ストーリーボードビュー」タブか「タイムラインビュー」タブをクリックして、モードを切り替えます。タブがブルーで表示されているモードが、現在使用中のビデオトラックです。



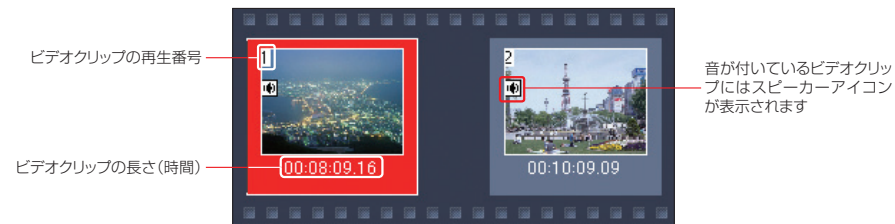
ストーリーボード

ストーリーボードはビデオクリップ単位で編集するタイプのビデオトラックです。ビデオクリップが再生順に並ぶのでプロジェクト全体が把握しやすく、作品の流れが一目でわかります。

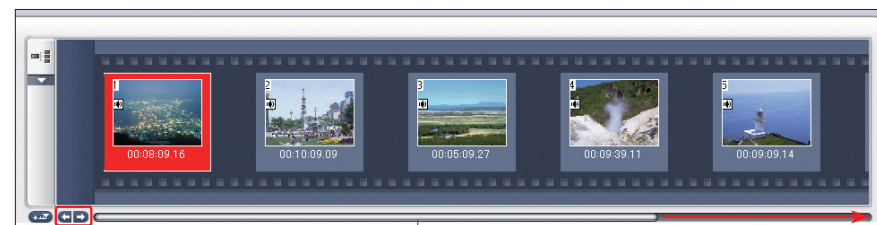
- 1 DVカメラやアナログビデオなどからキャプチャしたファイルおよび読み込んだファイルはビデオクリップとしてストーリーボードに配置されます。



- 2 ビデオクリップには再生される順番に番号が振られ、音が付いているビデオクリップにはスピーカーアイコンが表示されます。ビデオクリップの下には長さ（時間）が表示されます。



- 3 いくつかのビデオクリップをストーリーボードに並べると画面から見えなくなります。そんなときはスクロールバーかスクロールボタンを使って画面で見えないビデオクリップを表示します。



スクロールボタン
「→」で右へ「←」で左へ移動

スクロールバー
右に移動すると画面に表示されていないビデオクリップを表示できます

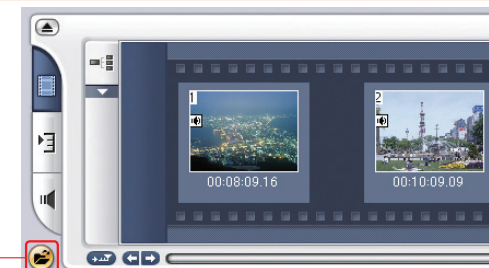
- 4** たくさんのビデオクリップを一度に表示するには、「拡張」ボタンをクリックします。ビデオクリップ全体が見渡せる一覧画面になります。ここではビデオファイルを読み込んだり、ビデオクリップの削除や入れ替えなどできます。編集画面に戻るには「最小化」ボタンをクリックします。



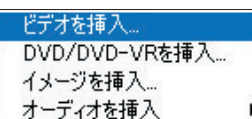
ビデオクリップの読み込み

- 1** 編集しているプロジェクトに、ハードディスクに保存されているビデオファイルを追加するには、「メディアファイルをタイムラインに挿入」ボタンをクリックします。

「メディアファイルをタイムラインに挿入」ボタン



- 2** 表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。



- 3** 「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

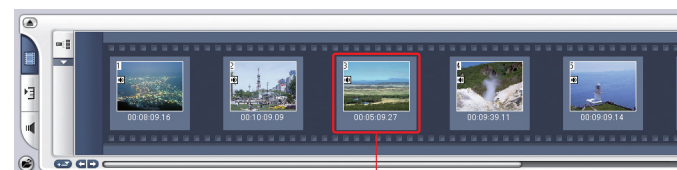
「再生」ボタン
選んだビデオファイルを再生

「自動再生」にチェックを入れると、選んだビデオファイルが自動的にプレビューウィンドウで再生されます



プレビューウィンドウ

- 4** ストーリーボードにビデオクリップが追加されます。



追加したビデオクリップが表示されます

ストーリーボードからビデオクリップを追加

ビデオクリップは、ストーリーボード上からも追加できます。

1 ストーリーボード上で右クリックします。

2 表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。

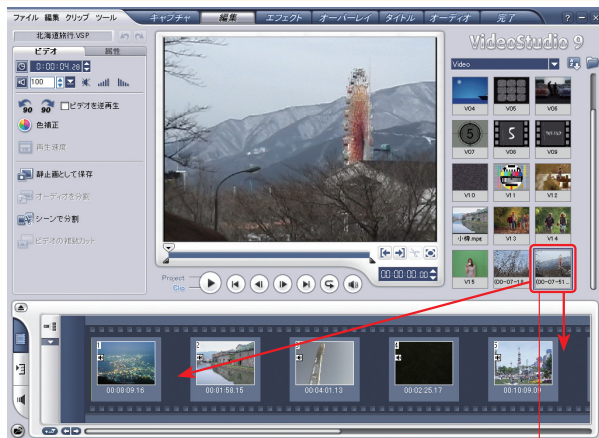
3 「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

4 ストーリーボードにビデオクリップが追加されます。



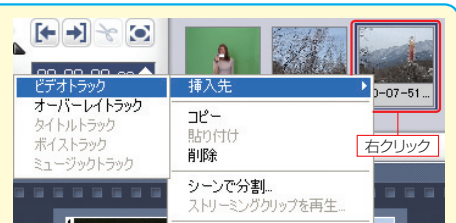
ライブラリからビデオクリップを追加

「キャプチャ」ステップで取り込んだ映像などのライブラリの「ビデオ」フォルダに登録してあるビデオクリップをストーリーボードに追加します。ライブラリの「ビデオ」クリップを挿入したい位置にドラッグ&ドロップします。ストーリーボードにビデオクリップが追加されます。



ビデオクリップを挿入したい位置にドラッグ&ドロップ

Tips 大型モニタを使用している場合は、ドラッグするのがたいへんです。そんなときは、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「挿入先」→「ビデオトラック」を選択すると、ビデオトラックにクリップが配置されます。



タイムライン

タイムラインはビデオクリップをタイムコードで表示して編集するタイプのビデオトラックです。タイムコードで表示するので1コマ単位で編集でき、正確な編集が可能です。

1 「タイムラインビュー」ボタンをクリックすると、タイムラインが表示されます。ビデオクリップが時間の長さで表示されます。

「タイムラインビュー」ボタン



Tips タイムラインでのビデオクリップの表示方法は3種類あります。「ファイル」メニューの「環境設定」から「環境設定」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「クリップディスプレイモード」で表示方法を変更できます。

2 現在選択しているビデオクリップは黄色の枠で囲われます。プレビューウィンドウに表示され、「再生」ボタンなどで内容を確認できます。



3 ルーラパネルにタイムコードが表示されます。「ズーム倍率」ボタンや「ウィンドウに合わせる」ボタンなどを使ってビデオクリップを表示する間隔を設定します。

「ズームイン」「ズームアウト」ボタン
ビデオトラックの時間表示間隔を大きくしたり小さくします タイムコード(時間:分:秒:コマ)



「ズーム比率」ボタン
ビデオクリップを表示する時間の間隔を選んで設定

「プロジェクトをタイムラインウィンドウに合わせる」ボタン
配置したビデオクリップを画面のタイムライン上にちょうど収まるように時間の間隔を設定してくれます

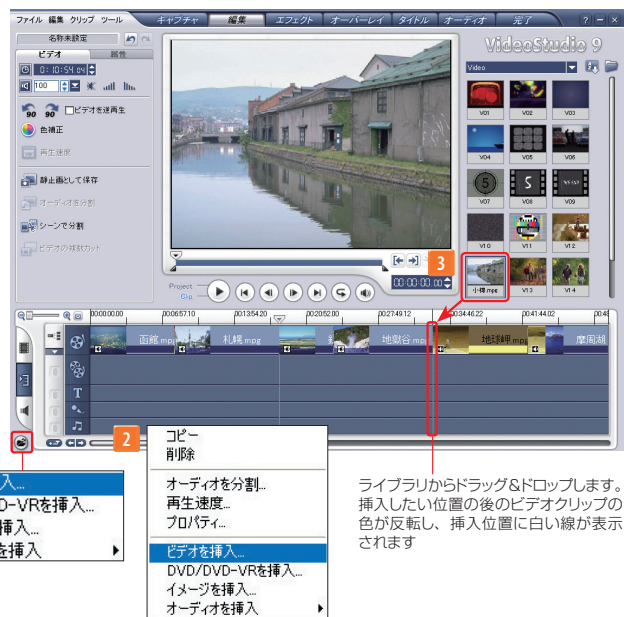
タイムラインにビデオクリップを追加

タイムラインにビデオクリップを追加するには、ストーリーボードと同じようにします。

1 新しくビデオクリップを追加するには、「メディアファイルを挿入」ボタンをクリックします。表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。するとタイムラインのビデオクリップの最後にビデオクリップが追加されます。

2 タイムライン上からもビデオクリップを追加できます。タイムラインのビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。するとタイムラインのビデオクリップの最後にビデオクリップが追加されます。

3 ビデオフォルダに登録してあるビデオクリップをタイムラインに追加できます。ライブラリのビデオクリップを挿入したい位置にドラッグ&ドロップします。タイムラインにビデオクリップが追加されます。



ライブラリからドラッグ&ドロップします。挿入したい位置の後のビデオクリップの色が反転し、挿入位置に白い線が表示されます。

Tips

大型モニタを使用している場合は、ドラッグするのがたいへんです。そんなときは、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「挿入先」→「ビデオトラック」を選択すると、ビデオトラックにクリップが配置されます。



ビデオクリップの移動と削除

ビデオクリップの移動

ビデオクリップの再生順序を入れ替えます。

1 移動したいビデオクリップを選択します。移動したい位置のビデオクリップの上でドラッグ&ドロップします。

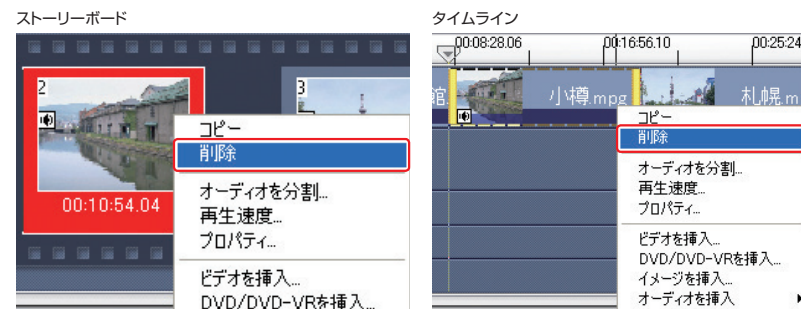


2 ビデオクリップの並び順が変わりました。



ビデオクリップの削除

使用しないビデオクリップを削除します。削除したいビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「削除」をクリックします。また、「Delete」キーを押しても削除できます。



Tips

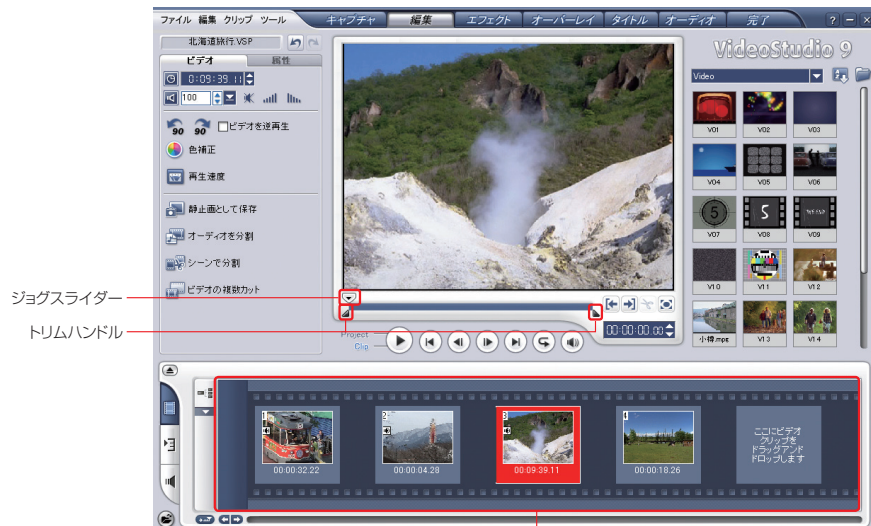
間違っって消したり、やり直したいときは「Ctrl」+「Z」キーで元に戻せます。

ビデオクリップのトリミング

DVカメラから取り込んだ映像やビデオファイルのいらない部分を取り除きます。ビデオクリップの必要な部分だけにするを「トリミング」といいます。

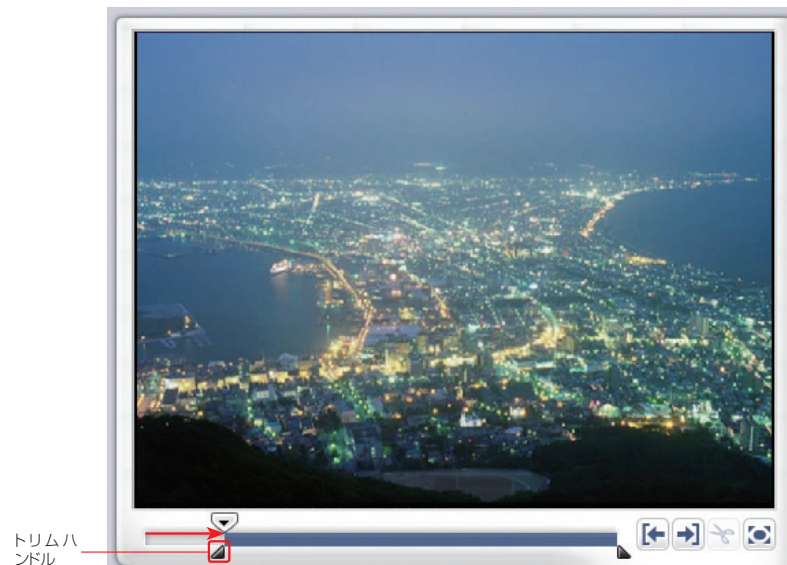


- 1 タイムラインかストーリーボードからトリミングするビデオクリップをクリックします。ビデオクリップがプレビューウィンドウに表示されます。



トリミングするビデオクリップ

- 2 プレビューウィンドウでビデオクリップを確認しながら、必要なビデオクリップの位置までトリムハンドルをドラッグします。



トリムハンドル

- 3 同じようにビデオクリップの必要な部分の終わりまでもうひとつのトリムハンドルをドラッグします。

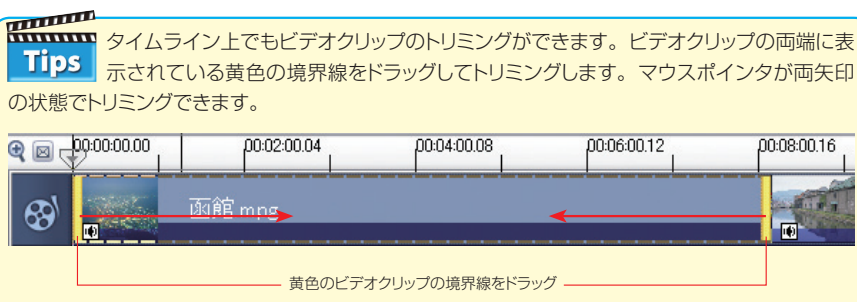


トリムハンドル

- 4 トリミングされたビデオクリップを再生して確認します。「再生」ボタンをクリックします。



- 5 トリミング位置を調整するにはもう一度トリムハンドルをドラッグします。



ビデオクリップの分割

ビデオクリップを2つに分割することができます。

- 1 タイムラインから分割するビデオクリップを選択します。
- 2 分割したい位置にジョグスライダーを移動します。
- 3 「クリップを切り取る」ボタンをクリックします。



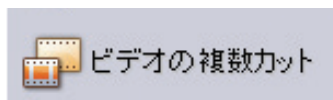
- 4 ビデオクリップが2つに分割されます。分割したビデオクリップの間に別のビデオクリップを挿入することができます。



CMやいらないシーンを一度にカット

ビデオクリップのなかでいらないシーンだけをカットすることができます。録画したテレビ番組からCMだけをカットしたり、DVテープから必要なシーンだけを一度に取り出すときなどに便利です。また、「自動CM検出」を使うと、ビデオクリップのなかから本編とCMを自動で分離してくれます。

- 1 複数のシーンをカットするビデオクリップを選択して、「ビデオの複数カット」ボタンをクリックします。



- 2 「ビデオの複数カット」ウィンドウが表示されます。ジョグスライダーを移動して、映像の必要な部分の先頭で「開始」ボタンをクリックし、必要な映像の最後の位置で「終了」ボタンをクリックします。CMなどのいらない部分を飛ばして、次に必要な映像の先頭で「開始」ボタンをクリックし、必要な映像の終わりの部分で「終了」ボタンをクリックします。この作業を何回か繰り返し、ビデオの必要な部分だけを抽出します。必要なビデオは「ビデオリスト」に表示されます。「OK」ボタンを押すと、必要な映像だけがつながったビデオができあがります。

「選択範囲を反転」をクリックすると、選択した範囲以外のビデオを抽出できます。

「CM自動検出」ボタンをクリックすると、番組とCMを自動で分けることができます。

「開始」ボタン

「終了」ボタン

「開始」・「終了」位置を設定したビデオがリスト表示される

1 ジョグスライダーを必要な映像の先頭に移動して、「開始」ボタンをクリック

2 必要な映像の終わりにジョグスライダーを移動して、「終了」ボタンをクリック

3 いらない映像を飛ばして、次に必要な映像の先頭にジョグスライダーを移動して、「開始」ボタンをクリック

4 必要な映像の終わりにジョグスライダーを移動して、「終了」ボタンをクリック

ジョグホイール：マウスでドラッグすると、ビデオのコマ送りができます。また、マウスのホイールボタンと連動します

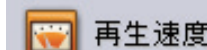
倍速ボタン：マウスでドラッグすると倍速で早送り／巻き戻しができます

ヒント 「開始」点や「終了」点は、ひとつのビデオクリップにいくつも設定できます。

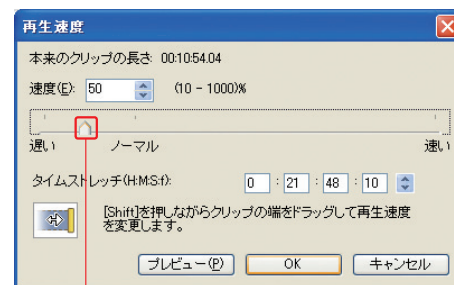
ビデオの再生速度を変える

ビデオの再生速度を変えることができます。運動会で一生懸命走っている姿をスローモーションにしたり、街ゆく人々の慌ただしさを強調するため、早回しにしたりと、ビデオの再生速度を変えてビデオに変化を付けます。

- 1 ビデオの再生速度を変えるには、効果を加えないビデオクリップを選択し、「オプションパネル」の「再生速度」をクリックします。



- 2 「再生速度」ダイアログボックスが表示されます。スライダーを移動して好みの速度に調整します。「速度」の入力ボックスに直接数値を入力したり、「▲」「▼」ボタンで設定したりすることもできます（「100」が標準速度です）。値が高いほど再生速度は速くなります（値は10 - 1000%で設定します）。「プレビュー」ボタンをクリックして速度を確認します。よければ「OK」ボタンをクリックします。



スライダーを移動して速度を調整します

Tips タイムラインのビデオクリップは「Shift」キーを押しながらドラッグすると、短くした場合は速度アップ、長くした場合はスロー再生になります。

「Shift」キーを押しながらドラッグ

ビデオを逆再生する

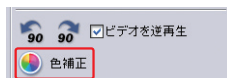
ビデオクリップを選択して、「ビデオを逆再生」にチェックを入れると、ビデオを巻き戻して再生できます。歩いている人の映像が後向きに進んだり、ビデオクリップにおもしろい効果を追加できます。



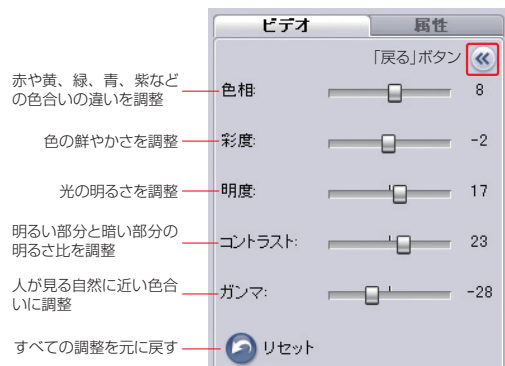
ビデオの色味を調整

DVカメラでの撮影時にホワイトバランスがくずれてビデオ映像が白く飛んでいたり、蛍光灯の下での撮影で青みがかったりして録画される場合があります。VideoStudioでは取り込んだビデオクリップの色味を調整する機能を備えています。

- 1 ビデオクリップの色を調整するには、ビデオクリップを選択して、「色補正」ボタンをクリックします。



- 2 「色補正」パネルが表示されます。プレビューウィンドウで色味を確認しながら各項目のスライダーを左右にドラッグして調整します。調整後は、「戻る」ボタンをクリックします。



ビデオクリップの1コマを静止画にする

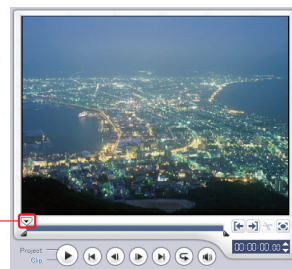
ビデオクリップの1コマを静止画にできます。お気に入りのシーンを静止画として保存し、メニュー画面の背景に使ったり、書き込んだディスクのレーベルに使用したりすることができます。

- 1 ビデオクリップを選択し、静止画にしたシーンをプレビューウィンドウに表示します。

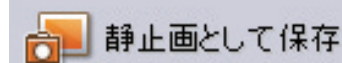


ヒント 静止画を印刷するには、87ページを御覧下さい

ジョグスライダーを静止画にしたいシーンに移動



- 2 オプションパネルの「静止画として保存」ボタンをクリックします。静止画として保存されます。



ヒント 静止画のファイル形式は、「ファイル」メニューの「環境設定」→「キャプチャ」タブの「キャプチャした静止画の保存形式」からBMPかJPGを選択できます。

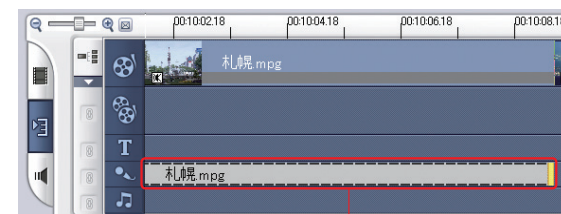
オーディオを分離

ビデオ撮影時に同時録音した音声は、ビデオ映像と同期してVideoStudioに取り込まれます。同時録音された音声はビデオ映像と分離することができます。

- 1 タイムラインを表示します。オーディオを分離したいビデオクリップを選択して、「オーディオを分割」ボタンをクリックします。



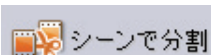
- 2 音声部分がオーディオクリップとして「ボイス」トラックに表示されます。このオーディオクリップは独立したクリップで、削除することや移動などができます。



シーンで分割

キャプチャしたDV AVIファイルを録画日時やビデオコンテンツの変化(モーション変化、カメラシフト、明るさの変化など)に基づいて分割します。MPEGファイルは、ビデオ内容に基づいてビデオを分割します。

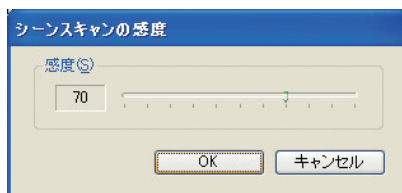
- 1 シーンで分割するMPEGファイルを選択します。オプションパネルから「シーンで分割」をクリックします。



- 2 「シーン」ダイアログボックスが表示されます。「スキャン方法」でDVカメラの録画スイッチのオン・オフや日付を検索する「DV録画時間」か、映像の変化を感知する「フレーム内容」かを選びます。



- 3 「オプション」ボタンをクリックすると、「シーンスキャンの感度」ダイアログボックスが表示されます。ここで検索する感度を調整します。感度が高いほど多くのシーンが検出されます。



- 4 「スキャン」ボタンをクリックすると検索されたシーンが一覧表示されます。分割したくない場合はビデオクリップをクリックし、「結合」ボタンをクリックするとその前のビデオクリップとひとつのクリップになります。「分離」をクリックすると、結合を元に戻すことができます。

- 5 「OK」ボタンをクリックするとビデオが分割されます。

オプションパネル

オプションパネルの「ビデオ」タブには、ビデオ編集のいろいろな情報を表示したり設定する項目が配置されています。

※これらの項目は、ビデオクリップを選択しているときに表示されます。

- 1 **デュレーション**
選択しているビデオクリップの時間の長さが表示されます。ここでビデオクリップのアウト点を変更できます。数字をクリックして直接入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を変更します。



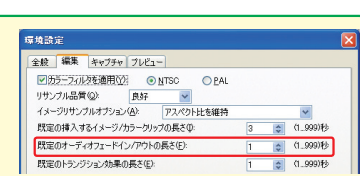
- 2 **クリップのボリューム**
ビデオクリップのボリュームを調節します。「0」が無音、「100」が標準で、「200」に設定すると2倍の音量になります。数字をクリックして直接入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして調節します。また、右の「▼」ボタンをクリックして、スライダーで音量を調節することもできます。

- 3 **ミュート**
ビデオクリップの音量を消します。別のBGMを用意するときなどに利用します。

- 4 **フェードイン**
ビデオクリップのボリュームを徐々に大きくします。

- 5 **フェードアウト**
ビデオクリップのボリュームを徐々に小さくします。

ヒント 「ファイル」メニューの「環境設定」→「編集」タブでフェードインやフェードアウトする時間(長さ)を調整できます。



DVD-VR キャプチャ

VideoStudioにDVDディスクの映像(DVD-VRビデオ)を取り込みます。

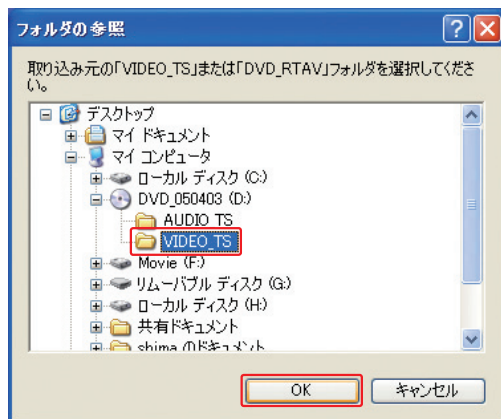
- 1 「メディアファイルをタイムラインに挿入」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「DVD/DVD-VRを挿入」を選択します。



Tips

「ファイル」メニューから「メディアファイルをタイムラインに挿入」→「DVD/DVD-VRを挿入」を選択することもできます。

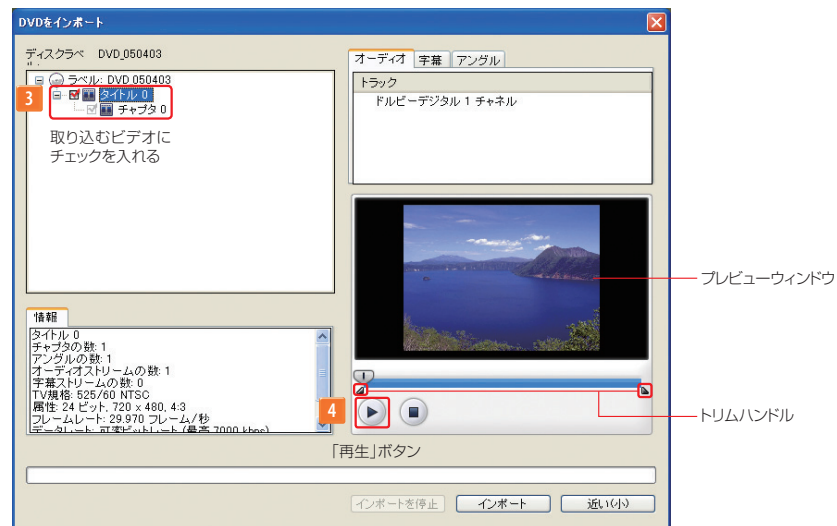
- 2 「フォルダの参照」ダイアログボックスが表示されます。DVD-RAMディスクでは「DVD_RTAV」フォルダを、DVD+RWおよびDVD-RWディスクでは「VIDEO_TS」フォルダを選択して、「OK」をクリックします。



ヒント

DVD-VR形式で収録されているDVD-RWディスクから取り込みを行う場合、「DVD_RTAV」フォルダを指定するのではなく、ディスクが入っているドライブを指定するだけで取り込める場合があります。

- 3 「DVDをインポート」ダイアログボックスが表示されます。ディスクに録画されている内容が一覧表示されます。そこから取り込みたいビデオにチェックを入れます。プレイリストに収録されているファイルの先頭フレームがサムネイルで一覧表示されます。



- 4 ビデオは、必要な映像だけをトリミングすることができます。一覧からビデオをクリックして「再生」ボタンをクリックすると、プレビューウィンドウに再生されて、ビデオの内容が確認できます。トリムハンドルをトリミングする位置にドラッグします。
- 5 「インポート」ボタンをクリックすると、ビデオが取り込まれます。取り込んだビデオファイルは、プロジェクトを保存しているフォルダに収録されます。

注意

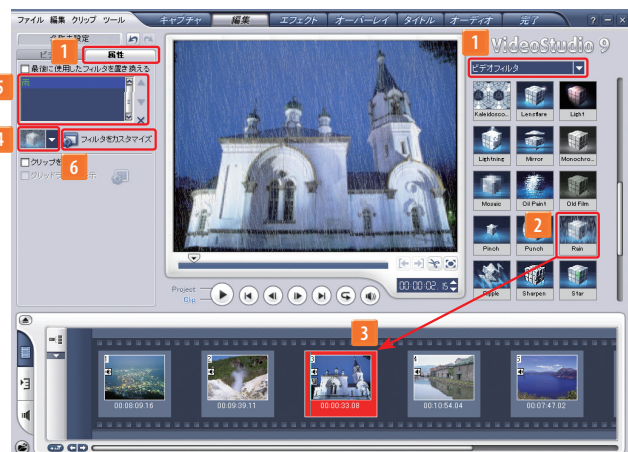
DVD-VR形式のDVD-RWディスクの場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。

注意

市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

フィルタ

ビデオフィルタはビデオクリップにフィルタをかけたような効果を追加できます。Video Studioには、「ビデオパン＆ズーム」や「ゴースト」、「ストロボ」、「雨」、「雲」など、ビデオクリップの色や明るさを変えたり変化に富んだ効果がすぐにできあがるビデオフィルタがいくつも用意されています。

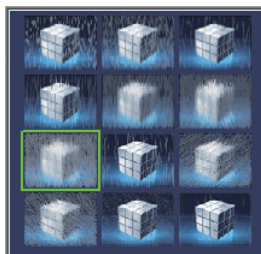


1 ビデオフィルタを使用するにはオプションパネルの「属性」タブをクリックするか、ライブラリフォルダの「▼」をクリックして「ビデオフィルタ」を選択します。

2 ライブラリから使用するフィルタを選びます。

3 フィルタ効果をかけたいビデオクリップにドラッグ＆ドロップします。

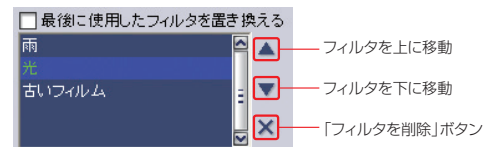
4 プリセットで効果をかける位置や方向、変化のしかたを設定できるフィルタもあります。「▼」ボタンをクリックして、表示されるプリセットから選択します。



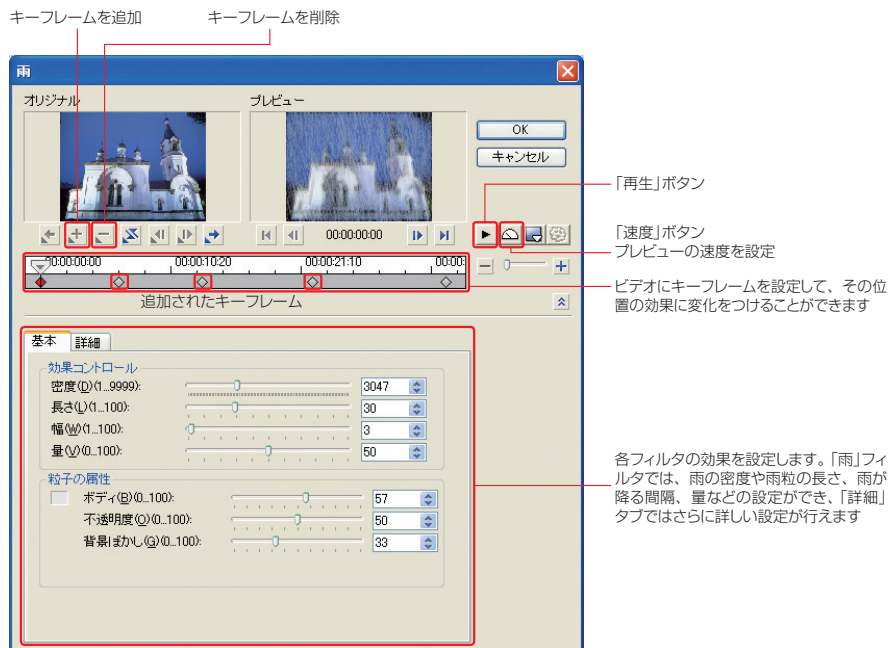
Tips

フィルタはひとつのビデオクリップに5つまで重ねて適用することができます。

5 フィルタを取り消すには、「適用したフィルタ」のリストから削除したいフィルタを選び、「フィルタを削除」ボタンをクリックします。複数のフィルタを適用する場合は、「最後に使用したフィルタを置き換える」のチェックをはずします。



6 「フィルタをカスタマイズ」ボタンをクリックすると、各フィルタのダイアログボックスが表示されます。各フィルタの効果をどのように設定するかを細かく調整できます。フィルタによって設定できる項目は変わります。設定が終われば「OK」ボタンをクリックします。ビデオクリップにフィルタ効果が加えられます。



ヒント

キーフレームとは、クリップのなかでビデオフィルタの属性や動きを指定することができるフレームのことです。キーフレームを設定すると、ひとつのクリップのなかで異なるフィルタ効果を順にかけられます。

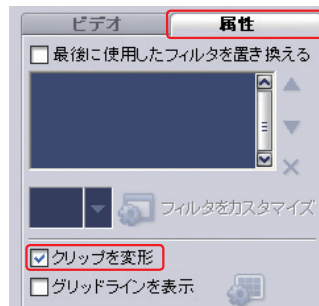
Tips

フィルタによっては、オプションの設定タブがいくつもある場合があります。

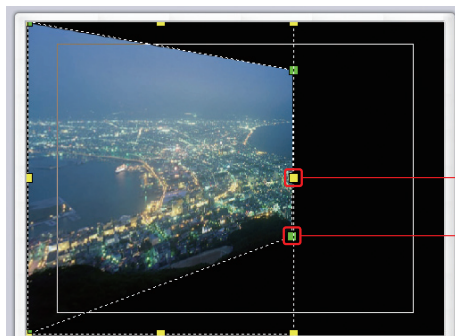
クリップの変形

ビデオクリップやイメージクリップは変形して表示することができます。

- 1 変形するクリップを選択して、「属性」タブの「クリップを変形」にチェックを入れます。

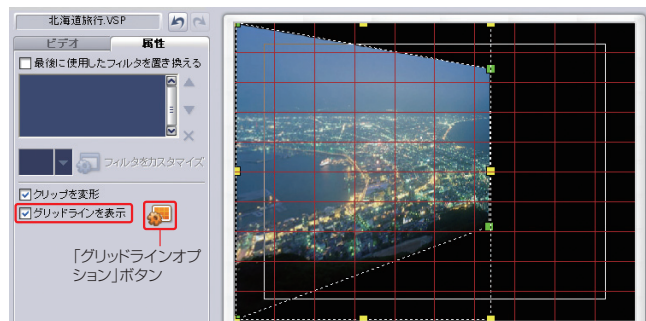


- 2 プレビューウィンドウに表示されたポイントをドラッグして、クリップを変形します。黄色のポイントでは拡大・縮小が、緑のポイントでは変形ができます。

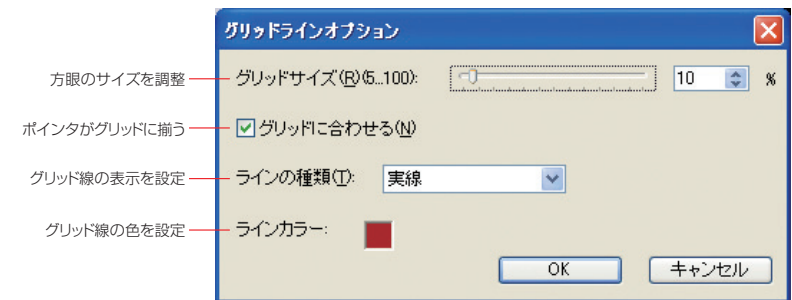


黄色のポイントドラッグして、クリップの拡大・縮小
緑色のポイントドラッグして、クリップの変形

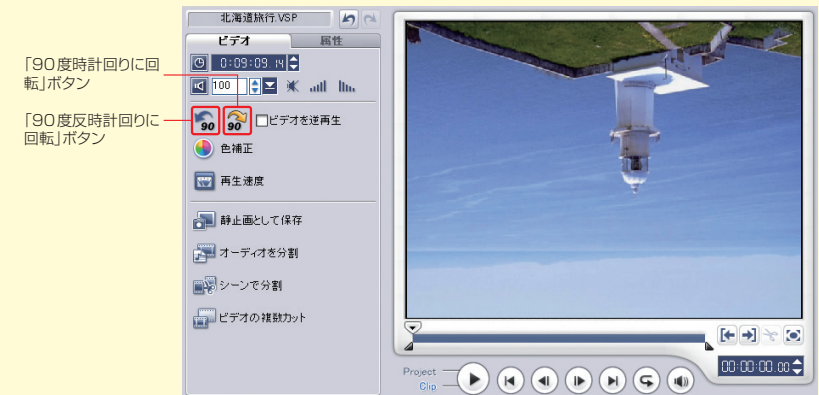
- 3 「グリッドラインを表示」にチェックを入ると、プレビューウィンドウにグリッド線が表示されます。



- 4 グリッド線を設定するには、「グリッドラインオプション」ボタンをクリックします。「グリッドラインオプション」ダイアログボックスが表示されます。「グリッドに合わせる」にチェックを入れると、黄色や緑色のポイントを移動する場合、グリッドに揃えられるので、変形がしやすくなります。



Tips 「ビデオ」タブの「90度時計回りに回転」「90度反時計回りに回転」ボタンをクリックすると、クリップを回転して表示できます。逆さまにビデオを表示するなどの効果が追加できます。



静止画を取り込む

デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真や静止画をイメージクリップとしてストーリーボードやタイムラインに挿入して編集できます。

- 1 イメージライブラリに登録してある画像を取り込むには、ライブラリフォルダの「▼」をクリックして「イメージ」を選択します。



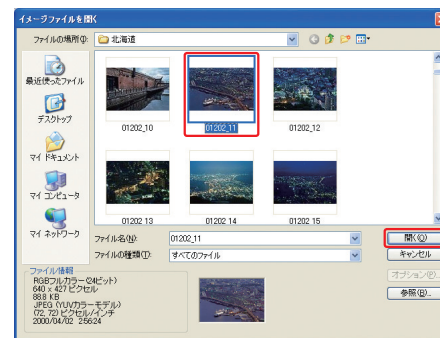
- 2 イメージライブラリからイメージクリップを選び、ビデオトラックにドラッグ＆ドロップします。画像のサイズが合わない場合は、オプションパネルの「リサンプリングオプション」で調整します。



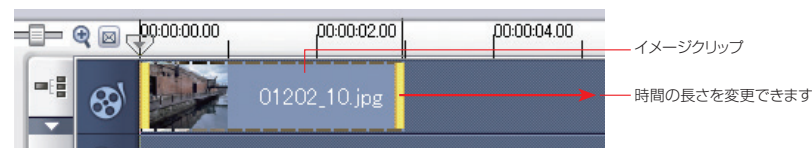
- 3 デジタルカメラや携帯電話から写真を取り込むには、一度写真画像をパソコンに取り込んでおくか、デジタルカメラや携帯電話の記録メディアをパソコンに接続します。「メディアをタイムラインに挿入」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「イメージを挿入」を選択します。



- 4 「イメージファイルを開く」ダイアログボックスの「ファイルの場所」で写真や画像が保存されているフォルダを選択し、写真や画像を選びます。複数の写真や画像を選ぶには「Ctrl」キーを押しながら選択します。「開く」ボタンをクリックすると、ストーリーボードやタイムラインに表示されます。



- 5 タイムラインビューに挿入されたイメージクリップは3秒に設定されています。トリムハンドルでドラッグして再生時間を変更します。



- 6 ストーリーボードでイメージクリップの再生時間を調整するには「イメージ」タブの「デュレーション」で設定します。横向きイメージクリップは、「回転」ボタンをクリックして向きを整えます。

イメージクリップの再生時間を調整します。

「回転」ボタンでイメージクリップの向きを調整します。

イメージクリップの色味を調整します。設定については124ページを参照してください。



パン&ズーム

「パン&ズーム」機能は、1枚の静止画をパンやズームすることで動きのある写真にすることができます。パンは写真を水平移動し、ズームは写真の一部をアップにします。パンを使えば人物やものが画面を移動しているように見え、ズームを使えば人物やものが大きく表示されます。

1 イメージクリップに「パン&ズーム」効果を加えるには、ビデオトラックからイメージクリップを選択し、オプションパネルの「パン&ズーム」にチェックを入れます。

2 プリセットの「▼」ボタンをクリックして、効果を選びます。

3 「カスタマイズ」ボタンをクリックすると、「パン&ズーム」ダイアログボックスが表示されます。ここで、パンやズームを細かく調整することができます。



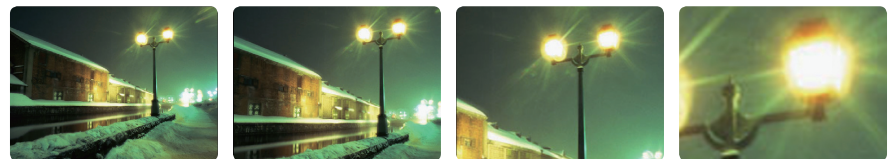
黄色のポインタで囲まれた部分が再生表示されます。黄色のポインタをドラッグして表示サイズを調整します。サイズを小さくするとズームします。

十時アイコンをドラッグして、始点と終点をそれぞれ設定します。

「再生」ボタンをクリックすると、プレビューウィンドウにパン&ズーム効果がかかった映像が再生されます。

「中間フレームを使用」にチェックを入れると、再生時間の真ん中で調整することができます。

「開始」ボタンをクリックして、「イメージ」ウィンドウで再生する場所を設定します。「終了」ボタンをクリックして再生の終わりの画像サイズや位置を調整します。「再生」ボタンをクリックすると、プレビューウィンドウにパン&ズーム効果がかかった映像が再生されます。



パン&ズームの例：「開始」でイメージクリップ全体を表示。「終了」で街灯がアップになるように表示サイズを縮小して、街灯に十字アイコンを移動。全景から街灯にズームするクリップになります。

カラークリップ

カラークリップは単色の画像で、ビデオのタイトルを表示するときに使ったり、ビデオクリップのフェードイン/フェードアウトに背景として使用できます。

1 ライブラリフォルダの「▼」をクリックして「色」を選択します。カラークリップライブラリが表示されます。

2 カラークリップを選んで、ストーリーボードやタイムラインにドラッグ&ドロップします。

3 ライブラリに登録されていない色を使用するには「カラーを読み込む」ボタンをクリックします。

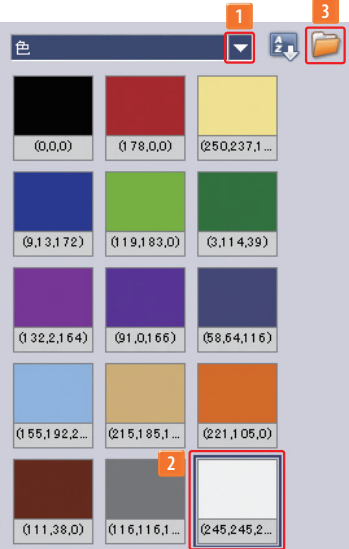
4 カラークリップの表示時間はデフォルトで3秒です。イメージクリップと同じように時間の長さを変更できます。

5 「カラークリップを作成」ダイアログボックスが表示されます。R、G、Bの数値を調整してあたらしい色をつくります。「OK」ボタンをクリックするとライブラリに登録されます。

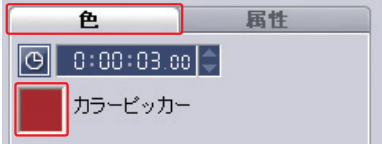


作成中の色が表示されます

6 カラークリップを選択して、オプションパネルの「色」タブをクリックします。カラーピッカーをクリックして、表示されるカラーピッカーから色を選択することもできます。



ビデオトラックヘッダラッグ&ドロップ



プレビュー

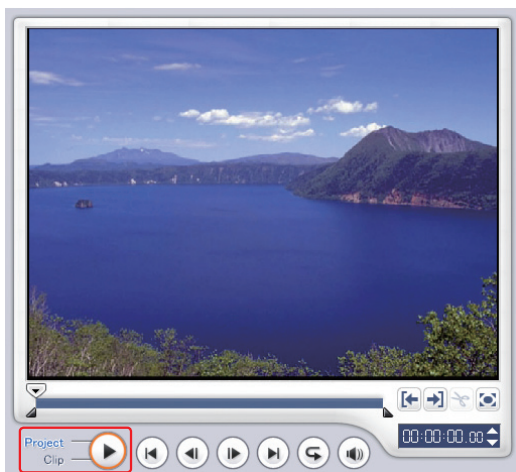
編集したビデオクリップを確認するには、ナビゲーションパネルを使用します。

プロジェクトを再生

編集したビデオ全体を見るには「Project」をクリックして「再生」ボタンをクリックします。プロジェクトの再生には「高画質再生」と「インスタント再生」があります。「ファイル」メニューから「環境設定」を選び、「全般」タブの「再生方式」でどちらかに設定します。

「高画質再生」は、フィルタや効果を適用したビデオクリップのテンポラリプレビューファイルを作成して再生するので、レンダリングに時間はかかりますが、高画質で正確なプレビューを確認できます。「インスタント再生」は、テンポラリプレビューファイルをつくらずにレンダリングされるので素早くプレビューでき、大まかに確認するときに使用します。

編集中はインスタントプレビューで確認、仕上がりを高画質プレビューで確認するなど、用途に合わせて使い分けます。



クリップを再生

選択したビデオクリップだけを再生するには、「Clip」をクリックして「再生」ボタンをクリックします。選択エリアだけを再生する場合は「Shift」キーを押しながら「再生」ボタンをクリックします。

ナビゲーションパネル



1 再生モード

プロジェクト全体を再生するか選択したビデオクリップを再生するかを切り換えます。

2 再生
ビデオを再生します。

3 最初のフレームへ
選択しているビデオクリップの開始位置にジャンプします。

4 前のフレームへ
ビデオクリップを1フレームずつ巻き戻します。

5 次のフレームへ
ビデオクリップを1フレームずつ進めます。

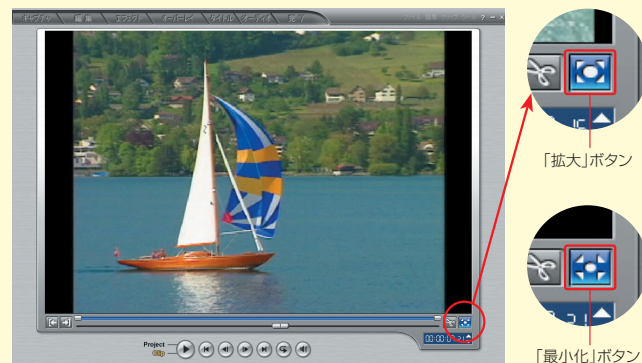
6 最後のフレームへ
選択しているビデオクリップの終了位置にジャンプします。

7 繰り返し
選択したビデオクリップを連続して再生します。解除するには、もう一度「繰り返し」ボタンをクリックします。

8 ボリューム
ビデオの音量を調整します。

Tips

プレビューウィンドウの右下に「拡大」ボタンがあります。ここをクリックすると、パソコンのモニタ全面にプレビューウィンドウが広がります。解除するには「最小化」ボタンをクリックします。



リップル編集

リップル編集とは、作成したプロジェクトのビデオやテキスト、オーディオトラックに配置したクリップを連動して編集できます。これにより、プロジェクトの途中にクリップを追加しても各トラックに配置したクリップは連動して移動します。

リップル編集を行うには、「リップル編集」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「リップル編集を有効にする」をクリックします。



ビデオやテキスト、オーディオトラックにクリップを配置したところにビデオクリップを追加すると……

「札幌」と「小樽」のビデオクリップの間に「地球岬」のビデオクリップを追加



「リップル編集」が有効の場合

「小樽」のビデオクリップと連動して、テキストやオーディオクリップも一緒に移動



「リップル編集」が無効の場合

あらたにビデオクリップが追加されたことにより、ビデオクリップと他のクリップがバラバラになる



Tips

「自動的にスクロール」にチェックを入れると、プロジェクト再生中のビデオトラックには、現在再生中のクリップが表示され、ビデオトラックのどの位置が再生されているかがわかります。



クリップメニュー

「クリップ」メニューには、ビデオクリップを設定する項目が用意されています。

1 トリムしたビデオを保存

トリミングしたビデオクリップを新しいビデオクリップとして保存します。保存したビデオクリップはライブラリに登録されます。

2 静止画として保存

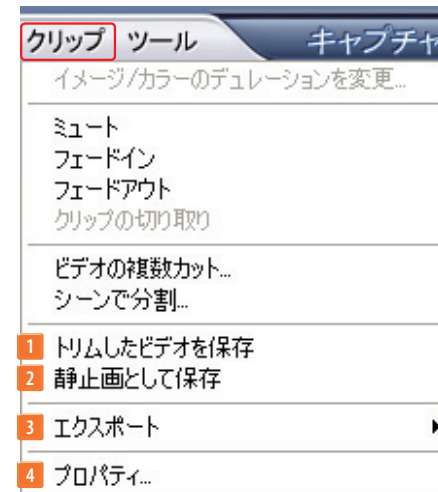
ビデオクリップの1コマを静止画にすることができます。プレビューウィンドウに静止画にしたい映像を表示します。「静止画を保存」ボタンをクリックすると静止画が「イメージ」フォルダのライブラリに登録されます。

3 エクスポート

選択しているビデオクリップをDVカメラに書き戻したり、Webページやグリーンティングカード用に出力したり、DVDに書き込みます。それぞれの操作については182ページをご参照ください。

4 プロパティ

選択しているビデオクリップの情報を表示します。ビデオクリップを右クリックして表示される「プロパティ」と同じものです。

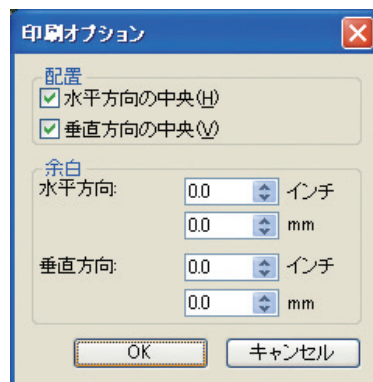


静止画の印刷

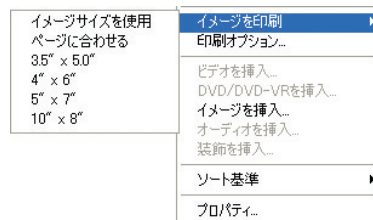
1 ビデオクリップから切り抜いた静止画を印刷するにはライブラリの「イメージ」から印刷する静止画を右クリックします。表示されるメニューから「印刷オプション」をクリックします。



2 「印刷オプション」ダイアログボックスが表示されます。静止画を用紙のどの位置に配置するかと用紙の余白を設定して、「OK」ボタンをクリックします。



3 印刷する静止画を右クリックして、表示されるメニューから「イメージを印刷」をクリックします。「プリント」ダイアログボックスが表示されます。各設定を行って「印刷」ボタンをクリックします。



VideoStudio 編

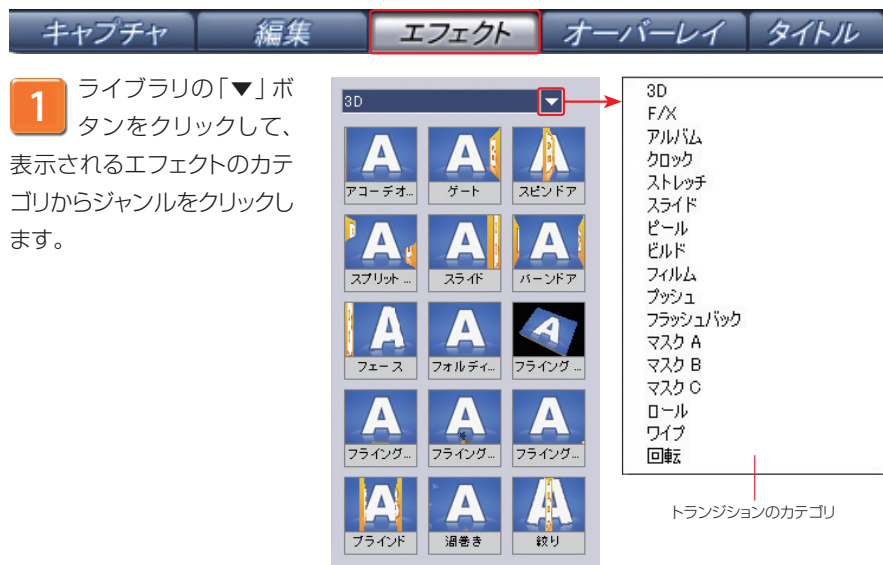
STEP4 エフェクト

このステップではビデオクリップとビデオクリップが切り替わるときの効果について説明します。

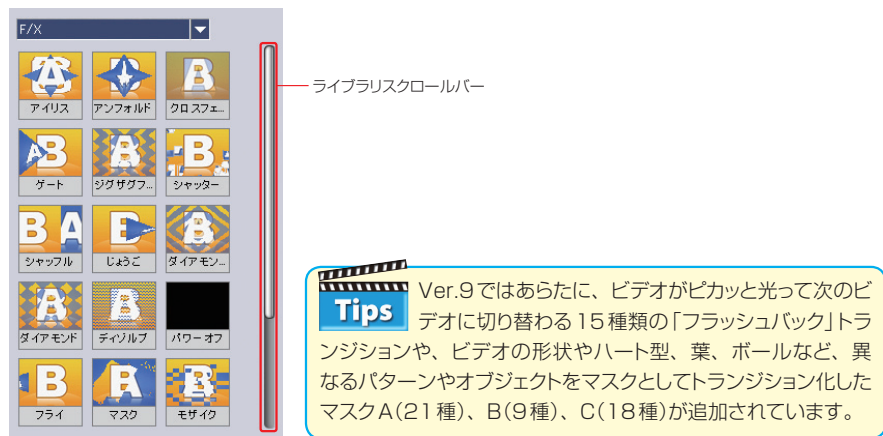


エフェクトを選ぶ

VideoStudioには17のカテゴリに191種類のエフェクトが用意されています。これらのエフェクトをビデオクリップの間に挿入し、クリップとクリップの切り替わりをスムーズにしたり、時間の経過を表したり、劇的な効果を加えることができます。エフェクトを使うには「エフェクト」ステップをクリックします。



- 2 画面に表示しきれないときはライブラリスクロールバーが表示されます。バーを動かして画面に表示されていないトランジションを見ます。



エフェクトの確認

- 1 エフェクトをダブルクリックするとプレビューウィンドウに効果が表示されます。AとBのアルファベットでビデオの切り替わりが表示されます。

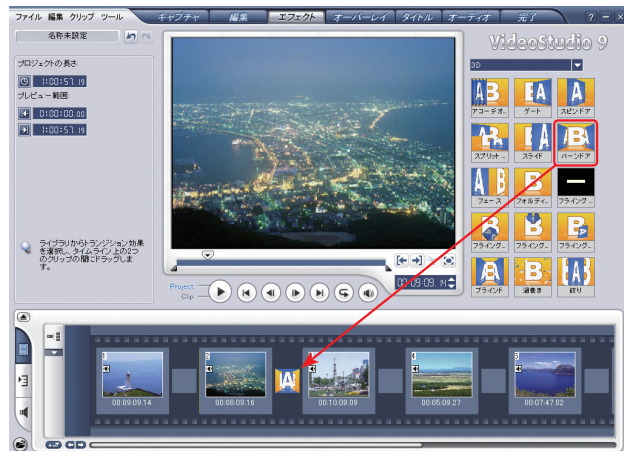


- 2 「再生」ボタンをクリックするとAからBにアルファベットが変わります。ここで画面の切り替わり方を確認します。また、ジョグスライダーをスライドしてもエフェクトを確認できます。



エフェクトをかける

- 1 使用するエフェクトが決まったら、そのエフェクトのサムネイルをクリップとクリップの間にドラッグします。



- 2 「再生」ボタンをクリックすると実際のクリップにエフェクトがかかった映像を確認できます。



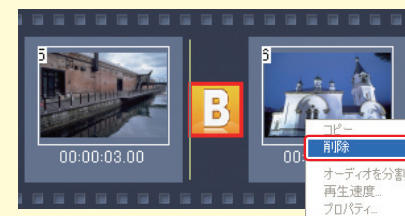
エフェクトをかけた例:「マスク」Bの8



かけたエフェクトが気に入らなければ、他のエフェクトを重ねてドラッグします。前に選んだエフェクトはなくなり、新しいエフェクトになります。

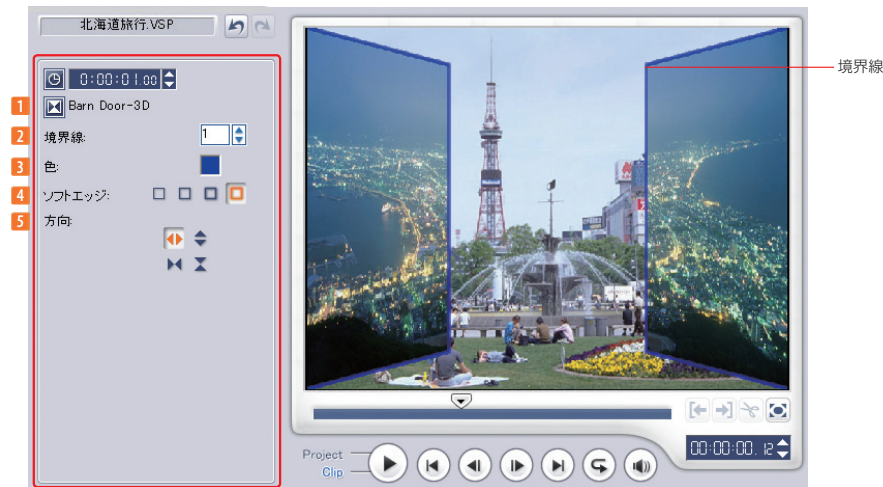


エフェクトを取り止めるにはエフェクトを右クリックして、表示されるメニューから「削除」をクリックします。また、エフェクトをクリックして選択し、「Delete」キーを押しても削除できます。



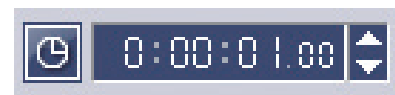
エフェクトのオプション設定

選んだエフェクトの詳細を設定します。オプションパネルでエフェクトをかける長さ(時間)や方向、ビデオとビデオの境をはっきりさせるためのラインを引くことができます。ここでは「3D」カテゴリの「開くドア」効果で説明します。



1 デュレーション

エフェクトをかける時間を設定します。短く設定すれば瞬時にクリップが切り替わり、長く設定すればゆっくりと変化しながら切り替わります。デフォルトは1秒です。



2 境界線

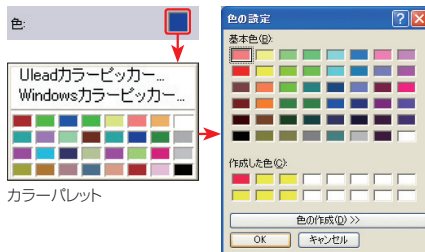
クリップとクリップの境目がはっきりするようにクリップにフチをつけます。上下の矢印をクリックして数値を設定します。「0」は境界線なしで、「1～10」まで選べ、数字が大きくなると境界線が太くなります。クリップとクリップが似たような映像のときに使うと効果があります。

境界線:



3 色

境界線の色を設定できます。色ボックスをクリックするとカラーパレットが表示されるので、そこから色を選びます。カラーパレット以外の色にしたい場合はUleadカラーピッカーかWindowsカラーピッカーをクリックして、表示される「色の設定」ダイアログボックスから色を選びます。



4 ソフトエッジ

クリップとクリップの変わり目をぼかします。右のボタンになるほど強くボケます。境界線を設定している場合は境界線がボケます。

ソフトエッジ:



5 方向

エフェクトがかかる方向を設定します。上から下にかけていくエフェクトや下から上、右から左、左から右にかけることができます。

方向:

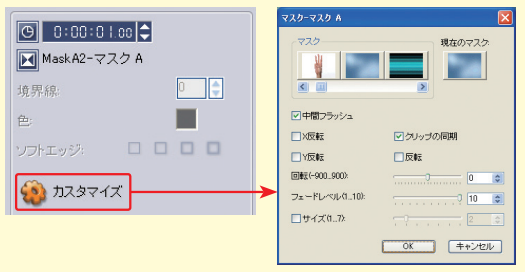


注意

エフェクトの種類によっては方向が変えられないものもあります。

ヒント

エフェクトによってはオプションパネルの設定が表示されず、「カスタマイズ」ボタンが表示されるものもあります。この場合は、「カスタマイズ」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで設定を行います。



VideoStudio 編

STEP5 オーバーレイ

このステップでは、映像にイメージファイルや映像を重ねて、編集した映像をさらに凝った作品にします。



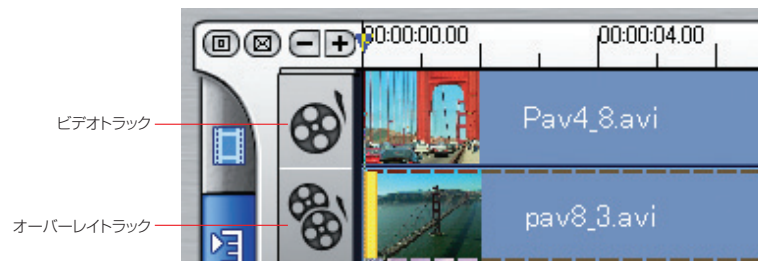
ビデオとビデオの合成

オーバーレイトラックにビデオクリップを取り込むと、ビデオトラックのビデオクリップと合成できます。映像が流れている画面の中にもうひとつの小さな画面で映像を流す「ピクチャ・イン・ピクチャ」や、人物だけを切り抜いたクロマキー合成などができます。ビデオとビデオの合成は「タイムライン」で行います。



- 1 「オーバーレイ」ステップをクリックして、オーバーレイトラックを使用できるようにします。
- 2 重ね合わせで背景になるビデオクリップをビデオトラックに挿入します。
- 3 「メディアファイルをタイムラインに挿入」ボタンをクリックして「ビデオを挿入」を選択します。

- 4 「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。読み込まれたビデオクリップが「オーバーレイ」トラックに挿入されます。



- 5 または、ライブラリの「▼」ボタンをクリックして「ビデオ」フォルダを選択し、「ビデオを開く」ボタンをクリックします。「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックするとライブラリに登録されます。
- 6 登録したビデオクリップをオーバーレイトラックにドラッグ&ドロップします。
- 7 ビデオファイルの長さを映像に合わせて調整します。ビデオクリップをクリックして、開始位置や終了位置をドラッグします。



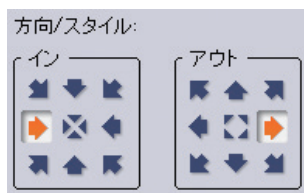
- 8 オプションパネルの「編集」タブでオーバーレイトラックに配置したビデオクリップの長さや音声の調整ができます。また、「再生速度」ボタンでビデオクリップの再生速度を調整できます。



- 9 「属性」タブをクリックしてビデオクリップを表示する位置や大きさ、動きなどを調整します。オーバーレイトラックのビデオクリップをプレビューウィンドウでドラッグして、表示したい位置に移動します。黄色のポインタをドラッグすると、ビデオクリップを拡大・縮小できます。緑のポインタをドラッグすると、ビデオクリップを変形できます。



- A **方向/スタイル**: ビデオクリップの動きを調整します。画面上を右左、上下に移動できます。



- B **フェードイン/フェードアウト**: オーバーレイ表示するビデオのフェードイン、フェードアウトの設定ができます。

- C 「マスク&クロマキー」ボタンをクリックして、表示される「オーバーレイオプション」パネルで、その他の設定を行います。

透明度: ビデオクリップの透明度を設定します。「0」から「99」まで設定でき、「0」がフル表示で、数字を大きくするとより透ける設定になります。

境界線: オーバーレイトラックのビデオクリップに枠をつけます。「0」は境界線なしで、数字を大きくすると太い境界線になります。カラーボックスをクリックして境界線の色を選択します。



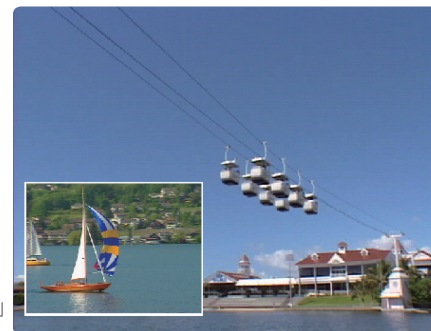
オーバーレイトラックを使った映像例

ビデオトラックにロープウェイの映像を、オーバーレイトラックにヨットの映像を配置して合成したビデオです。ロープウェイの映像が流れているところに小さな画面でヨットの映像が流れ、時間とともに画面の右に移動して消えるように設定してあります。

「フェードイン」を設定したので、ヨットの映像が徐々に現れます



画面の左上に縮小したヨットの映像が再生されます。境界線を「1」に、境界線の色は「白」に設定しています



「方向/スタイル」の「アウト」を、「右へ消える」に設定したので、ヨットの映像は画面の右方向に移動します



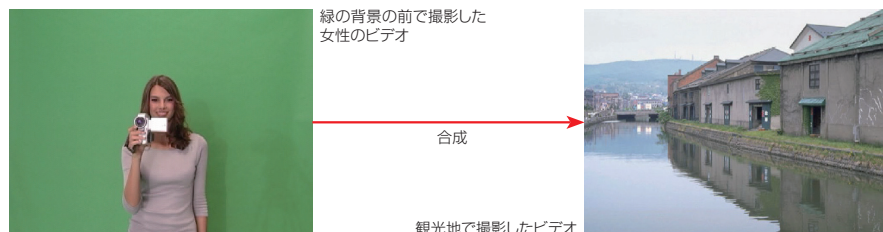
ヨットの映像が最後には右側に消え去ります



クロマキー合成

クロマキー合成とは、人やものを青か緑の背景の前で撮影し、あとから背景色を取り除いて、その部分に別の映像が流れるようにする手法です。人物などを切り抜いて別の映像に合成できます。

ここではDVカメラを構えた女性の映像を、観光で撮影したビデオに合成します。

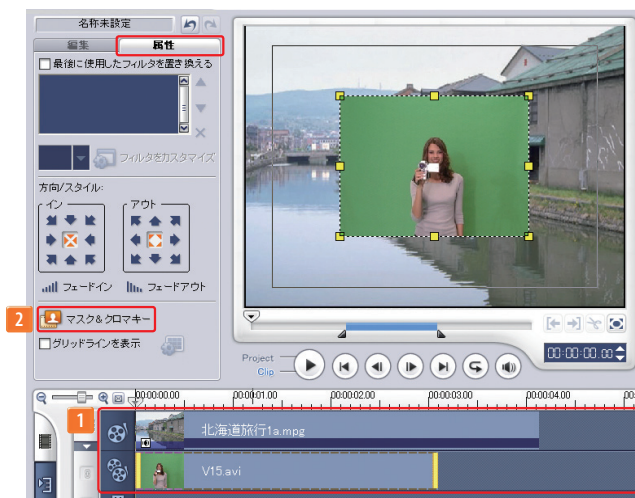


Tips

ブルーバックやグリーバックを使うのは、人間の身体、髪の毛や肌、目、唇などに緑や青色がないので、この色を抜いても合成に影響しないからです。

1 ビデオクリップをビデオトラックに配置して、合成するビデオクリップをオーバーレイトラックに配置します。プレビューウィンドウには2つのビデオクリップが重なって表示されます。

2 「属性」タブをクリックして、「マスク&クロマキー」ボタンをクリックします。



3 「オーバーレイ」オプションの「オーバーレイオプションを適用」にチェックを入れます。

4 「タイプ」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「クロマキー」を選択します。

5 「近似」の「マスクの色を選択」をクリックします。

6 マウスカーソルがスポイトになるので、プレビューウィンドウに表示されたオーバーレイトラックのビデオクリップから抜きたい色の部分をクリックします。



7 背景の色が抜けて、人物だけの映像になります。もう一度「マスクの色を選択」をクリックして解除します。

8 オーバーレイのビデオクリップは、黄色のポインタをドラッグして拡大・縮小や、緑色のポインタをドラッグして変形することができます。



Tips

クロマキー合成を家庭や職場で行うには、行楽用などのブルーのシートを壁などに貼り付けると、簡単に撮影できます。



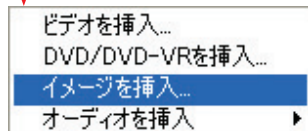
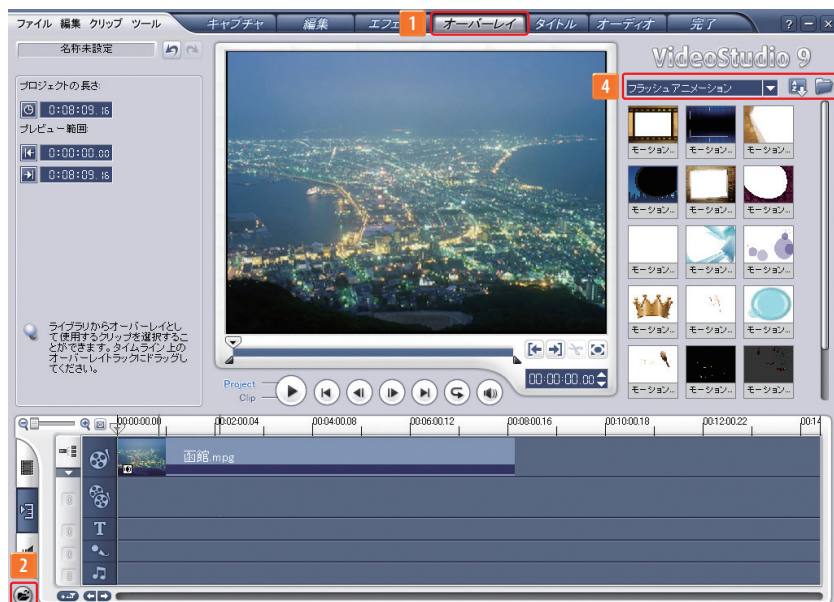
Tips

ブルー／グリーンバックよりも大きな範囲で撮影して他の色が映り込んだ場合は、「クロップ」の「幅」と「高さ」の数値を変更して映像をトリミングすると、他の色が映り込むのを防げます。このとき、人物の姿が切り取られないように、映像を一通り確認して一番大きな動きに合わせて切り抜きます。



静止画やFlashアニメーションとビデオを合成する

オーバーレイトラックに背景色を透明に設定した画像を配置すると、ビデオトラックの映像と合成できます。画像はPNG、PSD、TIF、TGA形式が使用できます。それ以外の静止画ファイルを読み込んだ場合は、単純に重ね合わせることになります。また、Ver.9からはFlashアニメーションを使用できるようになりました。



- 1 オーバーレイトラックを使用するには、「オーバーレイ」ステップをクリックします。ビデオトラックにビデオクリップを挿入します。
- 2 「メディアファイルを開く」ボタンをクリックして、「イメージを挿入」を選択します。
- 3 「イメージファイルを開く」ダイアログボックスで静止画やFlashアニメーションファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。オーバーレイトラックにファイルが取り込まれます。

- 4 または、ライブラリの「▼」をクリックして「修飾」→「フレーム」を選択します。Flashアニメーションを使用するには、「フラッシュアニメーション」を選択します。

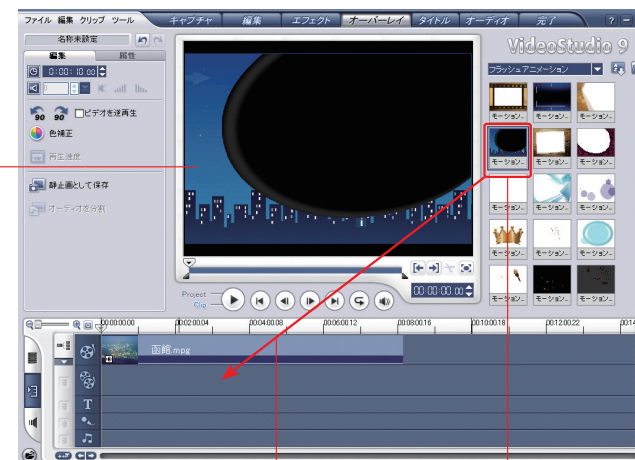


オーバーレイトラックヘドラッグ&ドロップ

- 5 フレームクリップやFlashアニメーションをオーバーレイトラックにドラッグ&ドロップします。

- 6 ここでは、ライブラリに登録してあるフラッシュのアニメーションの「モーションFO4」を使って説明します。

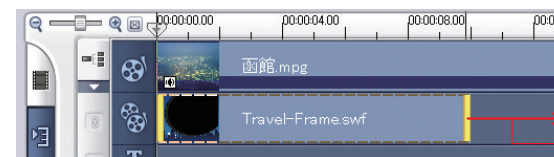
- 2 クリップがプレビューウィンドウに表示されます



- 3 ライブラリからオーバーレイトラックにドラッグ&ドロップします

- 1 ライブラリに登録されているクリップを選びます

- 7 クリップの長さを映像に合わせて調整します。イメージクリップはクリックして、ドラッグ&ドロップで伸ばしたりします。



映像に合わせてイメージクリップを調整します

- 注意** Flashアニメーションの場合は、再生時間が決まっているので、効果をかける時間を伸ばすには、同じFlashアニメーションをビデオクリップの長さ分追加します。その場合は、Flashアニメーションを右クリックして表示されるメニューから「属性をコピー」を選択します。追加したFlashアニメーションを右クリックして表示されるメニューから「属性を貼り付け」を選択します。



「編集」タブの「デュレーション」で時間を直接入力して調整することもできます。



8 「属性」タブをクリックします。ここではクリップの動きや位置、ズーム比率、透明度などの表示方法を設定します。



方向 / スタイル: クリップを映像上で移動することができます。「▼」をクリックして移動方向を設定します。

フェードイン / フェードアウト: オーバーレイ表示するビデオのフェードイン、フェードアウトの設定ができます。

「マスク&クロマキー」ボタンをクリックして、表示される「オーバーレイオプション」パネルで、その他の設定を行います。

透明度: イメージクリップの透明度を設定します。「0」はそのまま、数字を大きくすると下の映像が透けて見えます。

境界線: オーバーレイトラックのビデオクリップに枠をつけます。「0」は境界線なしで、数字を大きくすると太い境界線になります。カラーボックスをクリックして境界線の色を選択します。

9 ビデオトラックの映像とオーバーレイトラックのFlashアニメーションやイメージクリップが合成されます。



オーバーレイトラックでは、Ulead Cool3Dの「C3D」ファイルを直接読み込むことができます。またCool3Dや一般の3D作成ソフトなどで作成できる32bit無圧縮AVI(アルファチャンネル付き)では背景を透過させての合成が可能です。

VideoStudio 編

STEP6 タイトル

このステップでは映像に文字を入れてタイトルやテロップをつくります。効果的なタイトルやテロップを挿入して、よりわかりやすい映像にしましょう。



タイトルの挿入

映像にタイトルを入れるには「タイトル」ステップをクリックします。



- 1 「タイムライン」に切り替えて、タイトルを入れたい位置に「▼」を移動します。プレビューウィンドウに表示されているビデオクリップでは、ジョグスライダーを移動してタイトルを入れる位置を決めます。



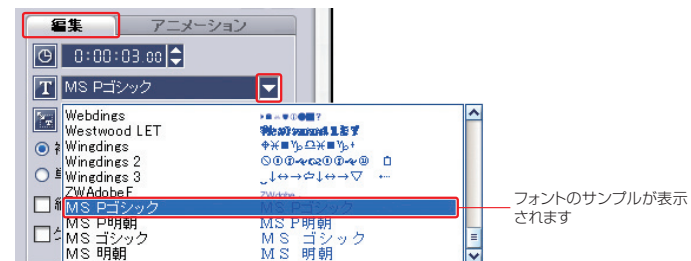
- 2 プレビューウィンドウにテキストを入力する枠「セーフティエリア」が表示され、文字を入力するカーソルが点滅します。



ヒント セーフティエリアは、「ファイル」メニュー→「環境設定」で表示される、「環境設定」ダイアログボックスの「全般」タブにある「プレビューウィンドウにタイトルセーフティエリアを表示」で、表示／非表示の設定ができます。

Tips できあがったビデオをテレビなどで表示すると、ビデオのフチがかかる場合があります。セーフティエリアはいろいろなモニターで表示してもビデオがかからない範囲です。セーフティエリア内にテキストを入力しておく、文字がかけて表示されることはありません。なるべくセーフティエリア内にテキストを入力するようにしましょう。

- 3 オプションパネルの「編集」タブをクリックします。「フォントフェイス」から入力する文字のフォントを選びます。「▼」をクリックするとフォントの一覧が表示されます。フォントには日本語フォントと英語フォントがあるので、それぞれの言語に合わせて選びます。



注意 フォント名の前に「@」がついているフォントは、90度横を向いているフォントです。Video Studioでは正常に表示されませんので、意図的に横を向いた文字にしたいとき以外は使用しないでください。

- 4 ワープロなどと同じように文字を入力します。文字は文字入力ボックスに表示されます。確定するとプレビューウィンドウに表示されます。



- 5 改行する場合はキーボードから「Enter」キーを押し、続けて文字を入力します。



- 6** 文字のサイズを変更します。入力した文字をドラッグして選択するか、テキストボックスをクリックして選択し、フォントサイズの「▼」ボタンをクリックして変更します。



Tips フォントサイズの数字をクリックして、直接数値を入力してサイズを変更することもできます。

- 7** 行と行の間隔を調整します。入力した文字を選択し、行間の「▼」ボタンをクリックして行間を設定します。「100」が標準で、数字を大きくすると行間が広がり、小さくすると行間が詰まります。



- 8** 文字の飾りを設定します。「B」は文字を太く、「I」は文字を斜体に、「U」は文字に下線を引きます。入力した文字を選択して、それぞれのボタンをクリックすると適用されます。ここでは「太字」にしてみました。



- 9** 文字の配置を設定します。「左揃え」、「中央揃え」、「右揃え」にできます。入力した文字を選択して、それぞれのボタンをクリックすると適用されます。ここでは中央揃えにしてみました。

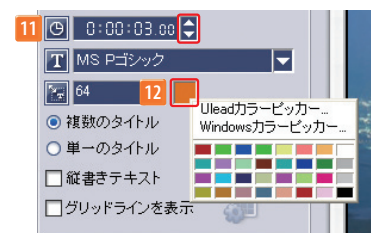


- 10** 「縦書きテキスト」をチェックすると、入力した文字が縦書きになります。

ヒント 「縦書きテキスト」にチェックを入れた場合、文字の配置は「上揃え」、「中央揃え」、「下揃え」になります。



- 11** 「デュレーション」でタイトルを表示する時間を設定します。変更したい時間の単位をクリックして直接キーボードから数字を入力するか、「▲」「▼」ボタンで変更します。



- 12** 「カラーボックス」で文字の色を変更します。入力した文字を選択して、カラーボックスをクリックするとカラーパレットが表示されます。そこから色を選びクリックします。

Tips 「Ulead カラーピッカー」や「Windows カラーピッカー」をクリックするとフルカラーから色を選択できます。

文字を飾る

入力したタイトルは、あらかじめ用意された21種類のプリセットを使って文字の縁取りやシャドウなどを簡単に付けることができます。

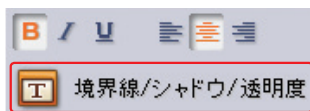
テキストをクリックして「タイトルスタイルのプリセット」の「▼」ボタンをクリックし、表示されるプリセットを選びます。



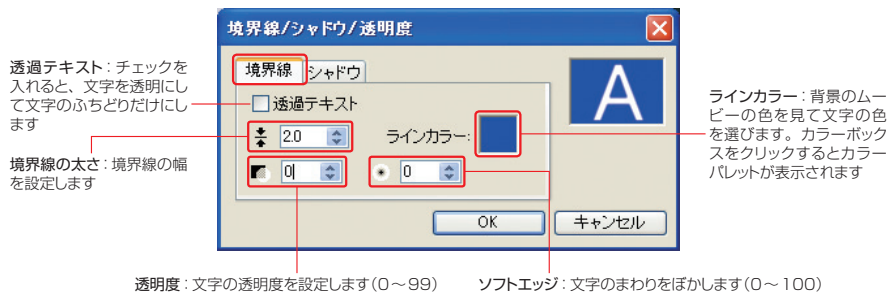
境界線とシャドウ、透明度

「境界線/シャドウ/透明度」では文字にフチや影をつけたり、文字を透明にしたりすることができます。

1 タイトルを選択して、「境界線/シャドウ/透明度」ボタンをクリックします。



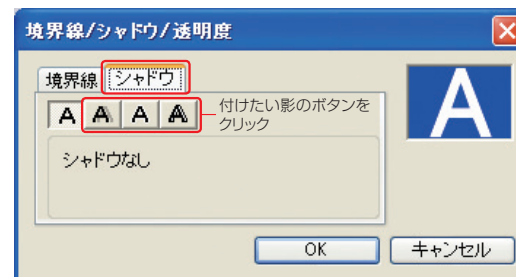
2 「境界線/シャドウ/透明度」ダイアログボックスが表示されます。文字の周りにフチを付けるには、「境界線」タブをクリックします。各項目をプレビューウィンドウで確認しながら設定します。



北海道旅行

上の設定を適用したタイトル

3 文字に影を付けるには、「シャドウ」タブをクリックします。シャドウの種類を選んで細かな設定をします。それぞれのシャドウの設定は以下の通りです。



北海道旅行

ドロップシャドウ: 影をつけます

シャドウの位置

シャドウの色



シャドウの透明度

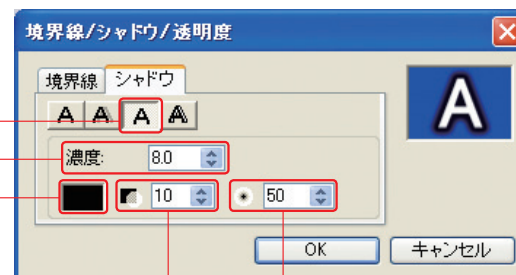
ソフトエッジ

北海道旅行

グローシャドウ: 文字の外側にフチをつけます

フチの強弱

フチの色



フチの透明度

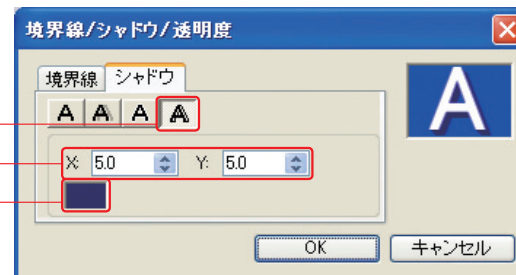
ソフトエッジ

北海道旅行

押し出しシャドウ: 立体感のある影をつけます

シャドウの縦と横の深さ

押し出しシャドウの色



タイトルのレイアウト

タイトルはテキストボックスを選択して、拡大・縮小、表示位置の変更ができます。

- 1 入力したテキストをクリックすると黄色のポインタで囲まれた選択状態になります。タイトルをドラッグしてレイアウトする位置を移動できます。黄色のポインタをドラッグして、拡大・縮小ができます。また、水色のポインタはテキストの影を移動します。



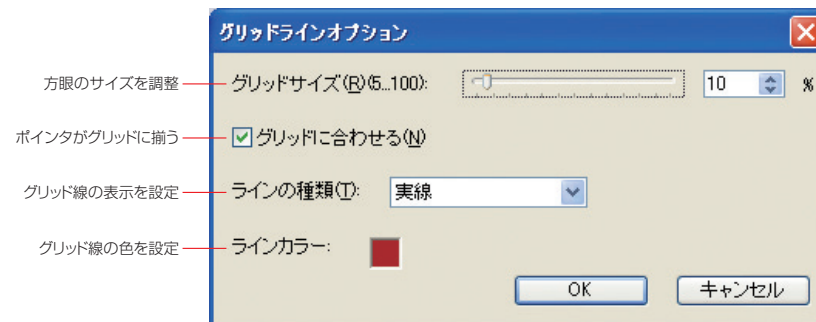
- 2 タイトルは自動で揃えることができます。「配置」からタイトルをレイアウトする場所のボタンをクリックすると、セーフエリアに沿ってレイアウトされます。



- 3 「グリッドラインを表示」にチェックを入れると、プレビューウィンドウにグリッドが表示され、タイトルのレイアウトがしやすくなります。「グリッドラインオプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、グリッドの間隔や色、線の種類を設定できます。



- 4 「グリッドラインオプション」ダイアログボックスが表示されます。「グリッドに合わせる」にチェックを入れると、黄色や緑色のポインタを移動する場合、グリッドに揃えられるので、移動や拡大・縮小がしやすくなります。



タイトルの確定と確認

テキストボックス以外をクリックするとタイトルが確定して、タイトルトラックにタイトルクリップとして表示されます。

タイトルの文字を修正するには、タイトルクリップをダブルクリックしてプレビューウィンドウにタイトルを表示します。タイトルのテキストボックスをクリックして、文字を直します。



ナビゲーションパネルの「再生」ボタンをクリックして、タイトルの表示を確認します。



タイトルの追加

同じ画面にタイトルを追加するには、オプションパネルの「複数のタイトル」にチェックを入れます。プレビューウィンドウをダブルクリックして、テキストを入力します。



タイトルの修正

タイトルを表示する時間を変更する場合は、タイトルクリップをクリックして前後にある黄色のラインをドラッグして伸ばします。



タイトルの表示時間を変更

また、タイトルを表示する位置を変更するには、タイトルクリップをドラッグします。



タイトルの表示位置を変更

タイトルのアニメーション

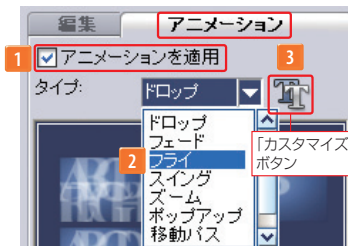
「アニメーション」は、タイトルが徐々に表示されたり飛んできたりとタイトルの現れ方に変化をつけます。

1 タイトルにアニメーション効果を追加するには、「アニメーション」タブをクリックして、「アニメーションを適用」にチェックを入れます。

2 「タイプ」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからアニメーション効果を選択します。

3 各アニメーションは「カスタマイズ」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、アニメーション効果をカスタマイズできます。

4 アニメーションのプリセットが一覧表示されるので、ここから選択すると簡単にアニメーションが設定できます。



フライ

1 フライは移動するタイトルをつくることができます。

A 開始単位: はじめにタイトルが現われるときに「文字」、「単語」、「ライン(行)」、「テキスト」の単位で移動できます。

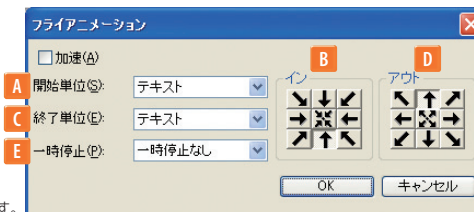
B イン: タイトルがどこから移動してくるかを設定します。

C 終了単位: タイトル表示が終わるときに「文字」、「単語」、「行」、「テキスト」の単位で移動できます。

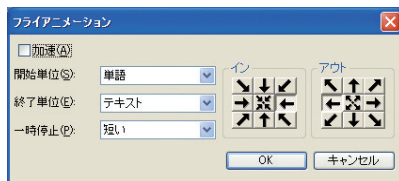
D アウト: タイトルがどこへ移動していくかを設定します。

E 一時停止: タイトルが移動してきて表示されたときにポーズをかける時間の設定ができます。

「加速」にチェックを入れると、移動するスピードが速くなります。



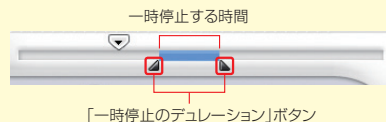
- 2 フライアニメーションを以下のよう
に設定すると、右のムービーが
できます。



- 1 「イン」を「右」に設定。画面の右側からタイトルが現われます。
- 2 「開始単位」を「単語」にしたので、「北海道旅行」が表示されてから「札幌・函館・小樽」が表示されるというように、別々に現われます。すべてのタイトルを同時に移動するには「テキスト」を選びます。一文字ずつ表示するには「文字」を選びます。
- 3 「一時停止」を「短い」に設定。本来のタイトルが表示される位置で、少し止まる設定になります。
- 4 「終了単位」を「テキスト」に設定。タイトル全体が一緒に移動します。「アウト」を「左」に設定。タイトルがムービーの左に移動して消えます。

Tips

タイトルの停止時間はカスタマイズすることができます。「一時停止」から「ユーザー定義」を選択します。プレビューの水色の部分が一時停止時間を表しています。「一時停止のデューレーション」ボタンをドラッグして停止時間や停止する位置を設定します。

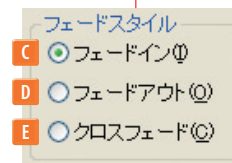
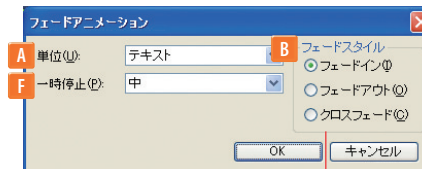


フェード

フェードはテキストを徐々に表示したり、消えていく効果が表わせます。

タイプで「フェード」を選びます。

- A **単位**：フェードするタイトルの単位を選択します。
- B **フェードスタイル**：フェードするタイトルのスタイルを設定します。「フェードイン」、「フェードアウト」、「クロスフェード」のどれかをチェックします。
- C **フェードイン**：テキストが徐々に現われます。
- D **フェードアウト**：テキストが徐々に消えていきます。
- E **クロスフェード**：テキストが徐々に現われて消えていきます。
- F **一時停止**：クロスフェードを選んだときにテキストが現われてから消えはじめるまで静止している時間を設定します。



ズーム

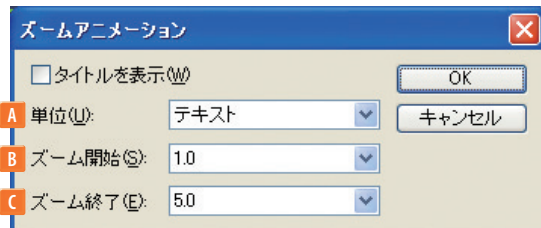
ズームは、タイトルが徐々に大きくなる効果をかけられます。

タイプで「ズーム」を選びます。

A 単位：ズームしてくるタイトルの単位を選びます。

B ズーム開始：ズームするタイトルの開始時のサイズを設定します。「0」にするとないところからタイトルが現われます。

C ズーム終了：ズームするタイトルの最終的なサイズを設定します。



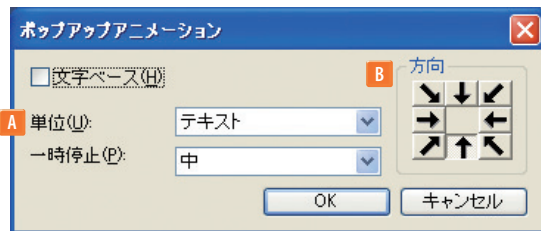
ポップアップ

ポップアップは、タイトルが飛び出してくるような効果をかけられます。

タイプで「ポップアップ」を選びます。

A 単位：ポップアップしてくるタイトルの単位を選びます。

B 方向：どの方向からタイトルが飛び出してくるかを設定します。



回転

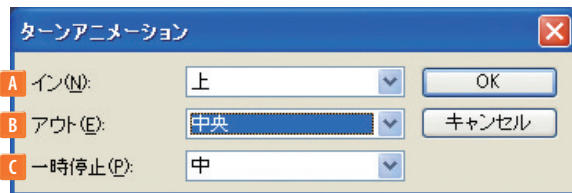
回転は、タイトルが映像上で宙返りするような効果をかけられます。

タイプで「回転」を選びます。

A イン：タイトルをどの位置から表示するかを設定します。

B アウト：タイトルの終わりをどの位置にするかを設定します。

C 一時停止：タイトルがセンターに表示されたときに、停止する時間を設定します。



サンプルタイトルの使用

「タイトル」ステップでは、ライブラリにある「タイトル」フォルダや「アニメーション」フォルダに用意されているサンプルを使用できます。また、自分で作成したタイトルをこれらのフォルダに登録しておけば、いつでも使えるようになります。

「タイトル」フォルダ

「タイトル」フォルダにはすでに用意されたタイトルのサンプルが収録されています。これらを使用すると簡単に飾りのついた文字をタイトルとしてムービーに挿入できます。

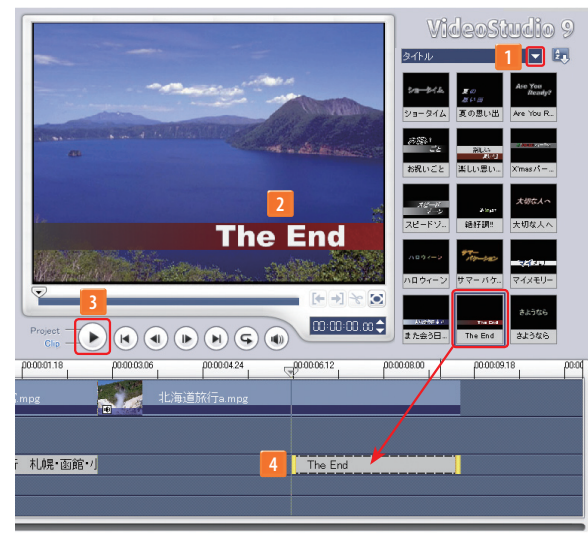
1 ライブラリの「▼」から「タイトル」をクリックします。表示されたサンプルから使用するタイトルをクリックします。

2 プレビューウィンドウにタイトルが表示されます。

3 「再生」ボタンで確認します。

4 タイトルをタイトルトラックの挿入したい場所にドラッグします。

5 タイトルが挿入されます。



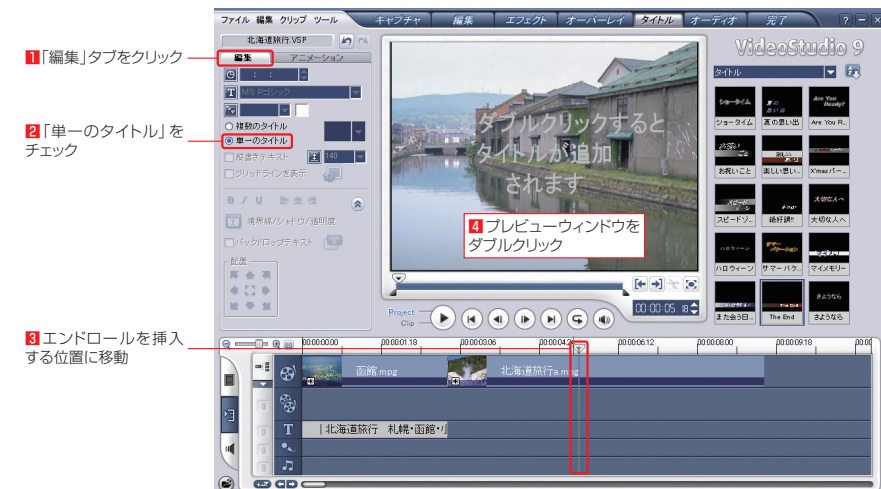
Tips 挿入したサンプルのタイトルはタイトルクリップをダブルクリックすると、文字飾りなどの設定に変更が加えられます。また、プレビューウィンドウに表示されたテキストをクリックして、テキストを修正できます。

Tips 作成したタイトルをタイムラインからライブラリにドラッグするとオリジナルタイトルとして登録されます。

ロール効果の例

タイトルを応用すると、映画やテレビなどのスタッフ名が流れるエンドロールなども作成できます。

- 1 「編集」タブをクリックして、「単一のタイトル」にチェックを入れます。タイトルを入れたい位置に「▼」を移動し、プレビューウィンドウをダブルクリックします。



- 2 テキストのフォントやサイズ、飾りなどの設定を行い、文字カーソルの位置からテキストを入力します。改行を加えて入力すると次々に入力できます。

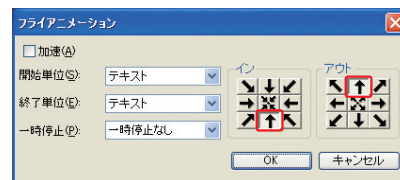


プレビューウィンドウに表示されなくなった文字を確認するには、スクロールバーを移動

- 3 「アニメーション」タブをクリックして、「アニメーションを適用」にチェックを入れます。タイプを「フライ」にして、一覧から左上のアニメーションを選択します。



- 4 「アニメーションの属性をカスタマイズ」ボタンをクリックすると、「開始単位」:「テキスト」、「イン」:「下」、「終了単位」:「テキスト」、「アウト」:「上」、「一時停止」:「一時停止しない」に設定されています。これでタイトルが画面下から現れ、上にスクロールしていきます。



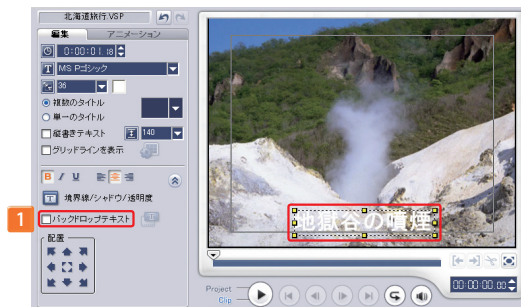
- 5 「再生」ボタンをクリックして確認します。タイトルが上に流れていくムービーができあがります。



バックドロップテキスト

タイトルに背景をつけた「バックドロップテキスト」をビデオに追加することができます。映像の再生中でもタイトルをより見やすくすることができます。背景は単色のほかにグラデーションをかけることができます。

- 1 背景をつけるタイトルを選択して、オプションパネルの「バックドロップテキスト」にチェックを入れます。

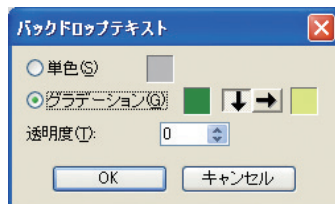


- 2 タイトルのバックに色が付きます。「バックドロップテキストの属性をカスタマイズ」ボタンをクリックします。

「バックドロップテキストの属性をカスタマイズ」ボタン



- 3 「バックドロップテキスト」ダイアログボックスが表示されます。「単色」にチェックを入れると背景が一色で塗りつぶされます。塗りつぶす色を、カラーボックスをクリックして表示されるカラーピッカーから選択します。「グラデーション」にチェックを入れると、背景にグラデーションがかかります。掛け合わせる色を2つのカラーボックスで選択し、グラデーションをかける方向の矢印ボタンを選択して「OK」ボタンをクリックします。



- 4 タイトルに背景がレイアウトされます。



VideoStudio 編

STEP7 オーディオ

このステップでは映像にナレーションやBGM、効果音などの「音」を加えます。音がつくと映像がより引き立ちます。



ボイストラックとミュージックトラック

- 1 映像に音声を取り込むには、「オーディオ」ステップをクリックします。



- 2 VideoStudio にはナレーションを配置する「ボイストラック」と音楽 CD などの曲を BGM として配置する「ミュージックトラック」があります。これらのトラックに音声を追加して編集すると映像に音がつきます。



ボイストラック

ミュージックトラック

Tips

ボイストラックにオーディオファイルを挿入することもできます。

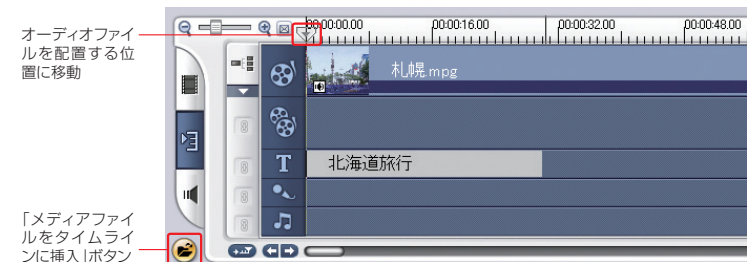
オーディオファイルを取り込む

パソコンに保存してあるオーディオファイルを「ミュージックトラック」に挿入することができます。VideoStudio では、WAV や MP3をはじめ、さまざまな Windows オーディオファイルに対応しています。

Tips

VideoStudio 9 で扱えるオーディオファイルには以下のファイルがあります。
avi、aiff、au、mov、qt、mpa、mp3、mpg、wav

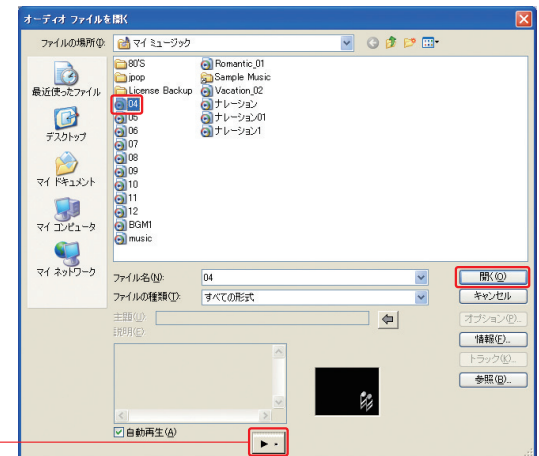
- 1 オーディオファイルを取り込むにはオーディオを配置したい位置に「▼」を移動し、「メディアファイルをタイムラインに挿入」ボタンをクリックします。



- 2 表示されるメニューから「オーディオを挿入」→「ミュージックトラックへ」をクリックします。



- 3 「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスで、目的のオーディオファイルをクリックし、「開く」ボタンをクリックします。



「再生」ボタンをクリックすると、オーディオファイルを確認できます

- 4 ミュージックトラックにオーディオファイルが挿入されます。



音楽CDから曲を取り込む

映像にお気に入りの音楽CDに収録されている曲を、BGMとして追加することができます。

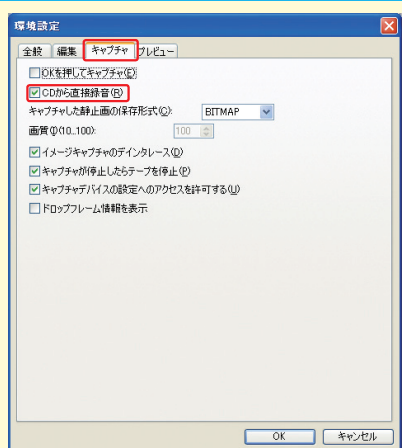
- 1 曲を取り込む位置に「▼」を移動します。



- 2 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブなどにセットします。

Tips

「ファイル」メニューの「環境設定」をクリックして、表示される「環境設定」ダイアログボックスから「キャプチャ」タブをクリックします。「CDから直接録音」にチェックを入れると、品質を保ちながら、CDプレーヤーから直接曲を自動的に録音します。



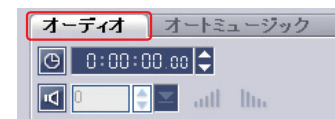
注意

音楽CDをセットするとWindows Media Playerなどが起動して、自動的に演奏が始まる場合があります。このときは、起動したプレーヤーなどを終了してください。

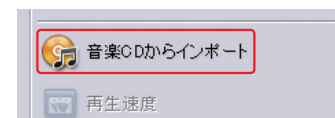
注意

音楽CDから曲を取り込む場合、個人での使用に限って行なってください。有償・無償を問わず、公開や配布などを行なう場合、必ず著作権者・著作権者の許諾を得てから行なってください。

- 3 オプションパネルの「オーディオ」タブをクリックします。



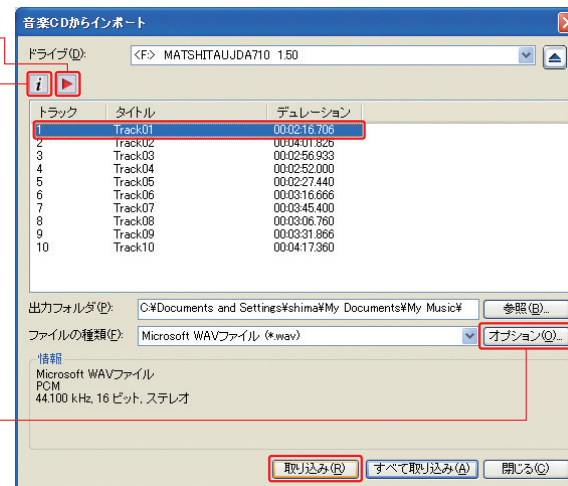
- 4 「音楽CDからインポート」ボタンをクリックします。



- 5 「音楽CDからインポート」ダイアログボックスが表示されて、音楽CDの内容が一覧表示されます。取り込みたい曲をクリックします。「取り込み」ボタンをクリックすると、曲の取り込みが開始されます。全曲取り込むには「すべて取り込み」ボタンをクリックします。

「トラックを再生」ボタンをクリックすると曲を確認できます。

「i」ボタンは、曲についての情報を表示します。



「オプション」ボタンをクリックして表示される「オーディオ保存オプション」ダイアログボックスでは、取り込むオーディオファイルの圧縮形式やクオリティを設定できます。

- 6 録音した曲はWAVファイルとなり、タイムラインのミュージックトラックに配置されます。



タイムラインに取り込まれたオーディオクリップ

ナレーションを取り込む

映像にナレーションを追加します。運動会のビデオで競技の実況解説を入れたり、撮影したビデオクリップにコメントを入れると効果的です。

1 マイクをパソコンのマイク入力端子に接続します。

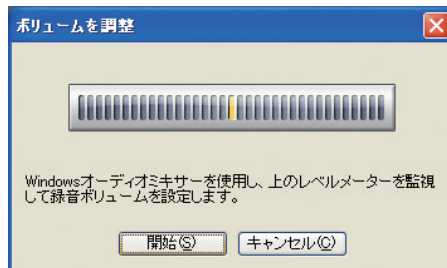
2 ナレーションを入れる場所に「▼」を移動します。



3 オプションパネルの「オーディオ」タブをクリックして、「録音」ボタンをクリックします。

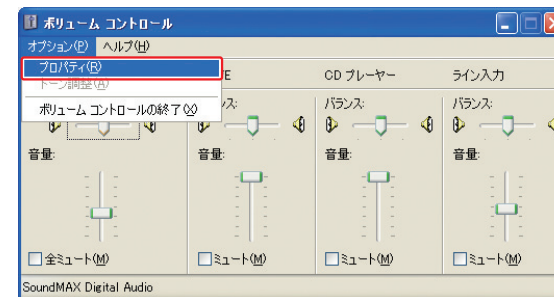


4 「ボリュームを調整」ダイアログボックスが表示されます。

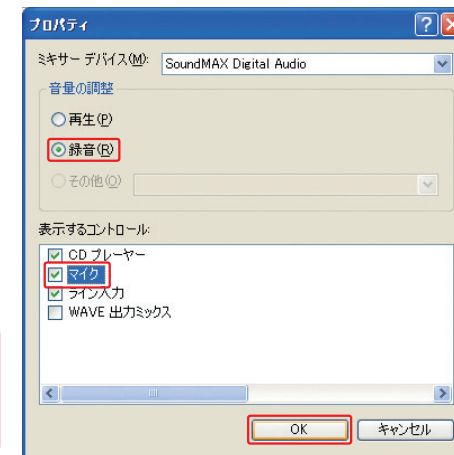


5 マイクからのボリュームを調整するには「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」を選択します。

6 「ボリュームコントロール」ダイアログボックスの「オプション」メニューから「プロパティ」を選択します。

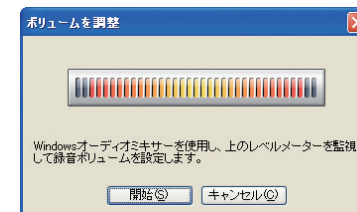
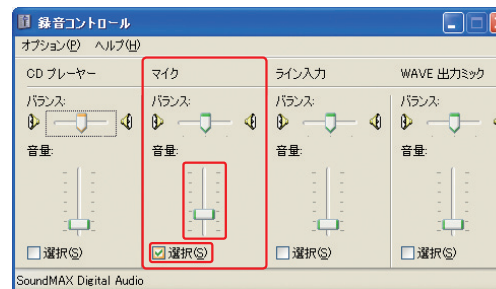


7 「音量の調整」で「録音」をチェックして、「表示するコントロール」で「マイク」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。



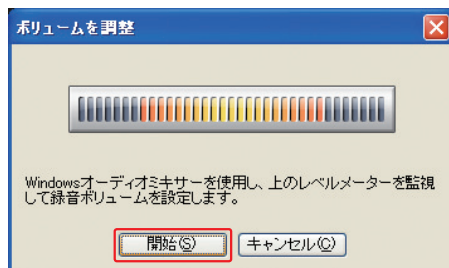
注意 「マイクボリューム」は、お使いのPCによっては「マイクボリューム」、「Microphone」などと違う表記になっている場合があります。

8 「録音コントロール」ダイアログボックスにある「マイク」の「選択」にチェックを入れます。マイクにしゃべりかけ、「ボリュームを調整」ダイアログボックスの録音レベルを確認しながら、マイクボリュームのスライダーを調整します。

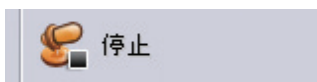


9 設定が終われば「キャプチャ」ダイアログボックスは「×」ボタンをクリックして閉じます。

10 「ボリュームを調整」ダイアログボックスの「開始」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウにはナレーションの開始位置からのビデオが再生されるので、映像に合わせてナレーションを吹き込みます。



11 ナレーションの録音を終了するには「停止」ボタンをクリックします。



12 ボイストラックにWAVファイルとしてナレーションが配置されます。ナレーションだけを聞ときは、オーディオクリップをダブルクリックして「再生」ボタンをクリックします。映像と合わせて確認するには「Project」をクリックしてから「再生」ボタンをクリックします。

ナレーションだけを確認するときは「Clip」をクリックして「再生」ボタンをクリックします。

映像と合わせてナレーションを確認する場合は、「Project」をクリックして、「再生」ボタンをクリックします。



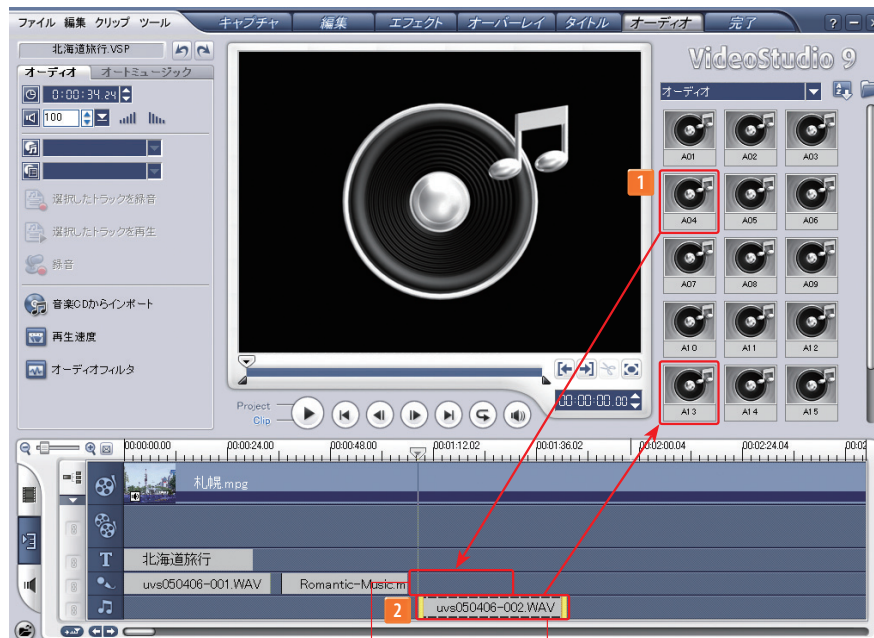
ボイストラックに取り込まれたナレーション

オーディオライブラリ

1 VideoStudioには、「オーディオ」フォルダにオーディオライブラリとしてサンプルのオーディオクリップが収録されています。これらのオーディオクリップをドラッグ&ドロップでボイストラックやミュージックトラックに挿入できます。

2 取り込んだナレーションクリップやオーディオクリップはオーディオライブラリに登録できます。登録したいオーディオクリップをオーディオライブラリにドラッグ&ドロップします。

これで取り込んだナレーションクリップやオーディオクリップをいつでも使うことができます。



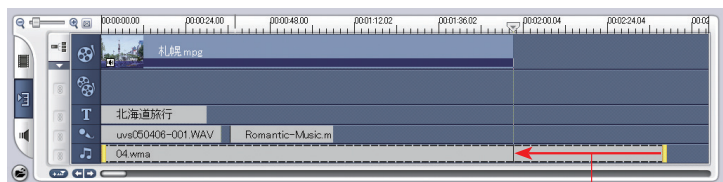
ライブラリからドラッグ&ドロップでオーディオクリップを挿入します

オーディオクリップをドラッグ&ドロップでライブラリに登録します

オーディオクリップのトリミング

取り込んだナレーションや曲のオーディオクリップのいらない部分を削除したり、クリップの再生時間を短くできます。

- 1 ビデオクリップの長さオーディオクリップを揃えるには、オーディオクリップをクリックします。オーディオクリップの終わりにマウスカーソルを移動して黄色いハンドルをクリックし、ビデオクリップの終わりまでドラッグします。



マウスでドラッグします

- 2 オーディオクリップのトリミングは、トリムバーでも調節できます。トリムバーのトリムハンドルをドラッグしてトリミングします。



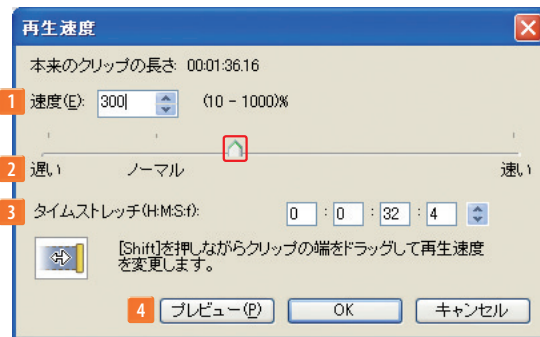
トリムハンドル

再生速度の変更

オーディオクリップは、曲のテンポを速めたり遅くしたりと、再生速度を調節することができます。テンポを変更するオーディオクリップを選択して、「再生速度」ボタンをクリックします。



- 1 「再生速度」ダイアログボックスが表示されます。「速度」は、「100」が標準のテンポで、数値を小さくするとスローに、数値を大きくするとアップテンポになります。
- 2 スライドバーで調節するには、ノーマルの位置からどちらかにドラッグします。
- 3 タイムストレッチでは、オーディオクリップの再生時間を設定することで、再生速度を調節します。
- 4 「プレビュー」ボタンをクリックすると、調節したテンポで曲が試聴できます。



- 5 オーディオクリップの再生速度はタイムライン上でも変更できます。調節するオーディオクリップを選択して、前後にある黄色のラインを「Sift」キーを押しながらドラッグします。オーディオクリップの内側に縮めるとアップテンポ、外側に伸ばすとスローテンポになります。



オーディオクリップのオプション表示

「ボイストラック」と「ミュージックトラック」に配置されたオーディオクリップを選択すると、オプションパネルに情報が表示されます。ここでオーディオトラックの調節ができます。

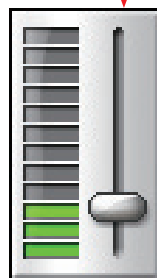
1 デュレーション

オーディオクリップの再生時間が表示されます。再生時間は「時：分：秒：コマ」で表示されます。各単位の数字をクリックして直接数値を入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして再生時間を調節します。



2 クリップのボリューム

「▲」「▼」でボリュームを調整します。「100」が録音時の音量になります。「0」が無音で最大「500」までボリュームを設定できます。右にある「ボリュームコントロール」をクリックして調節することもできます。



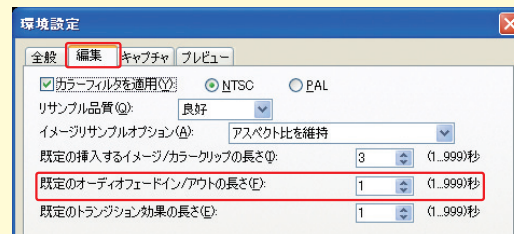
ボリュームコントロール
スライダーをドラッグして音量を調整します。一目盛が30～50%音量を上げます。

3 フェードインとフェードアウト

曲や音声我突然流れるのではなく、自然に聞こえてくるように徐々に音量が大きくなるフェードインや、徐々に音が消えていくフェードアウトの設定ができます。効果をかけたいオーディオクリップをクリックして、「フェードイン」ボタンか「フェードアウト」ボタンをクリックします。フェードインやフェードアウトを取り消すには、もう一度各ボタンをクリックします。

Tips

フェードインやフェードアウトの時間は、調節することができます。「ファイル」メニューから「環境設定」をクリックします。「環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「編集」タブをクリックします。「既定のオーディオフェードイン／アウトの長さ」で、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を変更します。数値をクリックして直接入力することもできます。



オーディオフィルタ

「オーディオフィルタ」はボイストラックとミュージックトラックのオーディオファイルにエフェクトをかけます。効果をかけるオーディオクリップを選択して、「オーディオフィルタ」ボタンをクリックします。オーディオフィルタには以下のようなエフェクトがあります。

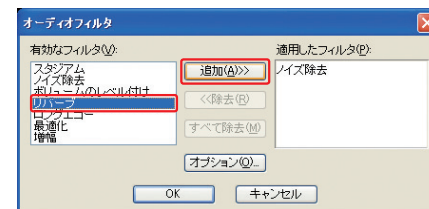
ノイズ除去：パソコンに取り込んだアナログ音源のノイズを自動的に低減します。

最適化：音量レベルを一定化します。

スタジオム：スタジオムでの壮大な残響音効果がかかります。



「オーディオフィルタ」ダイアログボックスが表示されます。「有効なフィルタ」からエフェクトを選び、「追加」ボタンをクリックします。適用したフィルタを取り止めるには、「削除」ボタンをクリックします。



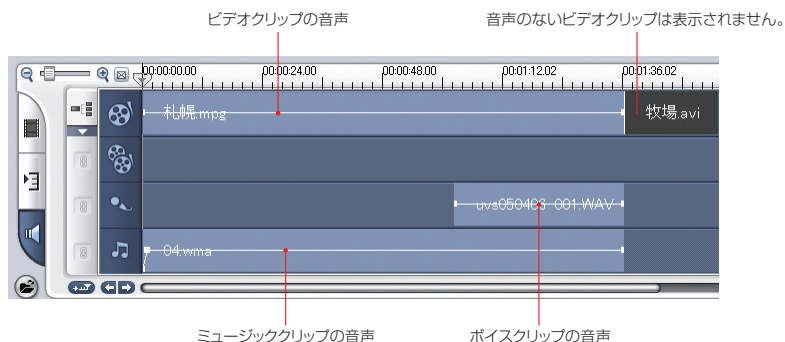
オーディオクリップの調節

オーディオクリップの調節は、「オーディオビュー」で行います。ここではビデオクリップの音声とオーディオクリップの音声をミックスしたり、曲の途中で音量の調節を行うことができます。

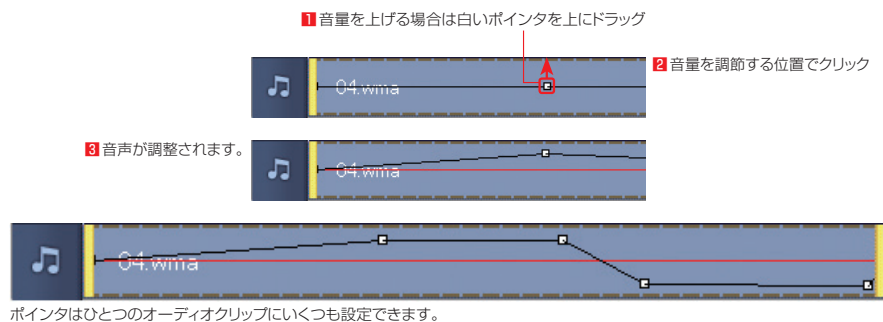
- 1 オーディオクリップの音量を調節するには、「オーディオビュー」タブをクリックします。



- 2 各トラックの音声の音量が白いラインで表示されます。

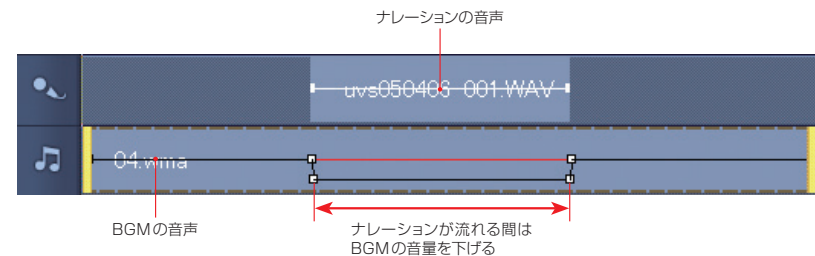


- 3 音量を調節したい位置でラインをクリックすると、白いポインタが表示されます。音量を上げるには、これを上側にドラッグします。映像のクライマックスをBGMで盛り上げたいときなどに効果的です。

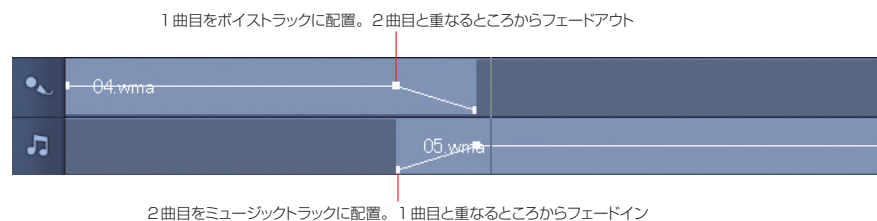


ポインタはひとつのオーディオクリップにいくつも設定できます。

- 4 BGMがかかっているところにナレーションを流すときに、BGMの音量をそこだけ小さくして、ナレーションを聴きやすくすることができます。



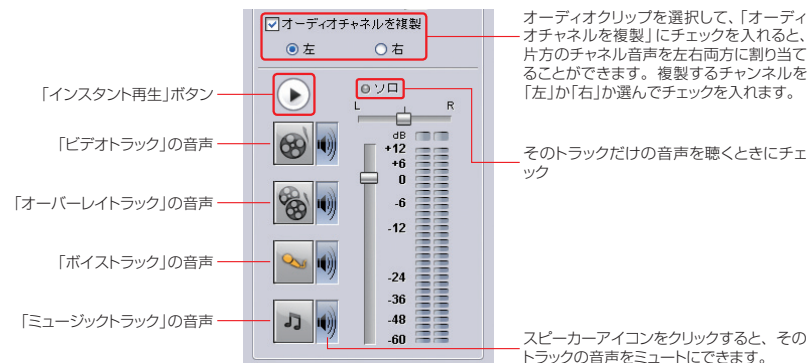
- 5 ボイストラックとミュージックトラックを使うと1曲目のボリュームが小さくなっていきながら、2曲目のボリュームが大きくなって曲が切り替わる「クロスフェード」が作成できます。



- 6 「オーディオ」のオプションパネルでは、各クリップの音声をミックスするときの調節ができます。各トラックのアイコンをクリックして、スライダーで音量を調節します。

「インスタント再生」ボタンをクリックすると、調節したミックス音声を確認できます。そのトラックだけの音声を聴くには「ソロ」にチェックを入れます。

各トラックのアイコンをクリックして（色が付いている状態）、「インスタント再生」ボタンをクリックします。オーディオの再生中にスライダーを移動してボリューム調節を行います。



オートミュージック

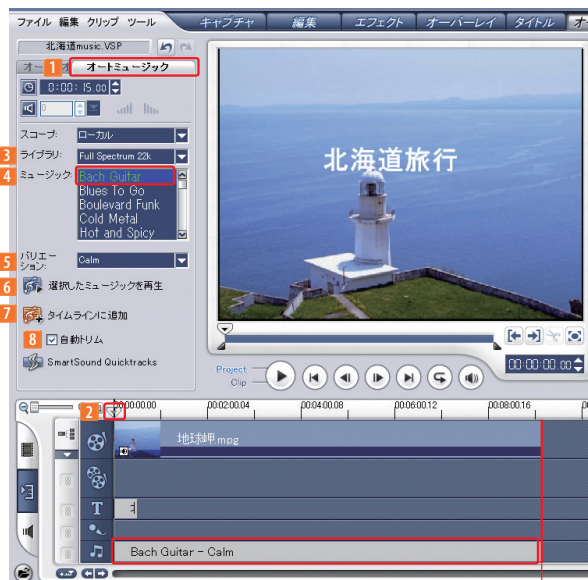
オートミュージックは、VideoStudioに用意された26種類198バリエーションのオーディオファイルをビデオクリップの再生時間に合わせて演奏時間を調節し、アレンジする機能です。オートミュージック機能を使うと、どんな長さの曲でもビデオクリップにぴったりのBGMとして挿入することができます。

1 オートミュージック機能を使用するには、「オートミュージック」タブをクリックします。

2 ビデオクリップのBGMを開始する位置に「▼」を移動します。

3 「ライブラリ」の「▼」ボタンをクリックして、ミュージックライブラリを選択します。

4 「ミュージック」から使用するオーディオファイルを選曲します。



ビデオクリップの再生時間に合わせてアレンジされたオーディオクリップが配置されます

5 「バリエーション」の「▼」ボタンをクリックして、曲の雰囲気を選択します。

6 「選択したミュージックを再生」ボタンをクリックすると、選択したオーディオファイルが再生され、確認できます。

7 「タイムラインに追加」ボタンをクリックすると、ミュージックトラックに配置されます。

8 「自動トリム」にチェックを入れると、オーディオファイルは、ビデオクリップの再生時間に合わせてアレンジされています。

※オートミュージックは「スコープ」で「すべて」を選択した場合、ハードディスクなどに保存してあるVideoStudio付属の曲以外に、インターネットで検索された曲も表示されます。これらの曲をミュージックトラックにドラッグすると「オプションパネル」に「購入」ボタンが表示されます。インターネットで検索された曲は購入することにより、使用することができます。購入は海外のサイトからクレジットカードで決済します。曲の購入は各自の責任において行ってください。

VideoStudio 編

STEP8 完了

このステップではビデオファイルを作成したり、DVDやビデオCDの作成について解説します。



「完了」ステップ

「完了」ステップはビデオ編集の最終段階です。編集したビデオをさまざまなスタイルで保存します。

- 1** 編集したビデオを仕上げるには「完了」ボタンをクリックします。



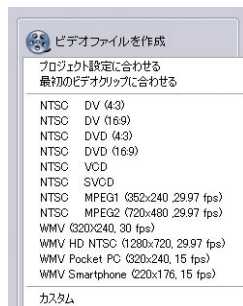
2 編集したビデオは、さまざまな形式で保存することができます。ビデオファイルとして保存するには「ビデオファイルを作成」を、DVD や CD ディスクに録画して保存するには「ディスクを作成」を、DV テープに録画するには「DV 録画」をクリックします。「エクスポート」では、作成したビデオをインターネットで配信したり、メールに添付するビデオ用に形式を変換したり、グリーティングカードを作成したりします。ビデオの保存形式を選択して、各アイコンをクリックします。



ビデオファイルの作成

「ビデオファイルを作成」では、できあがったビデオをビデオファイルにしてパソコンに保存します。

- 1** 「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックすると、保存するビデオ形式のメニューが表示されます。ビデオを保存する形式を選択します。「プロジェクトの設定に合わせる」は、現在のプロジェクト設定でビデオファイルを保存します。



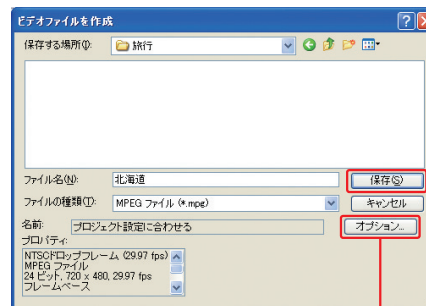
ビデオを保存するテンプレートからビデオ形式を選択することもできます。各ビデオ形式は次ページの通りです。

「カスタム」を選択すると、ビデオの保存形式をカスタマイズすることができます。

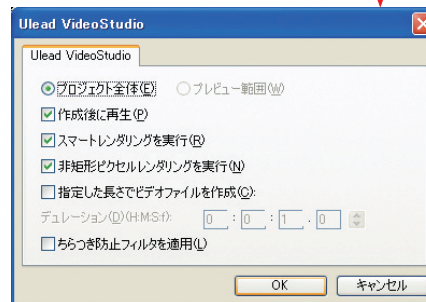
注意 現在のプロジェクト設定を調べるには、「ファイル」メニューから「プロジェクトのプロパティ」を選び、表示される「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスで確認します。

ビデオ形式	説明	画像サイズ	フレーム数	ビットレート
NTSC DV	AVI ファイルとして保存するときに選択します。	720×480	29.97fps	—
NTSC DVD	DVD ディスクに録画するときに選択します。	720×480	29.97fps	8,000kbps
NTSC VCD	ビデオ CD に録画するときに選択します。	352×240	29.97fps	1,150kbps
NTSC SVCD	SVCD ディスクに録画するときに選択します。	480×480	29.97fps	2,375kbps
NTSC Mpeg2	MPEG2 ファイルとして保存するときに選択します。	720×480	29.97fps	6,000kbps
NTSC Mpeg1	MPEG1 ファイルとして保存するときに選択します。	352×240	29.97fps	6,000kbps
WMV	インターネットで動画を配信するときに選択します。	320×240	30fps	—
WMV HD NTSC	ハイビジョンテレビ用に保存するときに選択します。	1,280×720	29.97fps	—
WMV Pocket PC	動画の見られる Pocket PC 用に保存するときに選択します。	320×240	15fps	—
WMV Smartphone	メールに添付する動画を作成するときに選択します。	220×176	15fps	—

- 2** 「ビデオファイルを作成」ダイアログが表示されます。ビデオファイルを保存する場所を指定して、ファイル名を入力します。「保存」ボタンをクリックします。179 ページの **9** に進みます。ビデオ形式をカスタマイズするには「オプション」ボタンをクリックします。



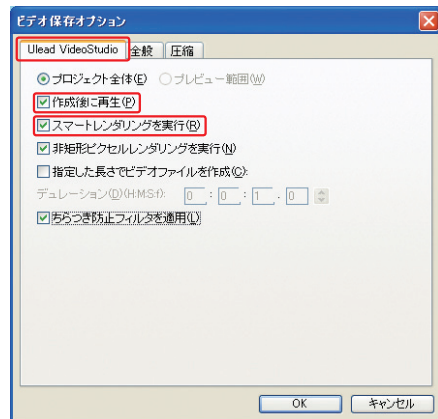
- 3** 「オプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、「スマートレンダリングを実行」にチェックを入れると、ビデオに効果をかけた部分だけがレンダリングされ、レンダリングの時間が短縮できます。



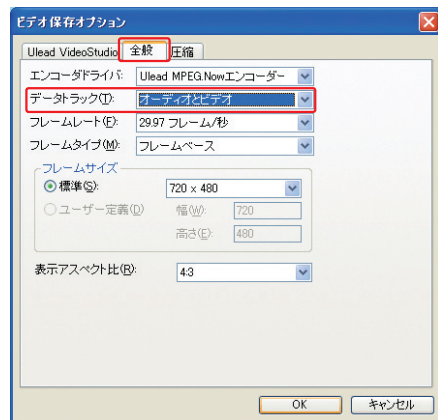
4 「ビデオファイルを作成」から「カスタム」を選ぶと「オプション」ボタン付きの「ビデオファイルを作成」ダイアログが表示されます。ビデオファイルの保存方法を設定するには、「オプション」ボタンをクリックします。



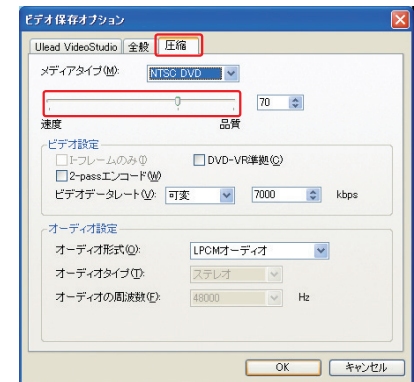
5 「ビデオ保存オプション」ダイアログボックスが表示されます。「Ulead VideoStudio」タブでは、「作成後に再生」にチェックを入れると、ビデオのレンダリング後すぐにビデオファイルが再生され、内容を確認できます。「スマートレンダリング」にチェックを入れると、ビデオに効果などをかけた部分だけがレンダリングされ、レンダリング時間が短縮できます。



6 「全般」タブでは、プロジェクトにオーディオトラックを使用している場合、「データトラック」の「オーディオとビデオ」を選択します。「フレームレート」はDVテープに書き戻したりDVDビデオを作成するのであれば「29.97フレーム/秒」を選択します。フレームレートが高いほど高画質ですが、ファイル容量が大きくなります。

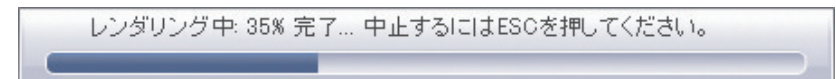


7 「圧縮」タブではビデオ圧縮の設定を行います。作成するビデオファイル形式によって設定項目は変わります。「メディアタイプ」で保存するファイル形式を選び、ビデオの画質をスライドバーで設定します。ビデオやオーディオの設定も行えます。各設定が終われば「OK」ボタンをクリックし、「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスに戻ります。



8 ビデオファイルを保存する場所を指定し、ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックします。

9 レンダリングが開始されるので、そのまま待ちます。



注意 保存するビデオファイルは、ビデオの再生時間により、レンダリングに長時間かかる場合があります。これはビデオに施されたいろいろな効果を処理したり設定されたファイル形式に変換するためです。コピーブレイクにしたり、長時間の作品であれば夜寝る前にセットするのもいいでしょう。

10 作成されたビデオファイルはライブラリに登録され、サムネイルが表示されます。

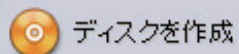


完成したファイルは、ライブラリに登録されます

ディスクの作成

「ディスクを作成」では、できあがったビデオをDVDやCDディスクに書き込んで保存します。市販のDVDビデオのようにメニュー付きのビデオを作成でき、パソコンや家庭用DVDプレーヤーで鑑賞することができます。

- 1 ビデオをディスクに書き込むには、「ディスクを作成」ボタンをクリックします。



- 2 「ディスクを作成」画面が表示されます。ここではディスクに書き込むビデオを追加したり、チャプタやメニューを作成したりします。その後、ディスクに書き込みます。この後の作業はP.194をお読みください。



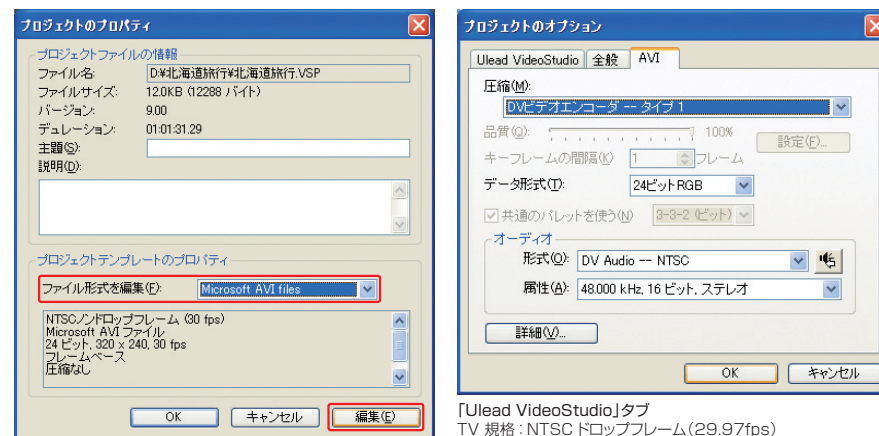
「閉じる」ボタンをクリックすると、VideoStudioの編集画面に戻ります。

- 3 ディスクに書き込んだ後、「ディスクを作成」画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、VideoStudioの画面に戻ります。

プロジェクトの再生

VideoStudioでは「プロジェクトの再生」機能を使うと、19分以上の長さのビデオ作品をDV機器に書き戻すことができます。ただし、「プロジェクトの再生」でDV機器へ出力するには、ファイル形式の制限があります。あらかじめプロジェクトテンプレートで「NTSC DV-AVI」を選択してビデオ作品をつくります。

また、DVD用のプロジェクトをDV機器に書き戻す場合は「ファイル」メニューから「プロジェクトのプロパティ」を選び、「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスの「ファイル形式を編集」で「Microsoft AVIファイル」に変更します。「編集」ボタンをクリックして表示される「プロジェクトのオプション」ダイアログボックスで以下のように設定します。

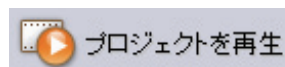


「Ulead VideoStudio」タブ
TV 規格：NTSC ドロップフレーム (29.97fps)

「全般」タブ
フレームタイプ：フィールドオーダー A
フレームサイズ：720 × 480
フレームレート：29.97fps

「AVI」タブ
圧縮：DVビデオエンコーダ-タイプ1
データ形式：24ビットRGB
オーディオ形式：DV Audio-NTSC(またはPCM)
オーディオ属性：48,000kHz、16ビット、ステレオ

- 1 DVカメラなどをパソコンに接続します。オプションパネルから「プロジェクトを再生」ボタンをクリックします。



- 2 「プロジェクト再生-オプション」ダイアログボックスで「デバイスコントロールを使う」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

- 3** 「プロジェクトを再生-デバイスコントロール」ダイアログボックスでコントロールボタンを操作して、DVテープの記録開始位置の頭出しを行います。
- 「録画」ボタンをクリックします。レンダリングがはじまり、その後録画が開始されます。
- 「完了」ボタンをクリックします。



「録画」ボタン

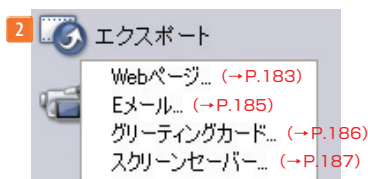
エクスポート

VideoStudio にはDVDやVCD、SVCDなどのディスクに作品を収録するばかりではなく、Webページで再生したり、メールで送ったり、動画のグリーティングカードとして利用することもできます。

- 1** ライブラリから使用するビデオファイルをクリックします。



- 2** オプションパネルの「エクスポート」ボタンをクリックします。表示されるメニューから目的の出力形式を選びます。



注意 各エクスポートを利用するには、あらかじめビデオファイルを作成してライブラリに登録しておく必要があります。エクスポート先によってはビデオのファイル形式が限定されているものもありますので、各エクスポートの作成で確認してください。

Webページでビデオを再生する

VideoStudioでは、インターネットで配信するビデオを作成したり、Webページで観賞できるようにHTMLファイルにすることが可能です。

インターネット配信用ビデオとしては、RealPlayerで見る「RealVideo」、Windows Media Playerで見る「Windows Media Video」ファイルが作成できます。

インターネット配信用ビデオを作成

- 1** インターネットで配信するビデオを編集します。できあがったら、「完了」ステップをクリックします。
- オプションパネルの「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックして、表示されるメニューから作成する表示サイズに合わせ「WMV」形式を選びます。その他のサイズや「RealVideo」形式で作成する場合は、「カスタム」を選択します。



- 2** 「ビデオファイルを保存」ダイアログで、保存場所を指定し、ファイル名を入力します。カスタマイズを選んだ場合は「ファイルの種類」の「▼」ボタンをクリックしてファイル形式を選びます。「オプション」ボタンをクリックしてファイルのサイズや画質を調整します。「保存」ボタンをクリックします。



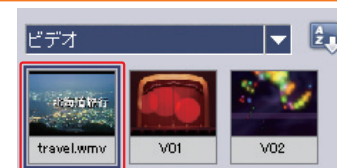
- 3** レンダリングが始まり、ビデオファイルが保存され、ライブラリの「ビデオ」フォルダに登録されます。

Tips

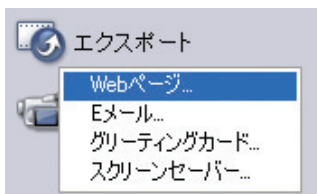
インターネットで配信するビデオは、見る人の環境を考慮して、サイズを320×240ピクセル以下、15fps程度のフレームレート、8ビット音質くらいに設定します。

Webで観賞するビデオの作成

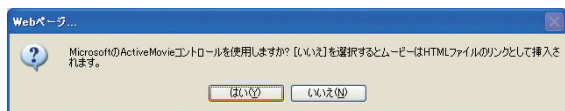
- 1** ライブラリから登録されたビデオファイルをクリックします。



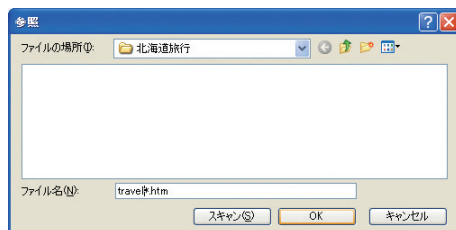
- 2 オプションパネルの「エクスポート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「Webページ」をクリックします。



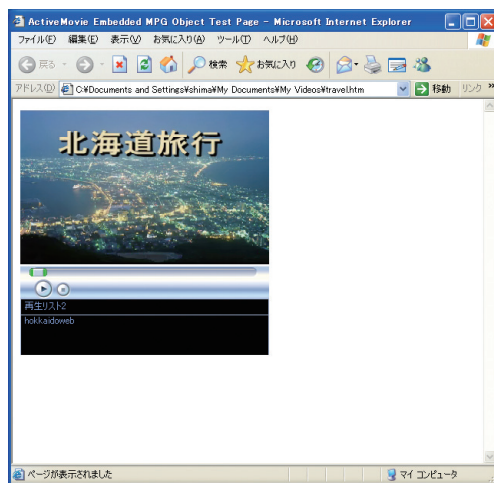
- 3 ActiveMovieコントロールを使うかの確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックするとビデオをブラウザに埋め込んで表示できます。「いいえ」をクリックするとビデオをWindows Media Playerなどの再生ソフトを起動して表示できます。



- 4 「参照」ダイアログボックスでHTMLファイル名を入力し、「OK」をクリックします。



- 5 Webブラウザが起動して、ActiveMovieを使用したビデオが表示されます。



メールでビデオを送る

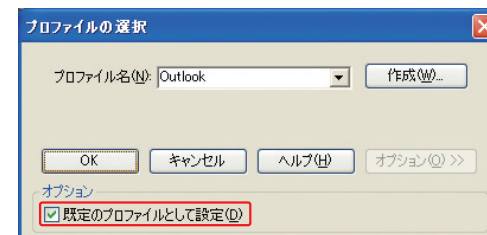
Outlook Expressなどの電子メールソフトを使ってビデオファイルを添付したメールが送れます。

- 1 メールで送りたいビデオファイルをビデオライブラリから選択してクリックします。

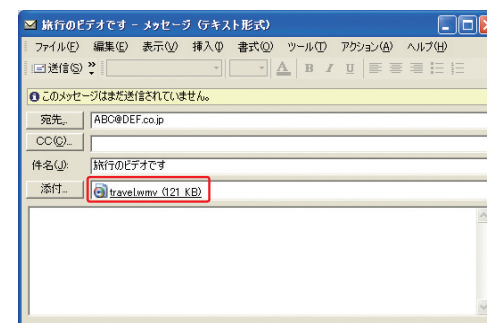
- 2 オプションパネルの「エクスポート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「Eメール」をクリックします。



- 3 「プロファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。「プロファイル名」の「▼」ボタンをクリックして、お使いのメールソフトを選択し、「OK」ボタンをクリックします。「既定のプロファイルとして設定」にチェックを入れると、次回から選択したメールソフトが起動します。
※ここではOutlook Expressを使って説明します。



- 4 お使いのメールソフトが起動して、ビデオファイルが添付された状態で「メッセージの作成」画面になります。宛先や件名、本文を書いて「送信」ボタンをクリックすると、メールでビデオファイルが送れます。



注意

メールに添付するビデオファイルの容量は、大きすぎないように注意してください。

Tips

できあがったHTMLファイルは、ホームページ作成ソフトなどでHTMLを書き換えることができます。HTMLファイルとビデオファイルをマイホームページにアップロードすると、ビデオ配信ができます。

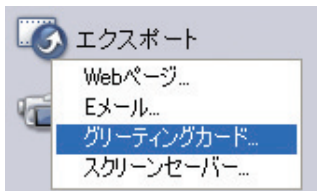
グリーティングカード

編集したビデオを使って、動きのあるグリーティングカードを作成できます。できあがったグリーティングカードは、メールソフトで送ることも可能です。

- 1 グリーティングカードで使用するビデオファイルをライブラリからクリックします。使用できるビデオ形式はAVIとMPEG1ファイルです。

注意 AVIファイルでもDVフォーマット形式のものは使用できません。

- 2 オプションパネルの「エクスポート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「グリーティングカード」を選択します。



- 3 「マルチメディアグリーティングカード」ダイアログボックスで、カードの背景を選んだりビデオの表示サイズや位置を設定します。「グリーティングカードのファイル名」の「参照」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスにファイル名を入力します。できあがったら「OK」ボタンをクリックします。



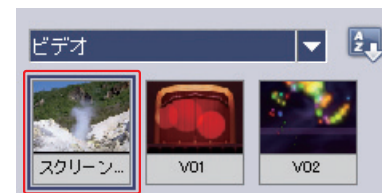
- 4 グリーティングカードのファイルが保存されます。このファイルは「.exe」形式で、ダブルクリックすると起動してモニタに表示されます。



スクリーンセーバー

ビデオファイルがパソコンを飾るオリジナルのスクリーンセーバーになります。

- 1 スクリーンセーバーにしたいプロジェクトを「ビデオファイルを作成」で、「WMV」(Windows Media Video)形式に保存します。ライブラリに保存されたビデオファイルを選択します。



- 2 「エクスポート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「スクリーンセーバー」をクリックします。



- 3 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。スクリーンセーバーは「uvScreenSaver」というファイル名になります。「待ち時間」を設定して、「OK」ボタンをクリックするとできあがりです。



注意 スクリーンセーバーはWMVファイル形式にしか対応していません。他のビデオ形式のビデオファイルをスクリーンセーバーにする場合は、一度WMV形式のファイルに変換してから作成します。

DV録画

「DV 録画」では編集したビデオ作品をDVカメラやDV録画機器へ送信してDVテープに録画します。DVカメラで撮影したビデオをVideoStudioでキャプチャし、編集してDVカメラに書き戻すことができます。



注意 DVカメラの操作に関しては、DVカメラの取り扱い説明書をよくお読みください。

DVカメラの準備

- 1 DVカメラとパソコンをDVケーブルで接続します。
- 2 DVカメラに録画するDVテープを入れます。
- 3 DVカメラのスイッチを入れて「再生」モードにします。

録画の準備

- 1 DVカメラに録画するファイルをライブラリから選んでクリックします。

- 2 DVカメラに録画できるのはDV形式で保存されたAVIファイルです。MPEGファイルは選択できません。どのファイルがDV形式かを調べるには、ライブラリのファイルを右クリックしてプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。表示される「プロパティ」ダイアログボックスでビデオの圧縮が「DVビデオエンコーダ - タイプ1」になっていれば使用できます。

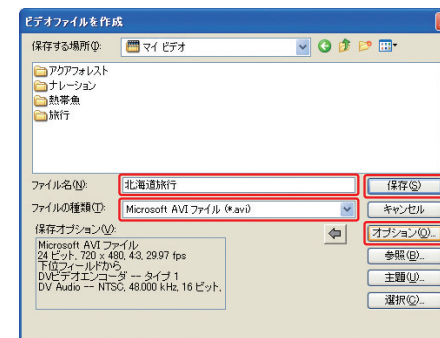


- 3 タイムラインにある編集が終わったプロジェクトを録画するには、一度ビデオファイルにします。オプションパネルから「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「カスタム」を選択します。



保存したビデオファイルはここに登録されます

- 4 「ビデオファイルを作成」ダイアログでファイル名を入力します。「ファイルの種類」は「Microsoft AVIファイル」にします。「オプション」ボタンをクリックして、表示される「ビデオ保存オプション」ダイアログで「AVI」タブの「圧縮」を「DVビデオエンコーダ - タイプ1」に設定します。「保存」ボタンをクリックするとレイダリングが開始され、ファイルが保存されます。



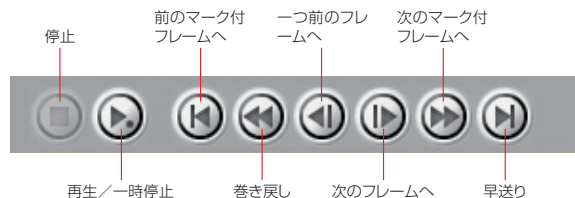
- 5 ビデオファイルは、「ビデオ」ライブラリに登録されます。登録したビデオファイルをクリックして選択します。

録画開始

- 1 オプションパネルの「DV 録画」ボタンをクリックします。



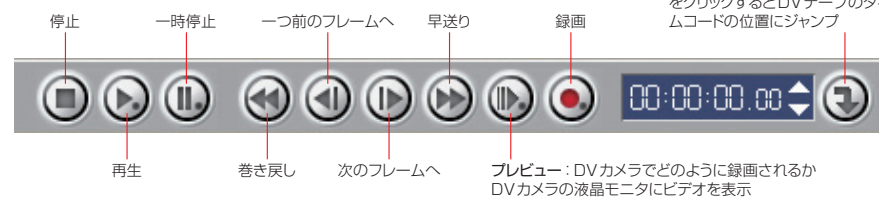
- 2 「DV 録画 - プレビューウィンドウ」が表示されます。プレビューボタンを使って再生したり、録画するビデオファイルの内容をプレビューウィンドウで確認します。よければ「次へ」ボタンをクリックします。



- 3 「DV 録画 - 録画ウィンドウ」では、DV カメラを操作できます。DV テープのどの位置に録画するか、プレビューボタンを使って再生しながら決定します。
- 4 録画を始める位置で DV カメラの「停止」ボタンをクリックします。「録画」ボタンをクリックすると DV テープに録画が開始されます。
- 5 「停止」ボタンをクリックすると DV テープへの録画がストップします。「完了」ボタンをクリックします。



DVカメラの制御



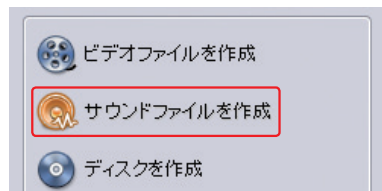
タイムコード：DV テープのジャンプしたい位置のタイムコードを、数字を入力したり「▲」「▼」ボタンをクリックして設定し、このボタンをクリックすると DV テープのタイムコードの位置にジャンプ

注意 「一つ前のフレーム」および「次のフレーム」ボタンは、ビデオを一時停止ボタンでポーズの状態になっているときに有効になります。

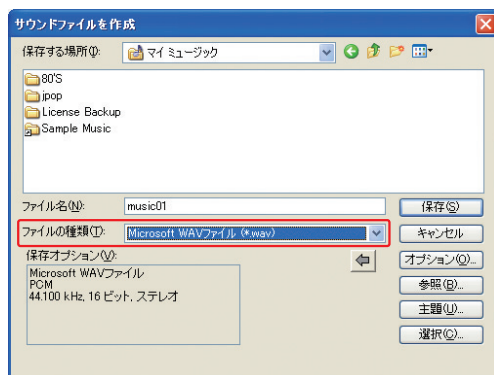
サウンドファイルの作成

ビデオクリップから分離したオーディオクリップやオートミュージックでアレンジした曲をオーディオファイルとして保存できます。

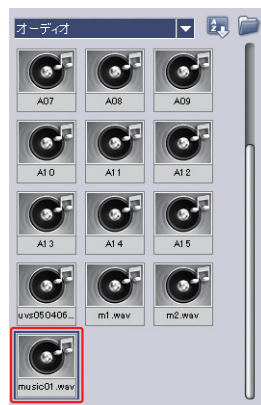
- 1 保存したいオーディオクリップをタイムラインに配置して、オプションパネルの「サウンドファイルを作成」をクリックします。



- 2 「サウンドファイルを作成」ダイアログボックスが表示されます。保存する場所を指定して、ファイル名を入力します。「ファイルの種類」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからオーディオのファイル形式を選択します。



- 3 「保存」ボタンをクリックすると、オーディオファイルとして保存されます。また、「ライブラリ」の「オーディオ」フォルダにも登録されます。



DVD作成編

DVDディスクを 作成しよう

「おまかせモード」や「VideoStudio 9」モードで作成したビデオを集めて、1枚のDVDに書き込むことができます。ここでは作成するDVDにメニューやチャプタの設定について解説します。



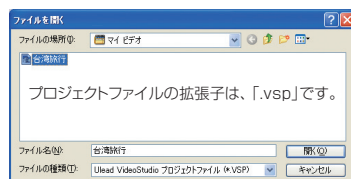
ディスクを作成

「ディスクを作成」では、プロジェクトをDVDに書き込む操作を行います。作成したプロジェクトにビデオを追加したり、すでに作成してある他のプロジェクト内容を追加したり、DVDディスクから映像を追加したりして、ディスクに書き込む素材を用意します。市販のDVDのようにオープニングに表示されるメニューの作成やビデオを飛ばして見たときのチャプタが作成でき、オリジナルのDVDをつくることができます。

1 「出力ディスク形式」から作成するディスクを選択します。

2 新たにディスクに録画するビデオファイルを追加します。「ビデオを追加」ボタンをクリックすると、「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。追加するビデオファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

3 「VideoStudioプロジェクトを追加」ボタンをクリックすると、VideoStudioで編集したプロジェクトファイルを読み込みます。すでに作成してあるプロジェクトを読み込むと、編集した内容がリストに表示されます。



4 すでに作成したDVDからビデオを追加するには、「DVD/DVD-VRをインポート」ボタンをクリックします。取り込み方法については88ページをお読みください。

5 DVDレコーダーではビデオを飛ばしてみたい位置にチャプタを設定して、リモコンなどを使って次のシーンにジャンプすることができます。VideoStudioには、このチャプタ設定機能が備えられています。チャプタを設定するには「チャプタを追加／編集」ボタンをクリックします(→P.196へ)。

6 市販のDVDを見るとはじめに本編やメイキングなどを選ぶメニューが表示されます。VideoStudioでは、このメニューを作成することができます。作成するDVDにメニューを付けるには、「メニューを作成」ボタンをクリックします(→P.198へ)。

7 DVDディスクをドライブにセットすると、自動でオープニングムービーが流れるようになります。オープニングムービーにしたいビデオクリップをメディアクリップリストの先頭に配置し、「イントロビデオを再生してからメニューを表示する」にチェックを入れます。



注意 オープニングムービーは、ディスクを入れたときだけに再生され、本編ではメニューに表示されません。オープニングムービーに設定したビデオを本編でも見たい場合は、オープニングムービーを複製します。複製するには、オープニングムービーを右クリックして、表示されるメニューから「コピー」をクリックします。メディアリスト上で右クリックして、表示されるメニューから「ペースト」をクリックします。メディアリストに複製されたビデオクリップが配置します。

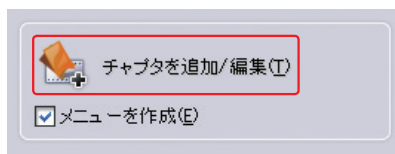
8 DVDに書き込むビデオが揃ったら、「次へ」ボタンをクリックします。

ヒント 「おまかせモード」で「ディスクを作成」ボタンをクリックした場合も、この画面が表示されます。おまかせモードでオープニングやエンディングムービーを付けたビデオをいくつか集めて、ひとつのDVDを作成することもできます。

チャプタを追加／編集

ビデオクリップにチャプタを追加して、ビデオを飛ばして見るときのジャンプ先のシーンを設定します。ひとつのビデオクリップにいくつものジャンプ先を指定できます(99シーンまで)。

- 1 ビデオクリップにジャンプするチャプタを追加するには、チャプタを設定するビデオクリップを選択して、「チャプタを追加／編集」ボタンをクリックします。



- 2 「チャプタを追加／編集」ウィンドウが表示されます。ジョグスライダーやナビゲーションパネルの操作ボタンを使って、ジャンプ先の映像を選びます。



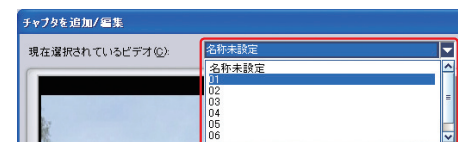
ヒント チャプタは、GOP単位で設定できます。ジョグバーや「次のフレーム」、「前のフレーム」でジャンプ先のシーンを選ぶことができます。ジャンプ先のシーンはその前後にある1フレーム(シーンフレーム)になります。

- 3 ジャンプ先のシーンを選んだら「追加」ボタンをクリックします。チャプタリストに追加されます。

チャプタを取り消す場合は、チャプタリストから削除したいチャプタを選択し、「削除」ボタンをクリックします。すべてを取り消す場合は「すべてを除去」ボタンをクリックします。



- 4 他のビデオクリップにチャプタを設定するには、「現在選択されているビデオ」でチャプタを設定したいビデオを選び、チャプタを設定します。

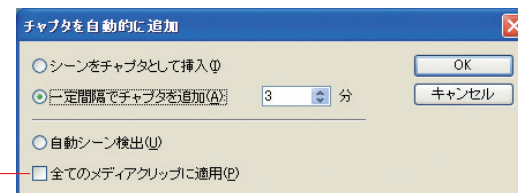


- 5 チャプタは自動で設定することができます。「自動」ボタンをクリックすると「チャプタを自動的に追加」ダイアログボックスが表示されます。

「シーンをチャプタとして挿入」にチェックを入れると、ビデオ映像のシーンを自動で判断してそこにチャプタを設定します。「一定間隔でチャプタを追加」にチェックを入れ、チャプタの間隔を設定すると一定時間ごとにチャプタを設定します。たとえば10分ごとに設定すると、10分後の映像にジャンプする設定ができます。

「シーンをチャプタとして挿入」は、VideoStudioやMediaStudio ProなどのUlead製ビデオ編集ソフトで作成したMPEGファイルを読み込んだとき、ファイルと同じ場所に「.upd」という拡張子のファイルがある場合に選択することができます。このファイルは、編集時にカットした場所などを記録してあるファイルで、その部分をチャプタとして利用することができます。

DVDに録画するすべてのビデオを同じ設定にする場合は、「全てのメディアクリップに適用」にチェックを入れます。



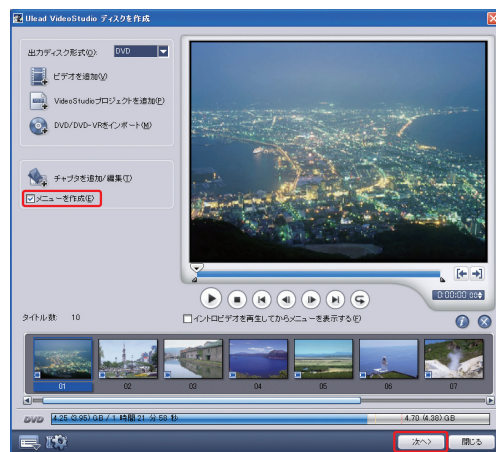
Tips 「.upd」という拡張子のファイルが同じ場所にあるMPEGファイルは、DVD Movie WriterシリーズやDVD WorkshopシリーズといったUlead製DVDオーサリングソフトでも同様にチャプタとしてインポートすることが可能になっています。

チャプタを設定したら「OK」ボタンをクリックして、元のウィンドウに戻ります。

メニューの作成

ディスクに収録するビデオができあがると、今度はディスクを再生した時に表示されるメニューを作成します。メニュー用のテンプレートが豊富に用意されていて見栄えのいいメニューを簡単に作成することができます。また、表示するフォントやボタンをカスタマイズでき、こったオリジナルメニューに仕上げられます。

- 1 メインメニューを作成するには「メニューを作成」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。



ヒント メニュー画面は、「16:9」のワイド画面に対応しています。

- 2 「メニュー作成」画面が表示されます。画面中央にメインメニューのプレビューが表示されます。



- 3 メニューテンプレートのプルダウンメニューからジャンルを選びます。「ホームムービー」や「自然」、「スポーツ」など、いろいろなジャンルのテンプレートが用意されています。

- 4 選択したジャンルのテンプレートがテンプレートリストに表示されます。メインメニューで使用するテンプレートを選んでダブルクリックすると、プレビューウィンドウに表示されます。



- Tips** テンプレートによってメニュー画面に表示されるビデオの数が異なります。また、メインメニューが数ページになる場合は、プレビューウィンドウの下に矢印ボタンが表示されます。このボタンをクリックして、次ページのメニューを確認することができます。



実際のメニューには、メインメニューの総数と現在のページが表示されます

次のメニューに進む

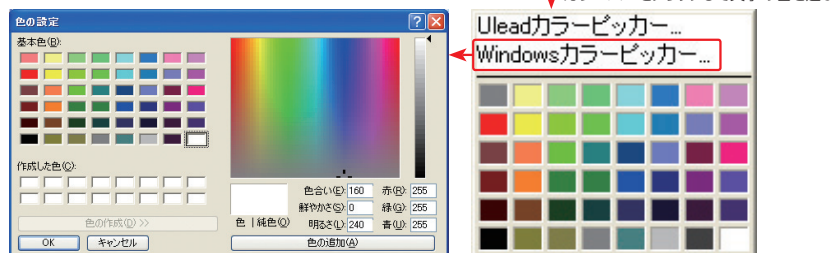
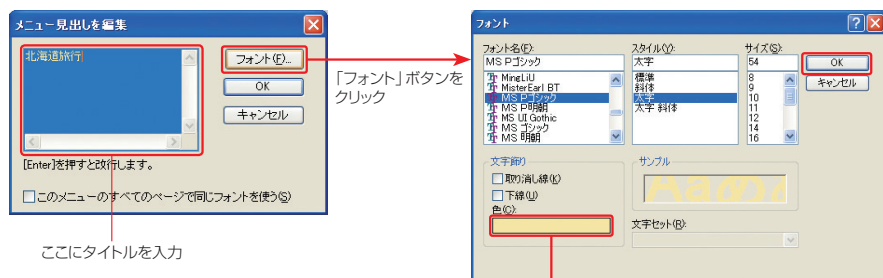
前のメニューに戻る

- 5 作品にタイトルをつけます。プレビューウィンドウの「マイタイトル」と書かれている部分をクリックします。

「マイタイトル」という文字をクリック



- 6 「メニュー見出しを編集」ダイアログボックスが表示されます。テキストボックスにタイトルを入力します。入力するフォントの種類やスタイル、サイズ、色を変えることができます。「フォント」ボタンをクリックすると「フォント」ダイアログボックスが表示されるので、好みのフォントに調整して「OK」ボタンをクリックします。



Tips パレットでは48色から選びますが、「Uleadカラーピッカー」や「Windowsカラーピッカー」をクリックするとフルカラーから色を選べます。

- 7 「マイタイトル」にタイトルが表示されます。

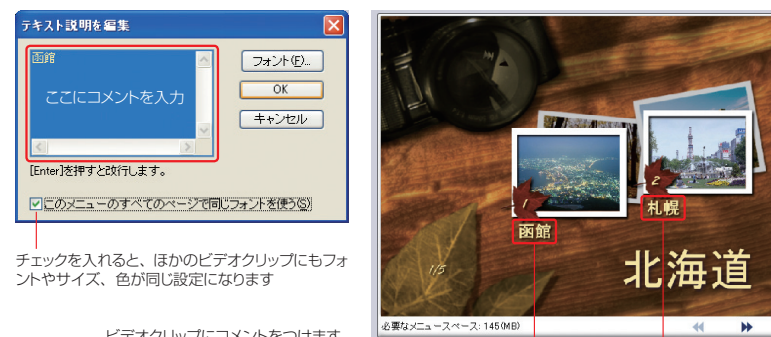
各ビデオクリップには内容の説明をつけることができます。デフォルトではファイル名が表示されます。変更するには、各ビデオクリップに表示されているファイル名をダブルクリックします。



ビデオの説明を入力するには、ファイル名をクリック

タイトルが入力されます

- 8 「テキスト説明を編集」ダイアログボックスが表示されるので、そこにコメントを入力します。「フォント」ボタンをクリックして入力するフォントの種類やスタイル、サイズ、色を設定し、「OK」ボタンをクリックします。同じように他のビデオクリップにコメントを入力します。



ビデオクリップにコメントをつけます

Tips タイトルやコメントを入力しない場合は、ビデオファイル名やプロジェクト名になります。

- 9 ビデオクリップのサムネイルは、先頭のフレームの映像が表示されています。DVDタイトルなどで表示するときビデオクリップの内容がよくわかる別のフレームの映像に変更して表示することができます。サムネイルの映像を変えるには、ビデオクリップをクリックします。



注意 「モーションメニュー」(→P.205)にチェックを入れている場合は、サムネイルの変更は無効になります。

- 10** 「詳細設定」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「チャプタメニューを作成」をクリックすると、チャプタを設定したビデオクリップにメニューが表示されます。「現在表示されているメニュー」からファイル名を選ぶとそのビデオクリップのメニューになります。ここでもテンプレートを選んだりタイトルやビデオのコメントが入力できます。



- 11** DVDビデオの作成の場合、「詳細設定」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「サムネイル番号を表示」をクリックすると、各ビデオクリップに番号が振られます。完成したディスクをDVDプレーヤーなどで再生する場合、リモコンなどからこの番号を入力すると、直接そのビデオが再生されます。リモコンの矢印ボタンを操作してビデオを選ぶよりも便利です。



ビデオCDの作成時には選択できません。各ビデオには常に番号が表示されています。

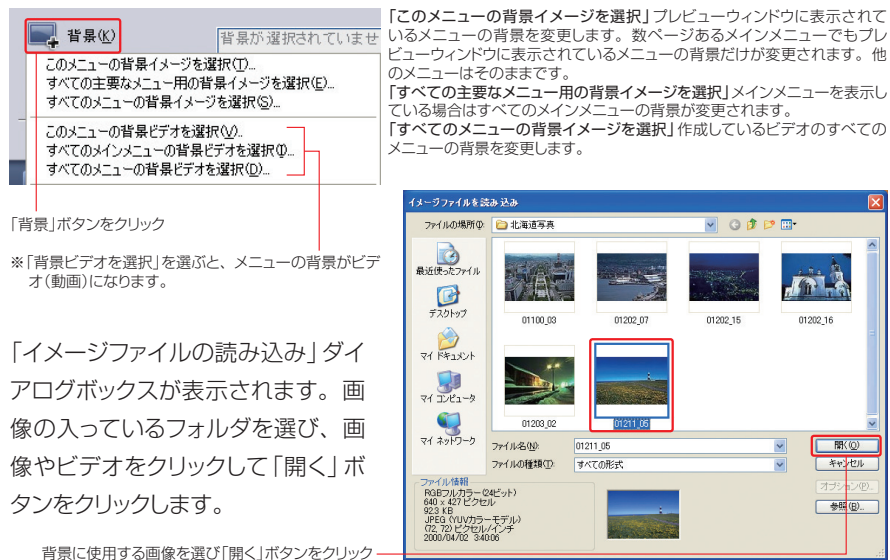
- 12** テンプレートを利用したメニューをカスタマイズすることができます。メニューテンプレートの下にある「カスタマイズ」ボタンをクリックします。「メニューをカスタマイズ」ウィンドウが表示されます。ここでレイアウトやナビゲーションボタン、サムネイルのフレームを変更することができます。



- 13** カスタマイズしたメニューは登録して、次回から簡単に適用することができます。「メニューテンプレートに追加」ボタンをクリックします。カスタマイズされたメニューはメニューテンプレートの「お気に入り」に登録されます。



- 14** メニューにはオリジナルの背景をつけることができます。デジタルカメラで撮った写真やお気に入りの画像をメニュー画面にします。
- 「背景イメージ」ボタンをクリックして表示されるメニューから、どの背景に画像やビデオを適用するかを選びます。

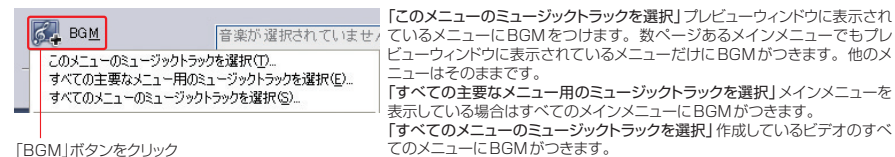


Tips 使用できるファイル形式はBMP、JP2、JPC、JPG、TIF、PNG、TGAです。

オリジナルの背景がメニューに適用されます。適用した背景を取り止めるには、「背景」ボタンをクリックして、取り消すメニューにあった項目をクリックします。

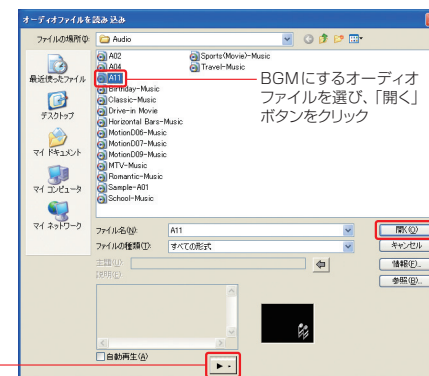


- 15** VideoStudioではメニューを表示しているときにオリジナルのBGMを流すことができます。「BGM」ボタンをクリックして表示されるメニューからどのメニューにBGMをつけるかを選びます。



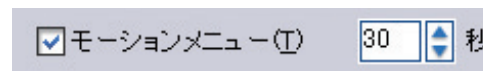
「オーディオファイルの読み込み」ダイアログボックスが表示されます。オーディオファイルの入っているフォルダを選び、オーディオファイルをクリックして「開く」ボタンをクリックします。これでメニューが表示されている間、選択したBGMが流れます。

オーディオファイルを視聴するときにクリック

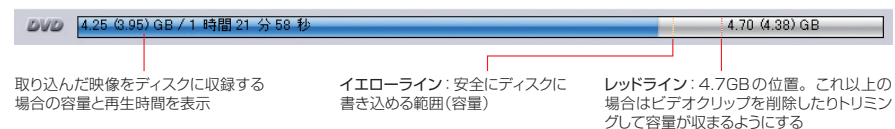


Tips BGMに使用できるファイル形式はmpa、mp3、wavです。

- 16** 「モーションメニュー」にチェックを入れると、メニュー画面に表示される各ビデオクリップが自動で再生されます。これによりビデオの内容がすぐにわかります。秒数を設定すると、その秒数分だけビデオが繰り返し再生されます。



- 17** 画面下の部分に現在の設定でどのぐらいの容量になるかの目安が表示されます。これを参考にしてファイル数やビットレート、音声形式を調整します。



- 18** メニューの作成ができあがったら、「次へ」ボタンをクリックして、ディスクの書き込みステップに進みます。56ページからの解説をお読みください。

supplement

付 録

ここでは製品についてのサポートと製品情報に関するQ&A、
用語をまとめてあります。



FAQ

Q 製品に関する情報やアップグレードなどについて知りたいのですが？

A ユーリードシステムズのホームページに「製品情報」や「製品FAQ(よくある質問)」を掲載しています。また、「サポート」コーナーでは製品の「技術サポート」、「カスタマーサポート」などをご用意し、お客様の色々なご要望にお応えしています。

製品サポートサイト <http://www.ulead.co.jp/support/>

Q CD-ROMを紛失／損失したのですが、取り替えてくれますか？

A 損傷の場合は、交換となります。サポートセンターにあらかじめご連絡いただき、破損したCD-ROMをご送付下さい。

また、送付とは別に郵便振込みにて、交換代金をお支払い下さい。紛失の場合も再発行が可能です。お申し込みは郵便振込みとなりますが、損傷の場合とは価格が異なりますのでご注意ください。

損傷：2,000円(手数料・送料込み・税込み)

紛失：3,000円(手数料・送料込み・税込み)

<振込先> 口座番号：00150-8-52473
加入者名：ユーリードシステムズ株式会社
通信欄：「VideoStudio 9 CD-ROM交換(再発行)希望」
払込人住所・氏名・電話番号・シリアルナンバー

Q ユーザーズガイドが付いていなかったで購入できますか？

A 他社製品に付属の弊社製品では、ほとんどの場合製品版に付属している「ユーザーズガイド」のデータファイル(PDF)がインストールCD-ROM内に収録されておりますので、できる限りこちらをご利用下さい(製品により収録されていない場合もございます。ご了承下さい)。

どうしても冊子での提供をご希望の場合は、在庫のあるものに関してのみ、有償にてお分けしております。

マニュアル：2,000円(手数料・送料込み・税込み)

<振込先> 口座番号：00150-8-52473
加入者名：ユーリードシステムズ株式会社
通信欄：「VideoStudio 9のユーザーズガイド希望」
払込人住所・氏名・電話番号・シリアルナンバー

通信欄と払込人住所・氏名・電話番号は楷書でわかりやすくご記入して下さい。

振込み手数料はお客様負担となります。ご了承下さい。

ユーザーズガイドのお届けは、入金確認の後1～2週間後になります。

<注意> CD-ROM内に収録されている「ユーザーズガイド」のデータファイル(PDF)とまったく同じ内容の冊子になります。また、ユーザーズガイドは製品版に準拠した内容となりますので、バンドル製品とは一部異なる部分がございますことをご了承下さい。なお、マニュアルの提供は、ユーザー登録されている事が前提となります。ご登録がまだの方は、必ずユーザー登録を行って下さい。

なお、VideoStudio 9はオフィシャルガイドブックも発売する予定ですので、詳しくはユーリードのホームページをご覧ください。

Q シリアルナンバーを紛失してしまったので、再発行してもらえますか？

A 再発行の場合には、手数料、消費税込みの5,000円がかかります。郵便振込みにてお申し込み下さい。

<振込先> 口座番号：00150-8-52473
金額：5,000円
加入者名：ユーリードシステムズ株式会社
通信欄：「VideoStudio 9 シリアルナンバー再発行希望」
払込人住所・氏名・電話番号

なお、振込み手数料はお客様のご負担になります。ご了承下さい。

Q 製品のシリアル番号はどこに記載されていますか？

A ご利用の製品によっても異なりますが、下記のような場所をご確認下さい。

- 登録用紙に付属するシール
- ユーザー登録はがき
- CD-ROMの封入されていたケース
- 製品ヘルプの「バージョン情報」、もしくは「製品番号」

Q 製品版と、SE版では何が違うのですか？

A 基本的に「SE」とについているものは、バンドル(何らかの製品の付属としてついてるもの)用の製品になり、製品版に比べて機能制限や仕様変更が行われています。

SE版は添付している商品により制限内容が異なりますが、概ね下記のような点が製品版と異なります。

- GIF形式をサポートしていない
- CONTENT CDが入っていない(サンプルの動画やサウンド集)
- 冊子のマニュアルが付属しない(PDFファイルのみ)
- もしくは簡易のものが付属している
- デフォルトで用意されている素材や効果などが製品版より制限されて、少なくなっている(各1～4個程度)
- 製品によっては、DVD-VR非対応
- 製品によっては、VCD/DVDのライティング機能がない(DVDウィザードがついていない)

その他に、添付されているハードウェアに合わせたカスタマイズなどが行われている場合もあります。

Q ハードディスクの空き容量は、どれくらい必要ですか？

A 一般的に、編集される映像の大きさに対して「3倍以上」の空き領域を確保するのが望ましいとされています。たとえば、DVカメラのデータを編集する場合、9分の映像を作ると約2GBの領域を使用しますので、編集用の領域と最終データ用の領域を考えると約6GBの空き領域が必要と考えられます。

Q インストール先をCドライブ以外の場所や外付けのハードディスクにしたいのですが？

A インストール先をCドライブ以外の場所にするには、インストール時の設定でCドライブ以外を設定してください。ただし、そのドライブの最上位にそのまま入れても動作しないため、必ずインストールしたいドライブ内に専用のフォルダを作成し、その中に入れるようにしてください。

また、VideoStudio本体やキャプチャ、編集、レンダリング、書き戻し作業を行うファイルを外付けのハードディスクに保存されますと、転送速度の問題で動作が不安定になる可能性があります。

一般的に、ビデオ編集では内蔵のハードディスクを使うことが最も良いとされており、外付けのハードディスクに保存されることはあまりお勧めできません。必ずインストール先やファイルの保存先は内蔵のハードディスクを設定して下さい。

Q 新しいバージョンのVideoStudioを購入しましたが、古いバージョンは削除した方がよいですか？

A 以前のバージョンのVideoStudioは、削除しても問題ありません。「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」から削除することができます。

Q RealPlayerをインストールしたら、映像ファイルのアイコンが変わってしまいました。

A RealPlayerのインストール時に、映像ファイルの関連づけをRealPlayerに指定したためです。RealPlayerの設定を変更し、関連づけを削除してください。

Q DVカメラが認識されません。

A DVカメラが正常に認識されない場合は、まず「デバイスマネージャ」の「イメージングデバイス」にDVカメラの表示があり、かつ正常に認識されていることを次の手順で確認して下さい。

- 1.「マイコンピュータ」を右クリックし、プロパティを表示します。
- 2.「デバイスマネージャ」の中から「イメージングデバイス」を検索し、DVカメラの表示があることを確認します。

「イメージングデバイス」にDVカメラの表記がない場合は、DVカメラはコンピュータ自体に認識されていません。また、認識されていてもDVカメラの表記に「?」や「!」が表示されている場合は、デバイスは正常に動作していません。

DVカメラが正常に認識されない第1の原因として、データ転送時の周辺機器等による干渉が考えられます。DVカメラ接続時にはDVカメラ以外でPC本体に接続されている機器はすべて取り外し、DVカメラの電源はACアダプタから供給して下さい。

また、ノート型コンピュータの場合、PC本体の電源もバッテリーではなくACアダプタを接続してご使用下さい。

なお、IEEE1394ケーブルの相性が問題となる場合もあるようです。もし別のIEEE1394ケーブルが使用できるようであればそちらでもお試して下さい。

それでもなお、DVカメラが認識されないようであれば、一度ハードウェアメーカーにお尋ね下さい。

Q DVカメラからのキャプチャや書き戻しができないなどの通信関連で不具合(コマ落ち、ノイズ、音とび対策など)がおきます。

A 以下の点をご確認下さい。

- 1.ウィルスチェックソフトやCD-ROM/ハードディスク加速化・仮想化ユーティリティのような常駐ソフトは終了してください。
- 2.各種デバイスドライバ(特にグラフィック関連のドライバ)をアップデートしてください。
- 3.Windows Media Playerを最新版にアップデートしてください。
- 4.ディスクデフラグやスキャンディスクを実行してください。
- 5.USB機器やネットワーク機器、外付けSCSI機器など、切り離し可能な機器があればそれらを外して、DVカメラだけをパソコンに接続してください。
- 6.IEEE1394ボードを増設された場合は、PCIスロットの位置を変更してください。
- 7.IEEE1394ケーブル自身の互換性の問題により、通信に不具合が発生する可能性もありますので、IEEE1394ケーブルの交換もお試しください。

Q ハードウェアエンコーダを使ったキャプチャ機器からビデオのキャプチャは行えますか？

A ハードウェアエンコーダを使ったキャプチャ機器の場合、内蔵のチップを使ってデータを作り出すため、キャプチャするためには、専用に設計されたソフトウェアが必要になります。そのため、専用のソフトウェアでキャプチャを行い、ハードディスクに保存したMPEGファイルをVideoStudio 9でビデオファイルとして開いて下さい。

Q MPEG-Directキャプチャ時に「DVトランスコードバッファ～」と表示されますが、これは何ですか？

A 「MPEG-Directキャプチャ」は、キャプチャを行いながら「MPEGファイル」へ変換作業を行っているため、パソコンに負荷のかかる作業になります。
また、キャプチャ中に変換が追いつかなくなると、Cドライブの中に一時ファイルを作成し、キャプチャ終了後に追いつかなくなった分を変換します。
キャプチャ終了後に「DVトランスコード～」と表示が出るのは、上記の「キャプチャ終了後に追いつかなくなった分を変換している」作業になり、この作業でも追いつかなくなる場合には、追いつかなくなった箇所以降のファイルは作成されません。

Q 映像クリップ中の特定の場面を、静止画として保存することはできますか？

A 可能です。詳細につきましては、STEP2「キャプチャ」(86ページ)をご覧ください。

Q PC付属のTVチューナー、もしくはアナログ入力端子から正常にキャプチャできません。

A PC付属のTVチューナー、もしくはアナログ入力端子からキャプチャを行う場合、PCの購入時にインストールされている専用のビデオキャプチャソフトウェアが必要になります。
この場合、専用のソフトウェアでキャプチャを行い、ハードディスクに保存したMPEGファイルをVideoStudio 9でビデオファイルとして開いて下さい。

Q デジタルスチルカメラ（デジカメ）で撮影した動画ファイルを編集すると、音声は雑音に変わってしまいます。

A デジタルスチルカメラの動画は通常のビデオ機器の動画と異なり、メーカー独自の少し特殊な形式の映像となっている場合が多く、汎用のプログラム（VideoStudioなど）を使って正しく再圧縮することができないケースが多くみられます。
通常、再生は大抵の環境で可能ですが、再圧縮（レンダリング）すると、映像がなくなってしまったり、音声は雑音のみに変わってしまったりすることがあります。
どうしても正常に扱えない場合は、申し訳ございませんがご了承下さい。

Q DVDカム（DVD-RAM）からキャプチャを行う方法がわかりません。

A 以下の手順でキャプチャを行ってください。

- 1.VideoStudioを起動します。
- 2.「キャプチャステップ」画面へ移動し、画面左側にある「DVD/DVD-VRからインポート」ボタンをクリックします。
- 3.「フォルダの参照」画面で、DVD-RAMディスク内の「DVD_RTAV」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。
- 4.「DVDをインポート」画面で、開きたいタイトルを選択し、「インポート」をクリックします。

Q DVカメラは認識されるのですが、VideoStudioからコントロールできません。

A カメラコントロールに必要な設定がされていない可能性があります。以下の手順でカメラコントロールに必要な設定を行って下さい。

- 1.VideoStudioを起動します。
- 2.画面左上にある「ツール」メニューから「デバイスコントロールの選択」をクリックします。
- 3.「MS1394デバイスコントロール」を選択します。
- 4.「OK」で閉じます。

なお、デバイスコントロールで「なし」以外の項目が選択できなかった場合、インストール時点でDVドライバとの関連付けが正しく行われていない可能性があります。
必ずDVカメラを正しく接続して電源を入れた状態で、VideoStudioを再インストールして下さい。

Q 映像の中の必要のない箇所を削除したいのですが？

A 「編集ステップ」画面にある「ビデオを分割」機能や「ビデオの複数カット」機能を使うことにより、必要のない箇所を削除することができます。
詳細につきましては、STEP3「編集」(103、104ページ)をご覧ください。

Q 720×480の映像をWindows Media Playerで再生すると、360×240程度になってしまいます。

A Windows Media Player 7.0以降では、DV-AVI形式のファイルを再生する場合、画面サイズの標準値が「360×240」に設定されているため、実際には「720×480」でキャプチャされたファイルでも再生画面サイズは「360×240」となる場合があります。
Windows Media Playerの再生画面サイズは下記の方法で変更が行えるようですのでお試しください。

※ Windows Media Playerの詳細についてはMicrosoft社にお尋ね下さい。

- 1.すべてのアプリケーションを停止します。
- 2.「マイコンピュータ」→「Cドライブ」→「Program Files」→「Windows Media Player」を開き、「mplayer2.exe」を実行します。
- 3.VideoStudioでDVカメラからキャプチャした映像ファイルを「ファイル」→「開く」で開きます。
- 4.「ファイル」→「プロパティ」を開きます。
- 5.「詳細設定」を開き、「使用中のフィルタ」欄から「DV Video Decoder」を選択します。
- 6.「プロパティ」ボタンを押します。
- 7.「デコード解像度」欄の「完全」にチェックを入れます。
- 8.「規定値として保存」にチェックを入れます。
- 9.「OK」→「閉じる」でプロパティ画面を閉じます。
- 10.Windows Media Playerを閉じます。
- 11.一度PCを再起動します。
- 12.Windows Media Player 7以降で再生します。

Q 前のバージョンで作成したプロジェクトファイル(*.vsp)は使用できますか？

A 使用可能です。

Q レンダリング(エンコード)時間の目安はどのくらいですか？

A パソコンのスペックにもよりますが、最低でも元データの3～10倍以上の時間がかかります。プロジェクトの複雑さや作品の長さによっても異なりますが、レンダリングには時間がかかることを考慮に入れて編集作業を行うことをお勧めいたします。

Q 編集する動画ファイルの時間と使用するディスクサイズの目安はどのくらいですか？

A DVカメラからキャプチャされたAVIファイルの場合、19分の映像で約4GBのファイル容量になります。また、Mpegファイルは圧縮率によってファイル容量が異なりますが、4000KbpsのMpeg2ファイルの場合、1時間の映像で約2GB、8000KbpsのMpeg2ファイルの場合、1時間の映像で約4GBのファイル容量になります。

Q 音声のフェードイン・フェードアウト時間の設定はどこでできますか？

A VideoStudio 9の「環境設定」画面で変更可能です。画面左上にある「ファイル」メニューから「環境設定」→「編集」タブを選択し、「デフォルトのオーディオフェードイン/フェードアウトの長さ」の設定を行ってください。

Q テキストを入力すると、文字が90度傾いてしまいます。

A 先頭に「@」がついているフォントは、縦書き用のフォントです。そのため、これらのフォントを選択した場合には文字が寝ている状態になります。
「MSゴシック」「MS明朝」など、先頭に「@」がつかないものを選択し、入力して下さい。

Q 映像から静止画を取り出して保存することはできますか？

A 可能です。詳細につきましては、STEP2「キャプチャ」(86ページ)をご覧ください。

Q 映像クリップの音声を消したい(もしくは小さくしたい)のですが？

A 「編集ステップ」画面で、タイムライン上にある音声を消したい映像クリップを選択し、画面左上にある「ミュート」ボタンを押すと、選択されたクリップの音声が消えます。
詳細につきましては、STEP3「編集」(109ページ)をご覧ください。

Q 編集を行わずに、直接DVDビデオやVideo CDなどを作れますか？

A 可能です。
「編集ステップ」、もしくは「出力ステップ」画面の右側にあるライブラリ上に、DVDビデオやVideo CDにしたい映像を取り込み、その画像が選択された状態で画面左側にある「ディスクを作成」ボタンを押すと、「ディスクを作成」画面が表示されます。ここからディスク作成作業を行うことができます。
詳細につきましては、VideoStudio編STEP8「完了」をご覧ください。

Q 音楽CDから取り込もうとしたのですが、「CD-ROMドライブが使用中です」といって、取り込めません。

A 通常、音楽CDをドライブにセットすると自動的に再生ソフトが起動してきますが、CD-ROMドライブを同時に使用できるソフトは1つだけであるため、VideoStudioで音楽CDからの取り込みを行う場合、先にこれを終了させる必要があります。
そのため、事前に録音したい音楽CDをセットし、自動的に起動する再生ソフトを終了させた上でVideoStudioを起動して下さい。

Q 再レンダリングしないようにするにはどうすればよいですか？

A 基本的には、元になる映像と同じ設定でレンダリングを行った場合、スマートレンダリング機能が働き、再レンダリングは行われません。
しかしながら、元ファイル内に含まれる情報が欠落していたり、必要のない情報が含まれていると、VideoStudioのエンコーダが正常にファイルを認識できず、スマートレンダリング機能が働かない可能性があります。
また、まれにハードウェアエンコーダで作成されたMPEGファイルを使われると、スマートレンダリング機能が働かないことがあります。

Q 編集用に外付けのハードディスクは使えますか？

A 基本的には可能ですが、大きなファイルを編集することが多いビデオ編集作業では、パソコンとの転送速度の問題により、外付けのハードディスクを作業用ドライブとして使用することはお勧めできません。
極力、ファイルの保存先などは内蔵のハードディスクを設定して下さい。

Q 編集時のプレビューに時間がかかるのですが？

A VideoStudioは編集時に、元になるデータを直接編集していないため、編集結果のプレビューを行うと、一度ファイルを編集後の状態に変換する必要があるため、プレビューに時間がかかったり、再生時にコマ落ち状態になることもあります。

Q CD-R/RWドライブや、記録型DVDドライブが認識されないのですが？

A 以下の点を確認して下さい。

1. パソコン本体に接続されている周辺機器をすべて取り外して下さい。
2. DVDやCD-Rに関するユーティリティ等でインストールされているものがあれば、これらを終了して下さい。また、特にタスクトレイ等に常駐するようなプログラムは必ず終了して下さい。
3. 「デバイスマネージャ」からDVDやCD-Rのドライバを一端削除し、最新のドライバをインストールして下さい。

なお、本製品はすべての記録型ドライブに対応しておりません。
対応製品につきましては、ユーリードシステムのホームページをご確認下さい。

Q DV端子(iLINK、FireWire)が付いたDVカメラはすべて対応していますか？

A ユーリードシステムズのホームページに弊社にて確認した動作テスト済みの機器リストがあります。こちらをご覧ください。

Q Micro MV方式のDVカメラや業務用DVカメラ、DVデッキに対応していますか？

A Micro MV方式のDVカメラには対応しております。

また、業務用DVカメラやDVデッキは、弊社で未確認の機種が多くありますので、ユーリードシステムズのホームページに記載されている動作テスト済みの機器リストをご覧ください。

Q VideoStudioで作成したMPEG2ファイルを他のコンピュータで再生することができますか？

A 元々、Windows自体にはMPEG2ファイルを再生する機能はなく、DVD再生ソフトやVideo Studioなどをインストールすることによって、コーデックと呼ばれる専用の圧縮・伸張プログラムが提供され、はじめてコンピュータ上での再生が可能となります。

上記の理由から、現在MPEG2ファイルが再生できないコンピュータにはこのコーデックがインストールされていない可能性が考えられます。まずはDVD再生ソフトやVideo Studioなど、システムにコーデックを提供するソフトウェアをインストールして下さい。

Q 用途別にお勧めのファイル形式や使い分け方法を教えてください。

A DVカメラの映像を編集される場合や、極力画質の良い状態を保ちつつ編集を行いたい場合には、AVI形式のファイルで編集を行ってください。

また、ハードディスクの容量が少ない場合や、DVDビデオ、VideoCDの作成などを目的とされている場合には、MPEG形式のファイルをお勧めします。

Q DVDビデオをパソコン上では再生できますが、家庭用DVDプレーヤーで再生できませんか？

A VideoStudio 9で作成したDVDビデオは、購入時の状態ですと、音声形式がMPEG形式、もしくはLPCM形式となりますが、DVDプレーヤーによってはMPEG形式の音声に対応していないことがあります。そのため、MPEG形式のDVDビデオが再生できない場合には、LPCM形式でDVDビデオを作成してください。

また、DVDへの書き込み速度や、メディアの状態によっても正常に再生できないことがありますので、書き込み速度を低下する、もしくはメディアを変えて作成をお試し下さい。

Q アップデートプログラムをCD-ROMで欲しいのですが。

A 通常はユーリードのホームページよりダウンロード(無料)することができますが、事情によりダウンロードできない場合は手数料、メディア代、送料を含め2,000円にて受け付けております。郵便振り込みにてお申し込み下さい。振り込みが確認できた時点でリリースされているアップデータを全て送付させていただきます。

■申し込み方法

金額は以下の通りです。

<振込先> 口座番号: 00150-8-52473
金額: 2,000円
加入者名: ユーリードシステムズ株式会社
通信欄: 「VideoStudio 9 アップデータ希望」
払込人住所・氏名・電話番号・シリアルNo

なお、振り込み手数料はお客様のご負担になりますので、ご了承下さい。

Q FAXでの問い合わせは可能ですか？

A FAXは、ユーザー登録ハガキの送付のみ、受け付けております。FAXでのご質問にはお答え致しかねますので、ご了承下さい。

Q 自分の持っている製品が使えるかどうか、検証してもらうことは可能ですか？

A 恐れ入りますが、お客様の環境を基に検証を行うサービスは行っておりません。

Q アップグレード版のWindowsを使っているのですが、問題ありませんか？

A 基本的に問題はありませんが、機器をコントロールする「ドライバ」が古い状態のままになることがあり、VideoStudio 9の動作が不安定になる要因になります。もし、アップグレード版のWindowsが使われている場合には、「ドライバ」を最新のものに書き換えていただくことをお勧めします。

※書き換え方法につきましては、各種製造元にお問い合わせ下さい。

Q ビデオ編集を行う際に、お勧め機器構成はありますか？

A お勧めする機器構成はございませんが、ビデオ編集に使用するパソコンは高いスペックであるほど良いとされているため、できるだけ高速で大容量なハードディスクやメモリ、CPUをお使いいただくことをお勧めします。

用語集

【MPEG】

Moving Picture Expert Groupの略。フレームの差分を計算して圧縮する動画の圧縮方式のこと。MPEG1、MPEG2、MPEG4などがある。

【NTSC / PAL】

テレビ放送の規格のこと。NTSCは日本やアメリカ、韓国などで使用され、フレームレートは29.97fps、走査線は525本。PALはイギリスをはじめ主に欧州で使用され、フレームレートは25fps、走査線は625本。

【圧縮】

映像や画像に含まれている似たようなデータ部分を間引いて、大きなデータを小さくすること。

【オーバーレイ】

イメージの一部を透明にして、別のイメージの上に重ねて透かして見せるレンダリング処理。

【キャプチャ】

ビデオ映像をハードディスクに取り込む(録画)こと。

【クリップ】

ムービーの一部、または短いセクションのこと。クリップにはビデオやオーディオ、静止画、タイトルなどがある。

【コーデック】

CODECはCompress(圧縮)とDecompress(伸張)を組み合わせた略語で、映像や画像のデジタルデータを圧縮／伸張すること。一般にビデオの圧縮／伸張プログラムモジュールのことをコーデックと呼ぶ。

【ストリーミング】

インターネットを通してマルチメディアファイルを送信すること。すべてのデータをダウンロードしなくてもファイルを見ることができる。

【トリミング】

コンピュータに取り込んだ映像の先頭部分や終わりの部分を切り取り、必要な映像だけにする作業のこと。デジタルビデオではフレーム単位でトリミングが可能。

【フレーム／秒】

ビデオやアニメーションで1秒間に表示されたり、キャプチャされるフレーム数。

【データレート】

デバイス間で情報が転送される速度。CPUやハードディスク、ディスプレイカードの性能によって値が異なる。

【デバイスコントロール】

DVカメラやVCRなどのビデオソースをコントロールするためのソフトウェアドライバ。

【マークイン／マークアウト】

ビデオやオーディオクリップのトリミングを行なう際に、開始ポイントの設定をマークイン、終了ポイントの設定をマークアウトと呼ぶ。

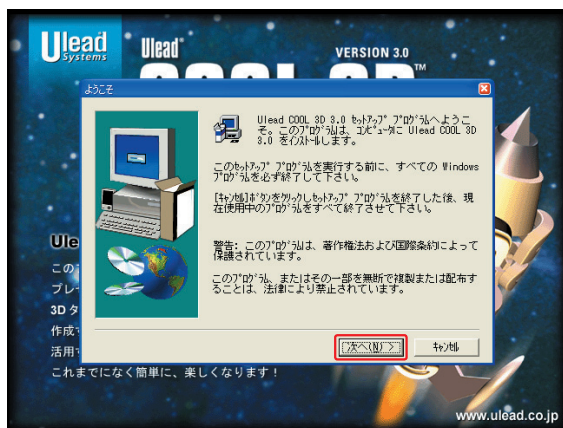
Cool3Dのインストール

本製品には特別付録として、3Dのタイトルムービーを作成できる「Ulead Cool3D 3.0」の機能限定版、「Ulead Cool3D 3.0 SE」が付属しています。以下はそのインストール方法です。

- 1 VideoStudioのコンテンツCD-ROMをドライブに挿入します。自動的にインストール画面が表示されます。項目から「COOL 3D 3.0 SE」をクリックします。



- 2 Cool3Dのインストーラーが起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。



注意

Cool3Dに関しては、特別付録として添付しているため、ユーザーサポートの対象外となります。使用方法に関しては、プログラムのヘルプをご参照ください。

Ulead VideoStudio 9 ユーザーズガイド

2005年6月 初版第1刷

ユーリードシステムズ株式会社

〒158-0097

東京都世田谷区用賀4-5-16TEビル